



本書の見方

本書の構成は次のとおりです。

ご使用前の注意

- ・安全に正しくご使用いただくために
- ・停電したとき

…………… 本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい事を説明しています。必ずお読みください。
また、停電したときのことを説明しています。

設置と初期状態

- ・組み立てかた
- ・接続のしかた
- ・自分の電話番号を登録する
- ・初期状態について

…………… 本製品の組み立てかたや電話回線の接続のしかたなどについて説明しています。
また、お買い上げ時の本製品の設定状態について説明しています。

電話

…………… 電話のかけかた / 受けかたや、いろいろな使いかたなどについて説明しています。

ファクス

…………… コピーのしかたや、ファクスの送信や受信のしかたなどについて説明しています。

留守番

…………… 留守番電話の使いかたについて説明しています。
また、おやすみモードの使いかたについて説明しています。

ハンドスキャナ

…………… ハンドスキャナを使ったコピーのしかたや、ファクスの送信のしかたについて説明しています。

スーパー L C R

…………… スーパー L C R の利用について説明しています。

ダイヤルイン

…………… N T T のダイヤルインサービスの利用について説明しています。

発信電話番号表示

…………… N T T 「発信電話番号表示サービス」の利用について説明しています。

困ったときは

…………… 原稿や記録紙が詰まったときの対処方法や、記録紙の交換方法などについて説明しています。
また、いろいろな疑問などについて Q & A 形式で説明しています。
うしろには操作早わかりガイドがあります。

！安全に正しくご使用いただくために - 必ずお読みください -

設置についてのご注意

！警告

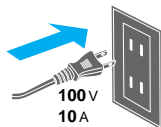
本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。



AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

115V
200V

電源プラグは100V10A専用コンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。



本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。



開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。



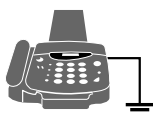
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを6.5cm以上、地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）が行われている接地端子



次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。

- ・ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

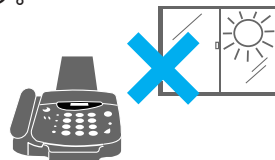
ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

漆等、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。

使用する際のご注意

⚠ 警告

本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

本機を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

本体内部のサーマルヘッドとその周辺は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。内部の点検、修理はご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご依頼ください。

⚠ 注意

旅行などで、長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



記録紙交換などで開閉部を閉めるとき、指挟み、指のけがにご注意ください。



ゴミブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。



通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。



極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。



落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



ハンズキャナを落としたり、固いものにぶついたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。



もしもこんなときは

⚠ 警告

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合や、電源コードが痛んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスセンター、サービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



⚠ 注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。



雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。



！ 停電したとき

停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、次のとおりです。

- ・本機は使用できません。
- ・本機に接続した外付け電話機で電話をかける／受けることができます（停電対応できる電話機＜コードレスタイプでないなど＞の場合）。ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は使用できません。

停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ送信時のメモリに記憶されている文書 ・ハンズキャナ使用時のメモリに記憶されている文書 ・リダイヤルに記憶されている電話番号 ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき） ・スーパーLCRのデータ（停電が36時間以上続いたとき）
消えない情報	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ代行受信文書 ・メモリ受信文書 おやすみモード、リモート取り出し設定時に受信した文書 ・留守番電話に録音した応答メッセージ ・留守番電話に録音された用件 ・登録した電話番号や各種の設定値

停電が復旧すると

停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった情報があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。

停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化さ

れます（1997年1月1日0時0分になります）。この場合は、時刻セット（P.16）を行ってください。停電が36時間以上続いたときは、スーパーLCRが使用できなくなり、LCRランプが赤点灯します。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア レポ ー ト					
NEC					
イカノ ナイヨウカ、テイデンニヨリ クリア サレマシタ。					
メモリ ソウシン ブンショ					
ウツク ニジ	ツクシ ジカ	アイテサキ	モード	マイク	ツクシ ケカ
4.24 14:04	0' 00"	0120200940	ECM	1	テイデン



目次

はじめに	
本書の見方	1

! ご使用前の注意

安全に正しくご使用いただくために	2
停電したとき	5

目次	6
----	---

特長	8
----	---

🔧 設置と初期状態

梱包品の確認	10
各部の名称	11
組み立てかた	13
・ 受話器の取り付け	14
・ 記録紙スタッカの取り付け	14
・ 電源の接続	14
・ 記録紙のセット	15
・ 時刻セット	16
接続のしかた	16
・ NTT電話回線の接続	16
・ NTT回線種別の設定	17
・ 外付け電話機の接続	17
自分の電話番号を登録する	18
初期状態について	20

☎ 電話

電話をかける	22
リダイヤル(同じ相手にもう一度かける)	23
保留する	24
電子電話帳(短縮ダイヤル)	25
・ 電子電話帳の登録	25
・ 電子電話帳を使って電話をかける	26
・ 電話番号リストのプリント	27
電話を受ける	28
キャッチホンの利用	29
ワイワイトーク(ハンズフリー通話)	30
音量調整	31
トーン信号送出(ダイヤル回線の場合)	32

保留メロディの設定	32
外付け電話機の利用	33
いろいろな使いかた	34
・ 通話録音(通話中の会話を録音する)	34
・ 通話録音した内容を聞く	35
・ 留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる	35



ファクス

自分の名前を登録する(発信元登録)	36
発信元を相手の記録紙にプリントする設定	37
原稿のセットのしかた	38
コピーのしかた	40
送信原稿の種類の設定	42
・ 写真や小さい文字の原稿を送るとき(画質モード)	42
・ 色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき(読み取り濃度)	43
ファクスを送る	44
・ 自動送信	44
・ 手動送信	46
・ おまかせ送信(メモリ送信)	47
・ 電子電話帳で送信	48
・ 海外通信の設定	49
・ マイネームボタン(自分専用の発信元名を付けて送る)	50
ファクスを受ける	52
ファクス/電話自動切替の設定	53
・ ファクス/電話自動切替の仕組み	53
・ 着信ベル回数の設定	54
・ 呼出ベル回数の設定	54
・ 無鳴動着信の設定(ファクス優先の設定)	55
・ 音声メッセージの設定	55
電話モード(主に電話を使う)	56
Fネットについて(ファクシミリ通信網)	56
ファクス情報サービスの利用	57
・ FAXサービスボタンの使いかた	57
いろいろな使いかた	58
・ FAXかんたん受信の設定	58
・ ペーパーセーブ(記録紙を節約して受ける)	59
・ 手動カットモードの設定	59
・ 転送受信の設定(外付け電話機の場合)	60

留守番

留守設定での動作	61
応答メッセージを録音する	62
応答メッセージを消去する	63
留守セット	64
用件の再生と消去	66
用件の再生順序の設定	68
トールセイバの設定	68
外線リモート（外出先で留守番電話 / ファクス を操作する）	69
・ リモート操作の設定とリモートパスワード の登録	69
・ 外出先で留守番電話の用件を聞く / 受信 文書を取り出す	70
・ リモート操作コード表	71
用件転送（留守番電話やファクスが入ったら 外出先へ通知する）	72
・ 用件転送先の登録	72
・ 用件転送されたときの受けかた	73
・ ポケベル呼び出し	74
おやすみモード	75
・ おやすみモードセット	76
・ おやすみモードのタイマ切替	77

ハンズキャナ

ハンズキャナでの原稿の読み取りについて	78
ハンズキャナでコピーする	79
ハンズキャナで送信する	80
拡大 / 縮小の設定	81
メロディハンズキャナの設定	81

スーパーLCR

スーパーLCRの利用	82
・ スーパーLCRについて	82
・ スーパーLCRの申し込みかた	83
・ スーパーLCRの設定とご利用の準備操作	84
・ スーパーLCRを利用する	85
・ 料金表示の設定	86
・ スーパーLCRのデータメンテナンスにつ いて	87

ダイヤルイン

ダイヤルインサービスの利用	88
・ ダイヤルインサービスについて	88
・ ダイヤルインの登録	89

発信電話番号表示

NTT「発信電話番号表示サービス」の利用	90
・ NTT「発信電話番号表示サービス」に ついて	90
・ NTT「発信電話番号表示サービス」の 設定	91

困ったときは

原稿がつまったとき	92
記録紙がつまったとき	93
記録紙の交換	94
メモリ内の受信文書がプリント出力されない とき	95
設定内容を確認するとき（システムリスト）	96
日頃のお手入れ	97
・ 本体の清掃	97
・ ハンドスキャナの清掃	97
・ ローラーの清掃	97
こんなときは（Q & A）	98
エラーコード表	106
アフターサービスのご案内	107
お客様ご相談窓口	107
・ オプション品・消耗品のご案内	107
・ NECサービスセンター / サービスステ ーション	107
・ ファクス情報サービス	107
・ インフォメーションサービス	107
いろいろな接続のしかた	110
・ ホームテレホン / ビジネスホンの接続	110
・ パソコンやモデムとの接続	111
・ ISDNターミナルアダプタ（TA）との接 続	111
仕様	112
索引	113
操作早わかりガイド	118
ピクト表示一覧	120
機能選択早見表	

📖 特長

バックライト付き大型液晶ディスプレイ

押したダイヤルを表示したり、通話時間を表示します。バックライト付きなので、明るくクッキリ見えます。



受信文書をきちんと整理

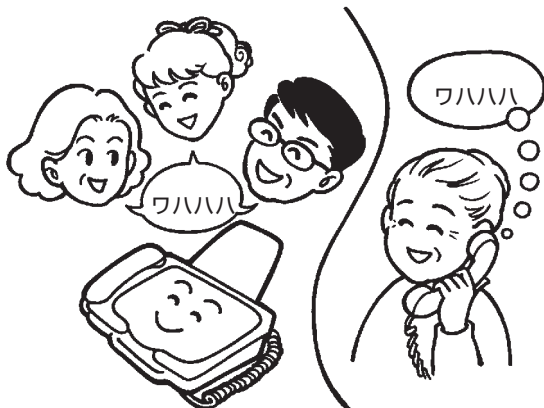
「ファクスを受ける」(P.52)
オートカットで受信文書やコピーを1枚ずつ自動的にカットします。

オートカットですっきり!



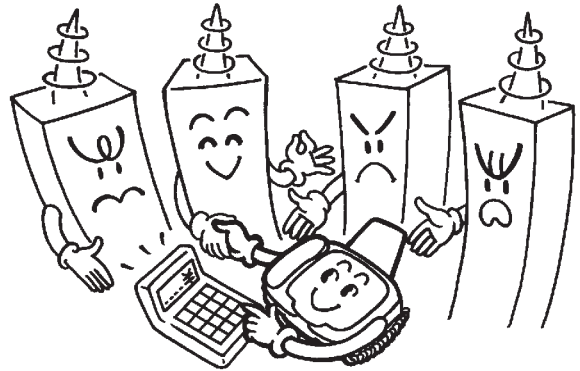
受話器を持たずにみんなでおしゃべり

「ワイワイトーク(ハンズフリー通話)」(P.30)
「どうしても手が離せない」、「田舎のおばあちゃんと家族そろっておしゃべりしたい」。そんなとき、ワイワイトークを使えば受話器を置いたままみんなで話ができます。



電話料金が安い回線を自動で選ぶ

「スーパーLCRの利用」(P.82)
新電電(J T、D D I、T W J)との契約で、距離や時間帯によって一番お得な回線を自動的に選びます。
日本テレコム株式会社(J T)との契約が必要です。



停電してもメッセージが消えない

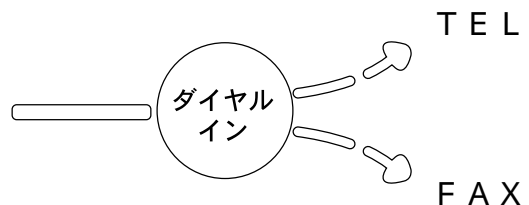
フラッシュメモリ留守録で、停電しても録音された用件は消えません。(P.5)

用件



電話とファクスの電話番号を変えられます

「ダイヤルインサービスの利用」(P.88)
1本の電話回線でファクス用と電話用の電話番号を使い分けられる、ダイヤルインサービスをご利用いただけます(ファクス用1, 電話用1)。
N T Tとの契約が必要です(有料)。



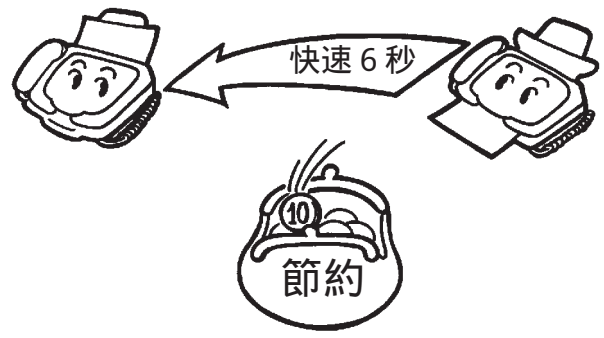
夜中の電話やファクスで起こされたくない

「おやすみモード」(P.75)
おやすみモードを使えば、ベルの音や、ファクスが出てくる音で起こされることもありません。



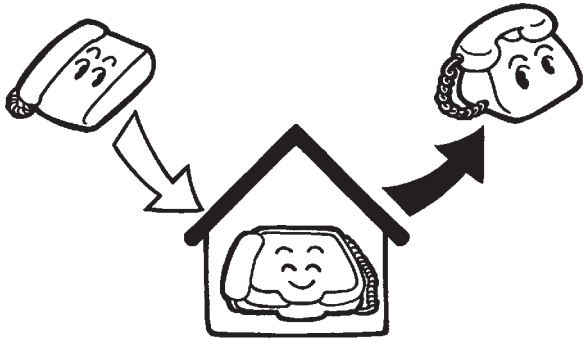
快速6秒送信

14.4kbpsモデム搭載で、6秒送信を実現しています(A4判1枚標準原稿、ただし制御時間を除く)。すばやく送って通信費を節約します。
*相手も14.4kbpsモデムを搭載している場合に有効です。



留守中の緊急連絡もだいじょうぶ

「用件転送」(P.72)
留守設定中に用件を録音したりファクスを受信したら、あらかじめ登録した外出先の電話機やファクスなどへ通知することができます。



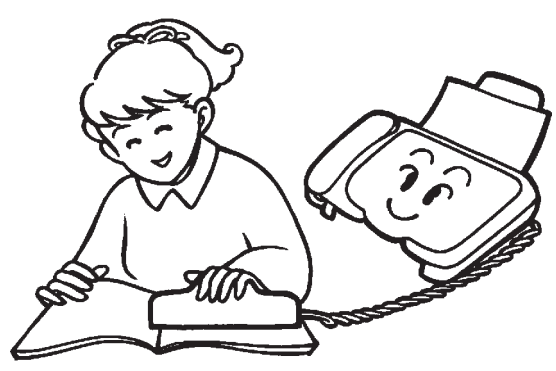
おまかせ送信

「おまかせ送信(メモリ送信)」(P.47)
まず原稿はメモリに記憶します。あとはs p e a xが送信してくれるから、原稿を家族に見られたくないときにサッと部屋に持ち帰れます。



本やノートもそのままコピー/ファクス送信

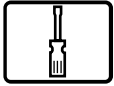
「 Handsキャナでコピーする」(P.79)
「 Handsキャナで送信する」(P.80)
新聞や雑誌の気になる情報、友達のノートだって Handsキャナを使えば簡単にコピーがとれます。読み取った内容を、そのままファクスで送ることもできます。



マイネームボタンで簡単送信

「マイネームボタン」(P.50)
自分専用の発信元名(マイネーム)を付けてファクス送信できます。このマイネームは相手の記録紙にプリントされます。

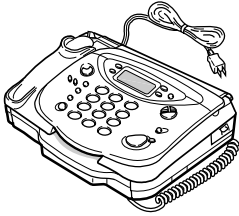




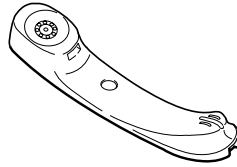
梱包品の確認

箱を開けたら次のものがすべてそろっているか確認してください。不足していた場合はご購入店にご連絡ください。

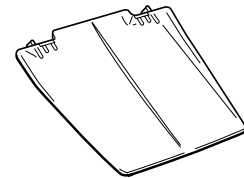
本体 1台



受話器 1個



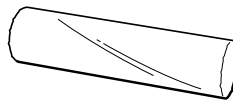
記録紙スタッカ 1個



電話回線接続コード
1本(2m)



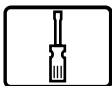
記録紙 1巻
(B4サイズ10m)



スーパーLCRご利用申込書(ハガキ)	1枚
スーパーLCRファクシミリ申込書(ファクス用)	1枚
スーパーLCRトクトクガイド	1通
取扱説明書(本書)	1冊
保証書	1枚

保証書について

保証書は、販売店で所定の事項を記入いたしますので、必ず保証期間、ご購入店名、記載事項を確認の上、大切に保管してください。



各部の名称

全体（正面）

組み立てたあとを示しています。

受話器

補聴器対応（ヒヤリングエイド対応）で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい構造になっています。

モニタスピーカ

左側面にモニタスピーカがあります。ハンズフリー通話や用件を再生すると、ここから聞こえます

操作パネル

原稿排出口

ハンズキャナ

手前に引くと外れます。戻すときは押し込みます。

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

原稿挿入口

記録紙スタッカ

コピーや受信した文書は、ここに重ねられます。

ダストカバー

原稿をセットするときに開けます。

ダストカバーを開けるときの、このへこみを利用します。

カバー開レバー

カバーを開けるときの、下に押しします。

ハンズキャナ用コード

全体（背面）

組み立てたあとを示しています。

記録紙排出口

通風孔

受話器用コード

アース端子

底面にアース端子（銀色）があります。

電源コード

電話機端子

外付け電話機を接続できます。

回線端子

NTT電話回線を接続します。



操作パネル

LCRランプ

スーパーLCRが利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。 P.85

マイネーム

自分専用の発信元名を付けて送信するときに使用します。 P.51

文字の大きさ

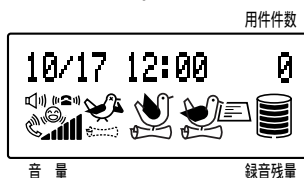
画質モードを設定するときに使用します。 P.42

おやすみ

電話がかかってきた時に点滅します。おやすみモードに設定するときなどに使用します。 P.76

ディスプレイ

16文字まで表示できる文字表示部(上段)と、動作状態をお知らせするピクト表示部(下段)があります。バックライト付きです。 P.120



(ピクトは全点灯時を表わしています)

機能選択

各種の登録や設定時に使用します。

セット

各種の登録や設定時に使用します。

FAXサービス

FAX情報サービスを利用するときに使用します。 P.57

留守

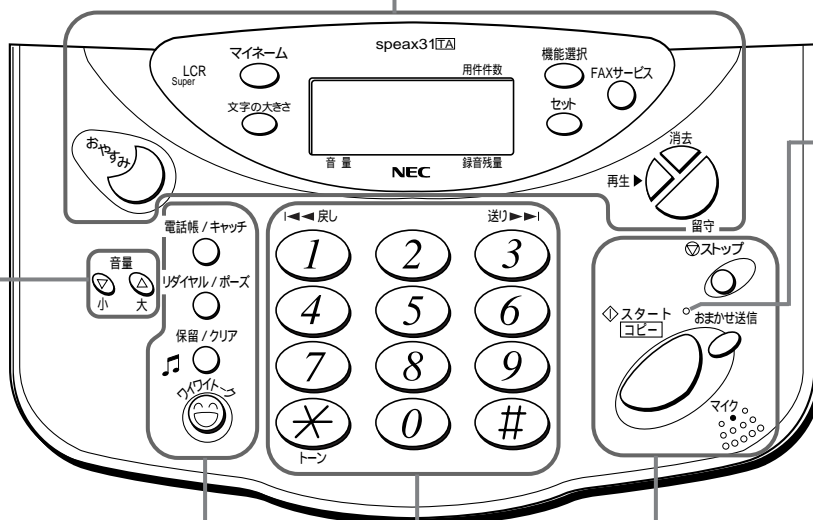
留守設定にするときに使用します。 P.64

再生

用件を再生するときなどに使用します。 P.66

消去

用件を消去するときなどに使用します。 P.67



音量

ベル音量、受話音量、ワイワイトーク音量、モニタスピーカ音量を調整するときなどに使用します。 P.31

ランプ

ファクス通信中に緑点滅/緑点灯します。

P.44

メモリ代行受信やリモート取り出しの文書があるときに赤点滅します。

通信異常時や記録紙づまりなどのときに赤点灯します。

電話帳/キャッチ

電子電話帳(短縮ダイヤル)で電話をかけるときに使用します。 P.26

キャッチホンが入った時に使用します。 P.29

リダイヤル/ポーズ

最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。 P.23

ポーズを入れるときに使用します。 P.25、P.74

保留/クリア

電話を保留するときなどに使用します。 P.24

各種の登録時、入力内容を消去するときを使用します。 P.25

ワイワイトーク

受話器を持たずに電話するときを使用します。 P.30

ストップ

送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使用します。

セットした原稿を排出するときを使用します。

スタート/コピー

ファクスの送信や受信時、コピー時などに使用します。 P.40、P.44

おまかせ送信

メモリ送信時に使用します。 P.47

マイク

ワイワイトークするときなどに使用します。

P.30

応答メッセージを録音するときを使用します。

P.62

ダイヤルボタン

ダイヤルするときなどに使用します。

戻し (1)

各種の設定時、ディスプレイのカーソルを左方向に移動させるときに使用します。 P.37
再生中の用件をもう一度聞くとときや、ひとつ前の用件を聞くとときに使用します。

送り (3)

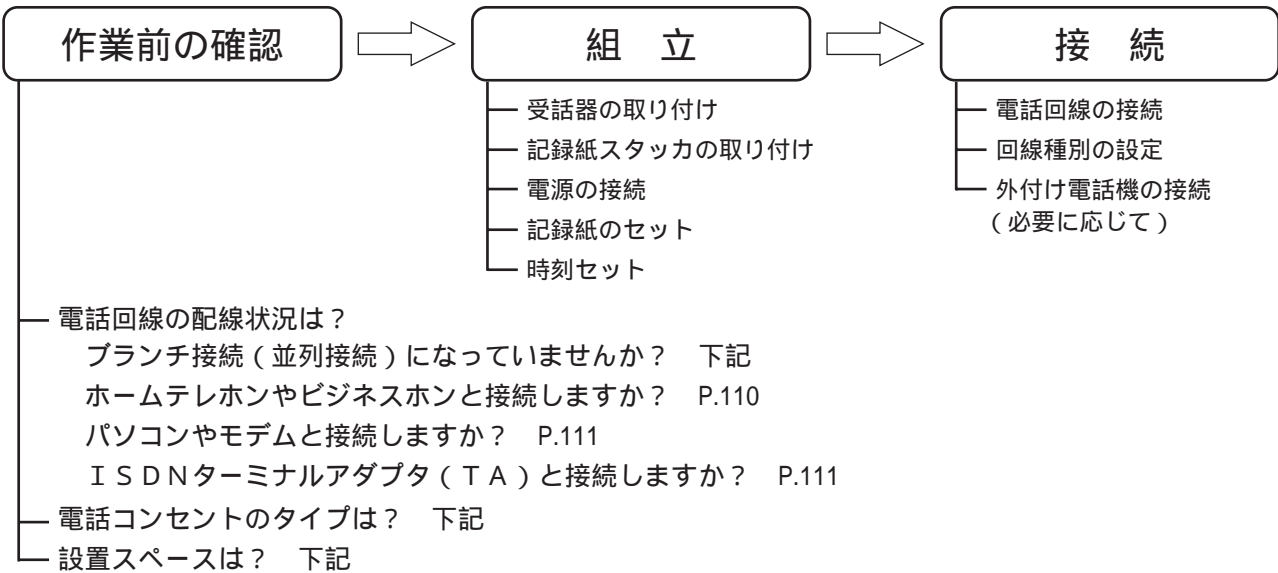
各種の設定時、ディスプレイのカーソルを右方向に移動させるときに使用します。 P.37
再生中の用件の次の用件を再生するときなどに使用します。

トーン (＊)

ダイヤル回線を使用の場合、トーン(プッシュ)信号を送出したいときに使用します。 P.32

組み立てかた

本機を組立・接続するまでの全体の流れを示します。まず、作業前の確認を行ってください。



電話コンセント

モジュラ式のとき
そのまま接続できます。

直接配線のとき（ネジ止め式）
NTT 窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担当者資格が必要です。

3ピンプラグ式のとき
市販のモジュラ付の電話キャップをお買い求めください。

設置スペース

本機は壁に掛けて使うことはできません。

本機の操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うために、図のスペースを確保してください。なお、本機は水平な所に設置してください。正常に動作しないことがあります。

上 5 cm以上
後 11 cm
左 20 cm
右 3 cm
前 使用原稿長 + 5 cm

ブランチ接続はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、次のような支障があり正常に動作できなくなります。

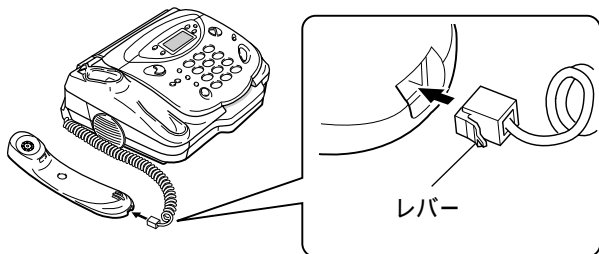
- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機を受話器を上げるとファクスの画像に異常が起きます。
- 電話がかかってきた時、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴り止んだり、相手がファクスのとき受信できない場合があります。

NTTへ 1階 2階

今までお使いの電話機は本機に接続して利用することができます。（ P.17）

受話器の取り付け

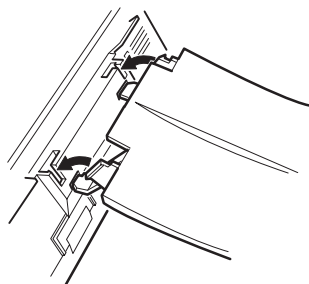
受話器に受話器用コードを接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。
(抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)



記録紙スタッカの取り付け

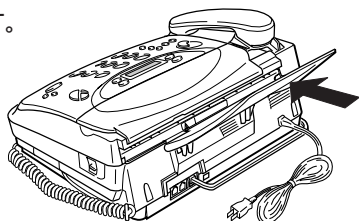
1 記録紙スタッカを本機背面の穴に合わせます。

記録紙スタッカの下側の位置決めを本機の穴に合わせたあと、上側のフックを本機の穴に合わせます。



2 記録紙スタッカを本機に押し込みます。

カチッと音がするまで記録紙スタッカを押し込みます。

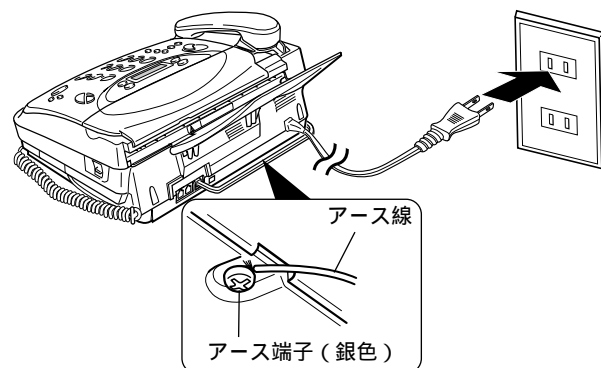


記録紙スタッカを外すときは
記録紙スタッカの根本を押し下げてください。「カチッ」と音がして外れます。

電源の接続

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

ディスプレイに「カバー/キロクシ カクニン」と表示されます。



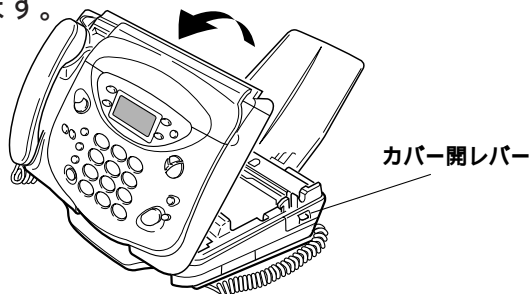
△注意

湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子(銀色)があります。アース線は付属していませんのでご用意ください。

記録紙のセット

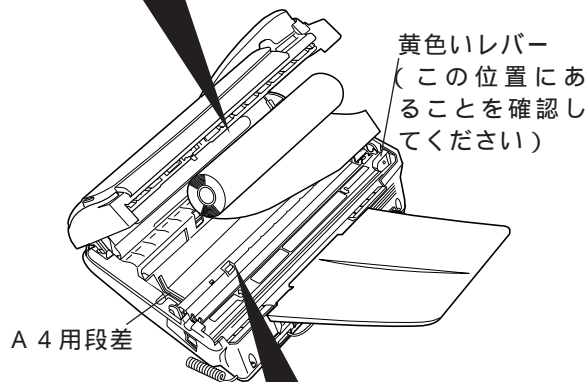
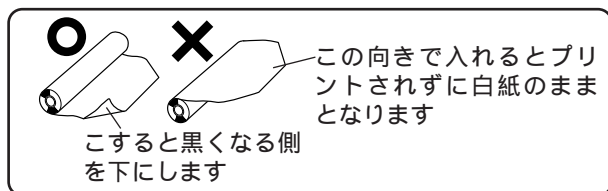
記録紙は付属品を使用するか、または巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。

- 1** カバー開レバーを押してカバーを開けます。



- 2** 記録紙を入れます。

A 4 サイズのときは段差の中に入れてください。



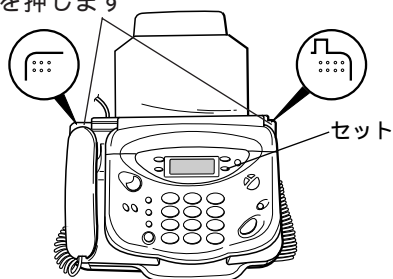
注意

手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。



- 3** 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

ここを押します



- 4** ① または ② を押して記録紙のサイズを選びます。

コピー? 1:B4 2:A4

カーソル

- 5** セット を押します。約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

コピーサイズ B4 コピー

5秒後

コピー オマケコピー

コピーセット コピー

- 6** 正しく記録紙がセットされたかを確認するためコピーを試みましょう。

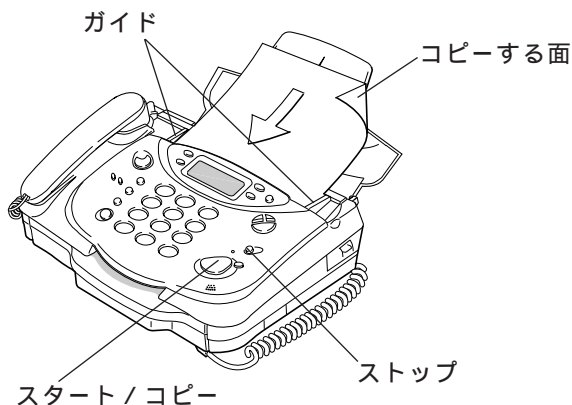
ダストカバーを開けます。

原稿の幅にガイドを合わせます。

コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。自動的に約3cm引き込まれます。

[スタート/コピー] ボタンを押します。

コピーが終了と「ピー」という音がします。

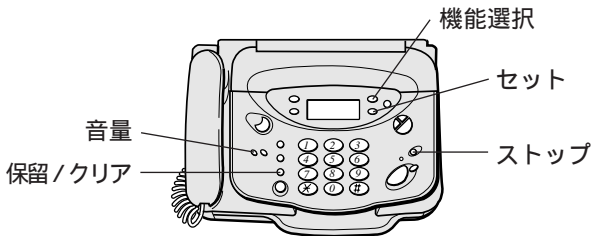


途中でやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたか、または記録紙の向きが逆です。原稿や記録紙がつまんだときは、P.92、P.93をご覧ください。

時刻セット

本機に内蔵されている時計を設定します。この時計はファクス送信時刻を相手の記録紙にプリントしたり、留守番電話で用件を録音した時刻を記録したりするときに使用されます。時計の精度は平均月差±60秒以内です。

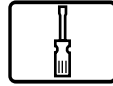


- 1 機能選択 を押します。 キリウセンタク シテクダサイ
- 2 4 を押します。 トウゴ モード
- 3 セット を押します。 アテサキ トウゴ
- 4 機能選択 を8回押しします。
ジゴク セット
 3秒待つか、または[セット]を押します
'97 1/ 1 00:00
 ↑
 カーソル
- 5 年月日、時刻を入力します。
 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
 ・年： 西暦下2桁
 ・月日： 1～9は頭に「0」を付けてください。
 ・時刻： 24時間制。1～9は頭に「0」を付けてください。
 例) 1997年10月17日12:00にする場合
 「97 10 17 12 00」と入力します。
 [音量]ボタンでカーソルを移動できます
 (小:左移動、大:右移動)
- 6 セット を押します。 カリヨウ

10/17 12:00 0

こんなときは

修正したいときは、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
 途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

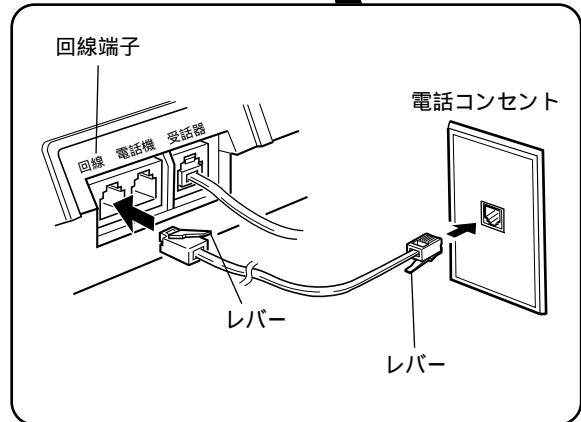
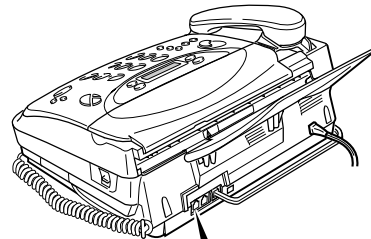


接続のしかた

NTT電話回線の接続

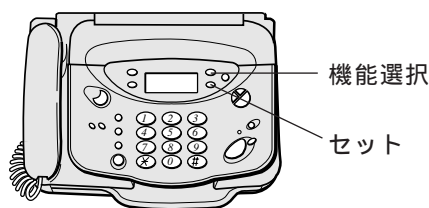
付属の電話回線接続コードの片方を本機背面の回線端子に、もう片方を電話コンセントに接続します。

カチッと音がするまで差し込んでください。
 (抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。)



NTT回線種別の設定

お使いの電話回線種別（プッシュ回線とダイヤル回線）に本機を合わせます。この設定をしないと、電話をかけられません。お買い上げいただいたときは、「ダイヤル回線（20 pps）」に設定されています。プッシュ回線の場合は必ず設定してください。回線種別がわからないときは自動で設定することもできます（P.18）。ただし、ISDNターミナルアダプタと本機を接続する場合は、自動で設定することはできません。



1 機能選択 を押します。 キノウセンタク シテクダサイ

2 3 を押します。 セツテイ モード

3 セット を押します。 ヨミリ ノクダ 0000

4 機能選択 を 8 回押
します。 カゼンシュウハツ 20P

5 1 または 3 カゼンシュウハツ PB

を押して回線種別を選びます。

20P：ダイヤル回線（20 pps）

10P：ダイヤル回線（10 pps）

PB：プッシュ回線

6 セット を押します。 カノヨウ

10/17 12:00 0

7 電話をかけて接続を確認してみましょう。

受話器をとります。

「ツー」という音がします。音がしないときは電話回線接続コードを確認してください。

117（時報）にダイヤルします（有料）。電話がかかれば接続は正しいです。

受話器を戻します。

こんなときは

ダイヤル回線の場合、お買い上げ時の状態で電話がかからなかったときは、「10pps」に設定してください。回線種別がわからないときはNTTにお問い合わせください。

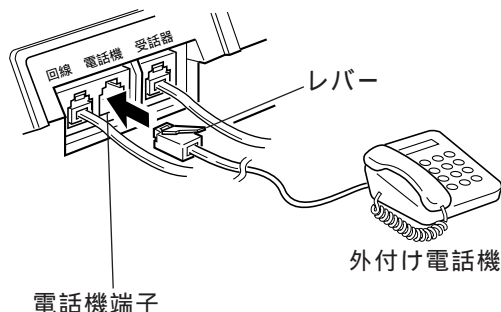
外付け電話機の接続

お手持ちの電話機などを本機に1台接続することができます。必要に応じて接続してください。

留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番機能をお使いください。

外付け電話機の利用にあたっては、いろいろな制限事項があります。詳しくはP.33を参照してください。

- 1 接続する電話機の電話回線接続コードを本機背面の電話機端子に接続します。カチッと音がするまで差し込んでください。（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）

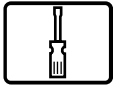


- 2 外付け電話機の回線種別を設定します。ダイヤル回線（10 pps、20 pps）プッシュ回線の設定です。詳しくは、その電話機の説明書をご覧ください。

以上で組立と接続は終わりです。

続いて次のページをお読みください。

- ・ P.18 「自分の電話番号を登録する」
必要に応じて登録してください。
- ・ P.20 「初期状態について」
お買い上げいただいたときの本機の設定状態について説明しています。よくお読みの上、本機をお使いください。



自分の電話番号を登録する

自分の電話番号を登録すると、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示させたり、通信管理レポートなどに表示させたりすることができます（相手機種によっては表示されないことがあります）。必要に応じて登録してください。また、スーパーLCRを利用する場合（P.82）ここでスーパーLCRのご利用の準備操作を行うことができます。

操作前のご注意

自分の電話番号を登録すると、「回線種別の自動選択」機能が働きます。登録した電話番号に自動的にダイヤルする（ビジー音が返ってくる）ことによって回線種別を設定するという機能です。したがって、間違った電話番号を登録すると、その番号に電話をかけてしまいますのでご注意ください。なお、P.17で回線種別を設定済みの場合でも、この機能が働きます。



- 機能選択** を押し `キリウセンタク シテウタガサイ` します。
- 4** を押し `トウク モード` します。
- セット** を押し `アテサキ トウク` します。
- 機能選択** を押し `テンクワインゴウ トウク` します。
3秒待つか、または[セット]を押します
- 自分の電話番号 `0120200940_` を入力します。
市外局番から入力してください（最大16桁）。
[＊][#]は入力できません。空白を入力するときは、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押してください。
- セット** を押し `テンクワイセン カクニチュウ` します。
交互に表示 `シヨウラク オマチウタガサイ`

`シヨウテンクワ オクニスル`
10秒待つか、または[セット]を押します

`スーパーLCRヲオススヨウマス`
10秒待つか、または[セット]を押します

`トウクリョウ・キホリョウナン`
10秒待つか、または[セット]を押します

`LCRヲウケヨミマスカ` `OK`
カーソル

7 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。

- x: スーパーLCRを申し込む
- x: スーパーLCRを申し込まない

8 **セット** を押しします。

「スーパーLCRを申し込む」にしたとき >

この場合も必ず申込書をファクスまたは郵送してください。
この操作のみではお申し込みにはなりません。
(P.83参照)

`LCRヲトウクハツシシチュウ`
30秒後

`オセウコトシヨ FAXシテ`
30秒後

`10/17 12:00 0`

<「スーパーLCRを申し込まない」にしたとき >

`カリョウ`

`10/17 12:00 0`

消去

登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]ボタンを押してください。

こんなときは

番号を間違えたときは、[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。

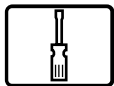
途中で登録をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

引っ越しなどで電話番号が変わったときは、登録しなおしてください。

『回線種別の自動選択はできませんでした。ご自分で設定してください』というメッセージが聞こえ、ディスプレイに「カイセンセツテイ シテクダサイ」と表示が出たときは、電話回線接続コードの接続を

確認し、次の操作をしてください。

- ・ 正しく接続されていないとき
電話回線接続コードを正しく接続する
[ストップ] ボタンを押す
手順の 1 ~ 4 を行う
[セット] ボタンを押す
- ・ 正しく接続されているとき
[セット] ボタンを押す
[1] / [3] を押して回線種別を選ぶ
[セット] ボタンを押す



初期状態について

お買い上げいただいたときの本機の設定状態について説明します。

電話がかかってくると次の動作をします（ファクス / 電話自動切替）

ベルが6回鳴ります。

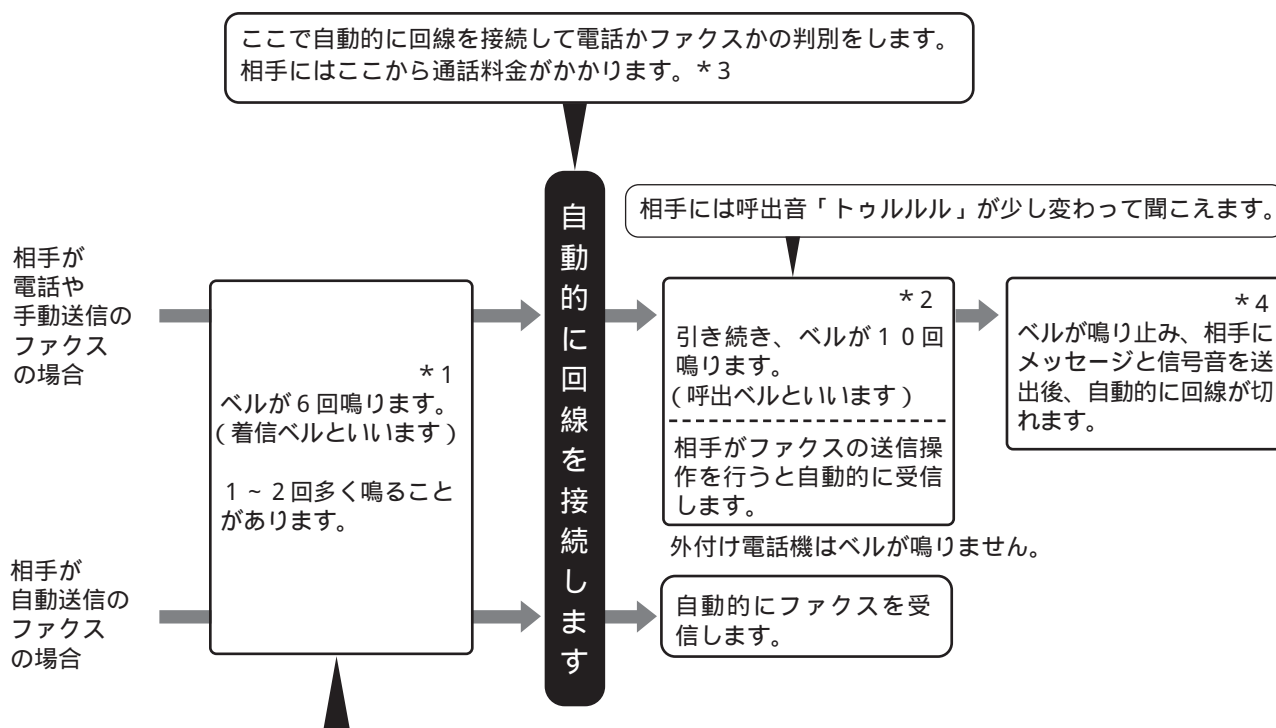
自動的に回線を接続します（ここから相手には通話料金がかかります）。

相手が電話の場合

- ・引き続きベルが10回鳴ります。電話に出ないと自動的に回線が切れます。相手がファクスの送信操作を行うと自動的に受信します。

相手が自動送信のファクスの場合

- ・自動的に受信します。



ここで受話器をとった時、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたときは、相手が自動送信のファクスです。数秒後、『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。受話器を戻してください。外付け電話機の場合は、メッセージは流れず「ポー・ポー・ポー...」のあと無音になります。無音になったら受話器を戻してください。(P.33、P.58)

なお、メッセージが流れず、または無音にならず、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえ続けるときは、[スタート / コピー] ボタンを押してください。外付け電話機では転送受信の操作を行ってください (P.33)。

*1 着信ベルの回数を変更できます (1 ~ 19回) (P.54)

また着信ベルの回数を0回、つまり、ベルを鳴らさずに回線を接続させることもできます (無鳴動着信の設定) (P.55)

*2 呼出ベルの回数を変更できます (1 ~ 19回) (P.54)

*3 ファクス / 電話自動切替したことを知らせるために、相手に音声メッセージを流すことができます。(P.55)

*4 相手には『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話のかたは恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』というメッセージが流れます。メッセージのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を約30 ~ 40秒送出後、回線が切れます。この信号音の間に相手が送信操作を行うと自動的に受信します。また、メッセージの途中に受話器をとると電話に出ることができます。

こんなときは

ファクス / 電話自動切替にたくないとき (通常の電話) は、P.56をご覧ください。

電話用の番号とファクス用の番号を別々にできるダイヤルインサービスを利用するときは、P.88をご覧ください。

留守にするときは、留守番電話にできます（ 詳細はP.61 ）
用件を録音したり、ファクスを受信したりできます。



を押します。

応答メッセージが流れ、[留守] ボタンが点灯します。（解除するときは、もう一度 [留守] ボタンを押してください。）
おやすみになるときは、おやすみモードにできます（ 詳細はP.75 ）
ベルを鳴らさずに用件を録音したり、ファクスを受信（メモリ受信）したりできます。



を押します。

[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが点灯します。（解除するときは、もう一度 [おやすみ] ボタンを押してください。）
その他のお買い上げ時の設定状態は次のとおりです

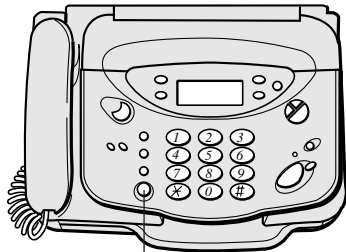
	機 能	設 定 状 態	参照ページ
記 録 紙	記録紙サイズ	B 4（P.15で設定）	P.15
受 信	無鳴動着信	しない	P.55
	音声メッセージ	流さない	P.55
	着信ベル回数	6回	P.54
	呼出ベル回数	10回	P.54
設 定	読み取り濃度	普通	P.43
	ペーパーセーブ	しない	P.59
	発信元記録	する	P.37
	海外通信	しない	P.49
	FAXかんたん受信	する	P.58
	手動カット	しない	P.59
	転送受信	する（3*）	P.60
	保留メロディ	メロディ1	P.32
	回線種別	20pps（P.17で設定）	P.17
登 録	電子電話帳	登録なし	P.25
	マイネームボタン	登録なし	P.50
	自分の電話番号	登録なし（P.18で設定）	P.18
	発信元	登録なし	P.36
	おやすみモードのタイマ切替	登録なし	P.77
	リモート操作	しない	P.69
	用件転送	しない	P.72
	ダイヤルインサービスの利用	しない	P.89
NTT「発信電話番号表示サービス」の利用	しない	P.91	
留 守 番	用件の再生順序	古い順に再生	P.68
	トールセイバ	する	P.68
L C R	スーパーLCRの利用	する	P.84
ス ハ ン ド ス キ ャ ナ	倍率	等倍	P.81
	メロディ	流す	P.81

設定状態はシステムリストで確認できます。（ P.96 ）





☎ 電話をかける

操作前のご注意

コピー中のときは、電話をかけることができません。



ワイワイトーク

- 1 受話器をとりま** 
す。
オンフックダイヤル（受話器を置いたままダイヤル）するときには、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。
「ツー」という音が聞こえます。
- 2 相手先の番号を** 
ダイヤルしま
す。
- 3 話をします。** 
音量を調整できま
す。（ P.31）
- 4 話が終わったら** 
受話器を戻しま
す。

ご注意

待機中（電話やファクスを使っていない状態）にダイヤルボタンを押すと、その数字が約90秒間ディスプレイに表示されたままになります。このようなときは [ストップ] ボタンを押してから操作してください。

通話時間表示について

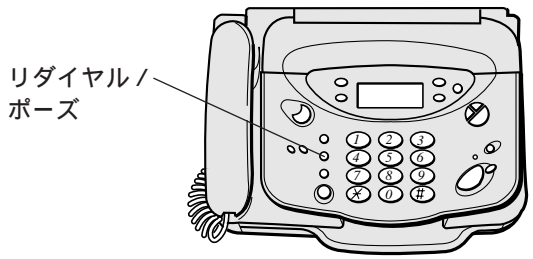
ダイヤル後、約10秒経つと相手が出ないときでも通話時間が表示されます。相手が出ると、0秒から表示されます。
通話時間は目安としてご利用ください。

受話器を戻してから、5秒間通話時間が表示されます。
通話時間が59分59秒を超えたときは、00分00秒から表示されます。

☎ リダイヤル (同じ相手にもう一度かける)

最後にかけた相手には、ボタンひとつでかけなおすことができます。話し中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。

リダイヤルできる桁数は40桁までです。



1 受話器をとりま
す。 10/17 12:00 0

2 リダイヤル/ポーズ
● を押し
ます。 ダイヤル中

交互に表示

発信:0120200940

ご注意

最後にかけた相手には、ファクスを送った相手も含まれます。この中には、相手が話し中などでファクスを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。

C 保留する

話をしている途中で相手に待っていてほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

メロディ音（保留メロディ）は、2つの中から選ぶことができます。（ P.32）



- 1 通話中です。
- 2 ^{保留/クリア} ● を押します。

メロディ音が流れます。
受話器を戻しても電話は切れません。
- 3 もう一度話をす ^{保留/クリア} ● を押します。

受話器を戻していたときは、受話器をとるだけで話ができます。
- 4 話が終わったら受話器を戻します。
ワイワイトークのときは [ワイワイトーク] ボタンを押してください。

ご注意

10分以上保留にしたまましていると電話は切れます。

電子電話帳 (短縮ダイヤル)

電子電話帳の登録

親機の電子電話帳の短縮ダイヤルに相手の電話番号とともに名前を登録しておく、電話をかける時、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。また、短縮番号を押して電話をかけることもできます。登録した内容は電話番号リストで確認できます。(P.27)

登録内容

- ・登録箇所：20カ所
- ・短縮番号：01～20
- ・電話番号：最大32桁
- ・相手先名：最大12文字

登録



1 機能選択 を押します。

2 4 を押します。

3 セット を押します。

4 電話帳/キャッチ を押します。

5 短縮番号 (01 ~ 20) を入力します。

6 セット を押します。

7 相手先の番号を入力します。

8 セット を押します。

9 相手先の名前を入力します。
入力のしかたは、P.36をご覧ください。名前を入力しないときは、次の手順10へ進んでください。

10 セット を押します。

続けて何か所も登録するときは、手順4へ戻ってください。

11 登録を終わるときは、もう一度 セット を押します。

消去

1 登録の手順1～6を行います。

2 保留/クリア を押します。

3 セット を押します。

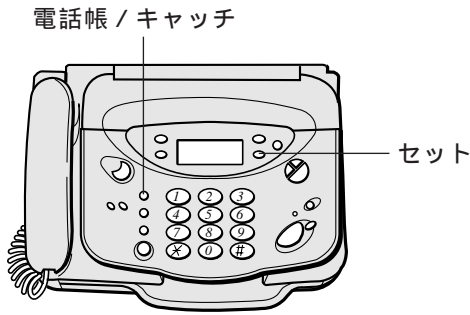
こんなときは

手順7で番号を間違えたときは[音量]ボタンでカーソルを移動するか(小:左移動、大:右移動)[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。登録した電話番号や名前を修正したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

国際電話を利用するとき

国際電話を利用するときは、手順7で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押してから(表示は「- -」)、残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。
例：001 - - 1 - - [相手先の番号]

電子電話帳を使って電話をかける



ディスプレイで相手先名を選んでかける

1 受話器をとりま
す。 10/17 12:00 0

2 電話帳/キャッチ
● を押しま
す。 アイ:ニッポンテック
最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。名前を登録していないときは電話番号が表示されます。

3 電話帳/キャッチ
● を押し
相手先を選びま
す。 アイ:トウキョウエキ
[電話帳 / キャッチ] ボタンを押すごとに短縮番号順に表示され、[*] ボタンを押すとひとつ前の相手先が表示されます。

4 セット
● を押しま
す。 ダイヤル 交互に表示
ダイヤルが始まります。

5 話が終わったら
受話器を戻しま
す。 10/17 12:00 0

短縮番号を押してかける

1 受話器をとりま
す。 10/17 12:00 0

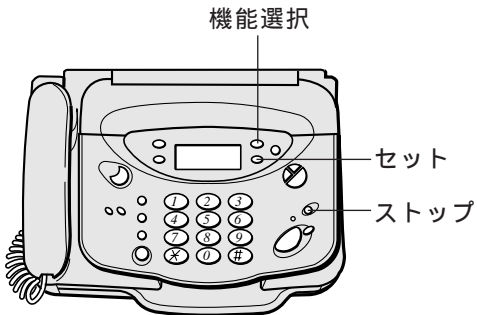
2 電話帳/キャッチ
● を押しま
す。 アイ:ニッポンテック

3 相手先の短縮番
号を押します。
例えば、[0][3]
と押します。 アイ:トウキョウエキ
交互に表示

4 話が終わったら
受話器を戻しま
す。 10/17 12:00 0

電話番号リストのプリント

電子電話帳の登録内容をプリントできます。



1 **機能選択** を押し
ます。

キウセンタク シテクダサイ

2 **1** を押し
ます。

リスト プリント

3 **セット** を押し
ます。

テイク リスト プリント

レポート シュツリョクチュウ

こんなときは

電子電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイに「デンワバンゴウミトウロク」と表示され、プリントされません。

途中でプリントをやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

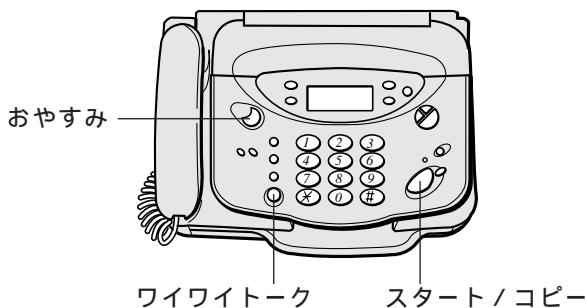
電話番号リストのプリント例

デ`ンワバ`ンゴ`ウ リスト

1997.10.17 12:00
ニチデ`ン タロウ

タンシュク	アイテサキ	デ`ンワバ`ンゴ`ウ
01	ヤマダ	1234567890
02	サトウ	0001112223
03	タナカ	1112223334
20	イトウ	2222222222

☎ 電話を受ける



1 ベルが鳴ります。
[おやすみ] ボタンが点滅します。

2 受話器をとります。
ツワツワ加 0'05"

3 話が終わったら
受話器を戻します。
10/17 12:00 0

こんなときは

受話器を置いたまま電話に出たいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してください。なお、[ワイワイトーク] ボタンを押したあと約2秒間通話できません。

ベルの音を調整したいときは、P.31をご覧ください。

ポー・ポー・ポー...という音が聞こえるとき / 無音のとき

受話器をとったら、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるときは相手がファクス送信しています。[スタート/コピー] ボタンを押して受話器を戻してください。

受話器をとったら、「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえ、『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れたときは、受話器を戻してください。(P.58 FAXかんたん受信の設定 参照)

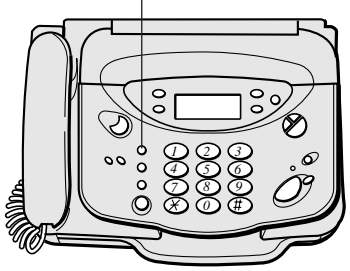
受話器をとったら無音のときは、相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー] ボタンを押してみてください。(旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスは、送信時に「ポー・ポー・ポー...」という音を出さない場合があります。)

【C】 キャッチホンの利用

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）はNTTが行っているサービスです。通話中に別の人から電話があると、音で通知され、その電話に出ることができます。


キャッチホンを利用するにはNTTとの契約が必要です（有料）。

電話帳 / キャッチ




1 通話中です。 ツツツツツ 0'35"

2 キャッチホンの着信音「プルルー・ブツツ」が聞こえます。

3 電話帳 / キャッチ  を押します。
あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をするとき

4 電話帳 / キャッチ  を押します。
あとからかけてきた人の電話は保留になります。

5 両方の話が終わったら受話器を戻します。 10/17 12:00 0

ご注意

ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

キャッチホンが入っていないときに [電話帳 / キャッチ] ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

こんなときは

通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合は、そのファクスを受けられません。[電話帳 / キャッチ] ボタンを押して通話していた方とお話ください。なお、この場合はファク

スを送ってきた相手側は通信エラーとなります。続けてファクスが送られてくると考えられますので、早めに通話を終わられることをおすすめします。

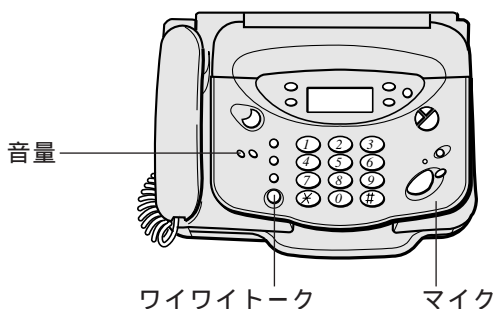
ワイワイトーク (ハンズフリー通話)

受話器を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話したいときに便利です。

ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

操作前のご注意

相手の声は左側面にあるモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように壁などから20cm以上離して設置してください。



1 ^{ワイワイトーク} を押しま す。
[ワイワイトーク] ボタンが点灯します。

2 相手先の番号を ダイヤルしま
す。

3 マイクに向かっ て話をしま
す。
マイクから約50cm以内の範囲でお話してください。

4 話が終わった ら ^{ワイワイトーク} を押しま
す。
[ワイワイトーク] ボタンが消灯します。

ご注意

話し始めや相手が話している間、または周囲の雑音が大きいつきは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイクに近づいて話をしてください。

次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。ご注意ください。

- ・ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき
- ・モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき
- ・反響音（ハウリング音）が大きい所に設置したとき
- ・相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号等）が入ってきたとき

こんなときは

ワイワイトーク中に受話器での通話に切り替えたいときは、受話器をとってください。

受話器での通話中にワイワイトークに切り替えたいときは、[ワイワイトーク] ボタンを押してから受話器を戻してください。

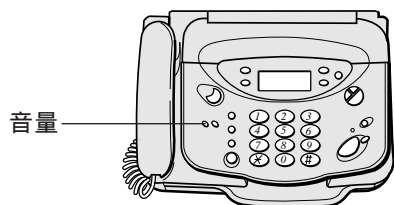
スピーカの音量を調整したいときは、[音量] ボタンを押してください。（P.31）

異常音が発生したとき

ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。

- ・[音量] (小) ボタンを押してスピーカの音量を小さくする
- ・受話器をとって、受話器での通話に切り替える

音量調整



ベル音量

待機中（電話とファクスのどちらも使用していない状態）に [音量] ボタンを押します。

受話音量

受話器で通話中に [音量] ボタンを押します。

ワイワイトーク音量

ワイワイトーク中に [音量] ボタンを押します。スピーカの音量を調整できます。

モニタスピーカ音量

用件再生中などに [音量] ボタンを押します。

ディスプレイ

音量「切」 	音量「小」 	音量「中」 	音量「大」 		
音量「小」 	音量「中」 	音量「大」 			
音量1 	音量2 	音量3 	音量4 	音量5 	音量6
音量「切」 	音量「小」 	音量「中」 	音量「大」 		

C トーン信号送出

(ダイヤル回線の場合)

ダイヤル回線を使用している場合でもトーン信号(プッシュ信号「ピッポッパ」)によって、ポケベル呼び出しや、テレホンサービス、ファクス情報サービスの利用などができます。

1 電話をかけます。

2 ***** を押します。

以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

3 用件が済んだら電話を切ります。

電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

C 保留メロディの設定

電話を保留した時に相手に流すメロディ音を選ぶことができます(保留メロディ1と2)。

お買い上げいただいたときは、「保留メロディ1」に設定されています。

保留メロディ1は「ハイ・ホー!」、保留メロディ2は「茶色の小瓶」です。



1 **機能選択** を押しま キリウセリタク シテクダサイ
す。

2 **3** を押しま セツテイ モード
す。

3 **セット** を押しま ヨミリ ノウダ 0000
す。

4 **機能選択** を7回押 ホリユウ メロディ 1
します。

5 **1** または **3** を押して選びます。

6 **セット** を押しま 加リヨウ
す。

10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

C 外付け電話機の利用

本機に外付け電話機を接続した場合、外付け電話機で電話をかけた時、受けたりすることができます。また、電話を受けた時、相手がファクスのときでも受信操作することができます。

ご注意

留守番電話機を接続した場合、その電話機の留守番電話機能は使用できません。本機の留守番機能をお使いください。

制限事項

- ・ファクス / 電話自動切替で使用の場合、自動的に回線を接続したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。したがって、無鳴動着信で使用の場合は、一切外付け電話機のベルは鳴りません。
- ・ダイヤルインサービスを利用時は、外付け電話機のベルは鳴りません。

電話のかけかた / 受けかた

外付け電話機の説明書に従ってください。

ファクスの受けかた

電話を受けた時、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえる時の受けかたです。

ダイヤル回線をお使いの場合

- 1 ③ を押します。
- 2 5秒ほど待ってから受話器を戻します。

プッシュ回線をお使いの場合

- 1 ③ ④ を押します。
- 2 受話器を戻します。

こんなときは

「FAXかんたん受信する」(P.58) に設定しているときは、電話を受けた時、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと無音になります。この場合は受話器を戻してください。

本機でコピー中やレポート出力中、登録・設定中は受信できません。


外付け電話機で電話をかけて話をしたあと、ファクスを送ってもらうときは、本機の [スタート / コピー] ボタンを押してください。

プッシュ回線をお使いの場合、[3] [*] を他の番号に変更できます。(P.60)

転送

口頭で電話を転送することを伝えます。外付け電話機と本機間の通話はできません。

電話を外付け電話機から本機へ転送する

- 1 外付け電話機で通話中です。
- 2 本機の  を押します。
- 3 外付け電話機の手話器を戻します。
- 4 本機のワイワイトークで話をします。
手話器をとって話をすることもできます。

電話を本機から外付け電話機へ転送する

- 1 本機で通話中です。
- 2 外付け電話機の手話器をとります。
- 3 本機の手話器を戻します。
- 4 外付け電話機で話をします。

いろいろな使いかた

通話録音（通話中の会話を録音する）

受話器で通話中に、会話を録音することができます。通話中にちょっとメモを取りたいときなどにご利用ください。

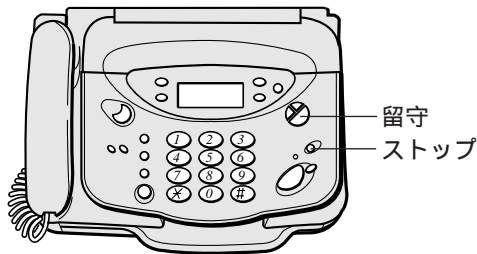
録音できる時間は最大15分です。ただし、通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記憶するメモリは同じものです。

そのためメモリ内に用件や受信文書が残って

いると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合わせて合計が15分を超えない限り最大30件録音できます。


操作前のご注意

- ・ワイワイトーク中は、通話録音できません。
- ・留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が20秒以内のときは通話録音できません。




1 受話器で通話中
です。

留守 0'35"

2  を押し
ます。

留守 留守 留守

[ピ-]という音がして、録音を開始します。相手にも[ピー]という音が流れます。

3 録音を終了する
ときは  を
押します。

留守 1'35"

ご注意

通話録音中は保留できません。保留するときは、通話録音を終了させてください。

こんなときは

メモリがいっぱいになると、『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、ディスプレイに「メモリ

がいっぱい」と表示されます。録音は中断されます。

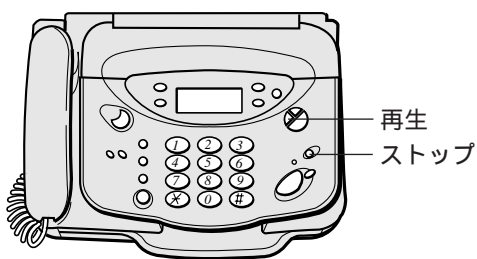
通話録音した内容を聞く





録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます。したがって、用件が録音されていれば、録音された順に用件や通話録音内容が再生されません。通話録音した内容だけを再生する操作はありません。(P.66)

留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる

受話器で通話中に、留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を再生して、相手に聞かせることができます。

操作前のご注意
・ワイワイトーク中は操作できません。



- 1 受話器で通話中
です。

- 2  を押しま
す。
録音内容が再生されます。
- 3 再生を終了する
ときは  を
押しします。




自分の名前を登録する（発信元登録）

ファクスを送ったときに相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前を自動的にプリントさせることができます（P.37参照）。相手側では、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。プリントさせるためには、次のことを行います。

- ・ここで自分の名前を登録する
 - ・P.37で「発信元をプリントする」に設定する（お買い上げいただいたときは、「発信元をプリントする」に設定されています。）
- 登録できる文字は下表に示すカタカナ、数字、アルファベット、記号で最大40文字（空白を含む）です。



1 機能選択 を押しま キ/ウ/センタク シテカタサイ
す。

2 4 を押しま トウゴ モー卜
す。

3 セット を押しま アテサキ トウゴ
す。

4 機能選択 を2回押 シヨウゼツ トウゴ
します。
3秒待つか、または[セット]
を押します
...

5 登録する名前を入力します。（右参照）

6 セット を押しま カ/リヨウ
す。
10/17 12:00 0

押す ボタン 押す 回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ゝ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。°
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	-
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	.
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	口	空白
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	ワ	0
7回	ア	A	D	G	J	M	P	V	ヲ	(
8回	イ	B	E	H	K	N	Q	ヤ	ン)
9回	ウ	C	F	I	L	O	R	ユ	9	・
10回	エ			ッ			S	ヨ	W	'
11回	オ								X	*
12回									Y	#
13回									Z	&
14回										,
15回										。

（注）空白は1文字分空きます

入力例：テス8
[4]を4回押して
[#]を押します。 テ_

[3]を3回押して
[#]を押します。 テス_

[8]を4回押して
[#]を押します。 テス8_

入力を間違えたときは、[#]を押してから[音量]
ボタンでカーソルを移動するか（小：左移動、大：
右移動）[保留/クリア]ボタンを押して入力しな
おしてください。

変更
登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]
ボタンを押してから新しい名前を入力してください。

削除
登録と同じ手順を行い、手順5で[保留/クリア]
ボタンを押してください。

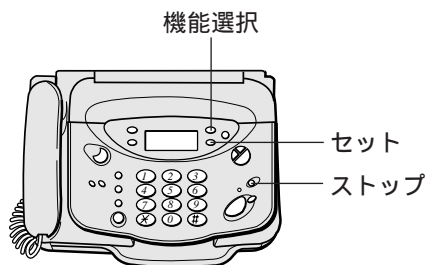
こんなときは
途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押
してください。



発信元を相手の記録紙にプリントする設定

P.36で登録した名前（発信元）を相手の記録紙にプリントするか、しないかの設定です（発信元記録）。

お買い上げいただいたときは、「発信元をプリントする」に設定されています。



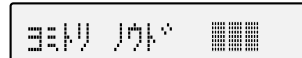
1 機能選択 を押し
ます。



2 3 を押し
ます。



3 セット を押し
ます。



4 機能選択 を2回押
します。



カーソル

5 1 または 3 を押してカーソル
を移動します。

_x : 発信元をプリントする
x : 発信元をプリントしない

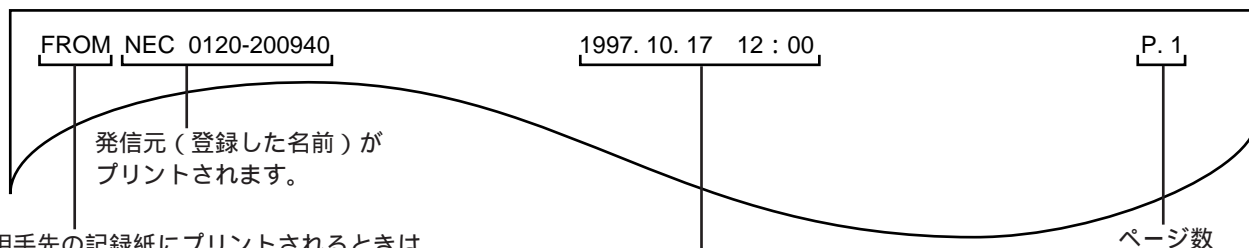
6 セット を押し
ます。



こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

相手先でのプリント例



相手先の記録紙にプリントされるときは、名前の前に自動的に「FROM」とプリントされます。

時刻の設定をしていないときは、日付・時刻はプリントされません。

ページ数



原稿のセットのしかた

一度に10枚までの原稿をセットできます（同じ紙質、同じ大きさの場合）。11枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。

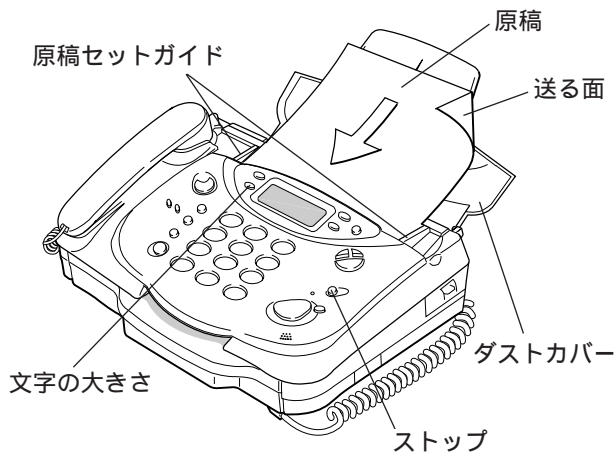
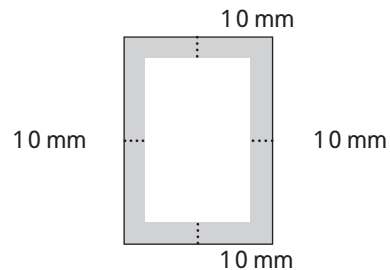
原稿のサイズおよび厚さ

	1枚だけセットする場合 (幅×長さ)	複数枚セットする場合 (幅×長さ)
最大	257×1000mm	257×364mm (B4サイズ)
最小	128×128mm	128×128mm
厚さ	0.05～0.15mm	0.065～0.10mm

*このページの紙の厚さは約0.09mmです。

読み取りできる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは読み取れない場合があります（この部分）。



1 ダストカバーを開けます。

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。

複数枚のときは先端と幅をそろえてください。

3 送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込みます。

自動的に約3cm引き込まれます。

複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。

画質モードは、[文字の大きさ]ボタンで変更されます。（P.42）



ご注意

原稿セットガイドは原稿の幅にきちっと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。

幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。

クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。

インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。

原稿を取り除きたいときは

[ストップ]ボタンを押すと、原稿が排出されます。原稿は無理に引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

こんなときは

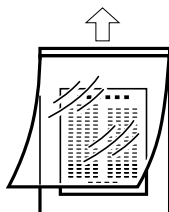
次のような原稿は、普通紙に複写機でコピーするか、
ハンドスキャナ（ P.80）または別売のキャリア
シート（ P.107）を使って送信してください。

送れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの		*	
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙			
感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙			
小さすぎる紙 (128×128 mm未満)		*	
薄すぎる紙 (0.05 mm未満)		*	
厚すぎる紙 (0.15 mmを超える)			×
ノリやテープで貼り合わせた紙		×	×

*白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

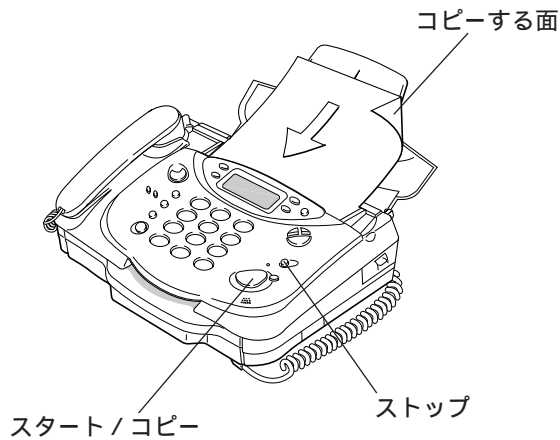
キャリアシート（別売 P.107）を使う場合、2枚以上の
キャリアシートを同時にセットすることはできません。
1枚ずつ送信してください。

セットするときはこちら側
から差し込みます。





コピーのしかた



1 原稿をセットし

777

ます。(P.38)

写真や小さい文字の原稿、色のついた原稿などの場合は、画質モードや読み取り濃度を設定してください。(P.42、P.43)

2 を押し

コピー

P01

枚数

す。

コピーが終わると、「ピーッ」という音がします。

ご注意

原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。

記録紙スタッカに、コピーした記録紙を10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。

こんなときは

白紙が出たとき

- ・ 原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
 - ・ 記録紙のセットの向きは正しいですか (P.94) ?
- 途中でコピーをやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。「ハイシュツチュウ」と表示され、原稿が排出されます。

拡大/縮小コピーするときは、ハンドスキャナをお使いください。(P.79、P.81)

コピーしてはいけないもの

簡単にコピーがとれるからといって自由に何をコピーしてもよいという訳ではありません。例え個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。

- ・ 貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。

- ・ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
- ・ パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。



送信原稿の種類の設定

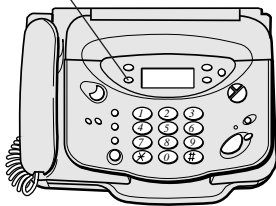
写真や小さい文字の原稿を送るとき（画質モード）

文字が小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に

画質モードを設定してください。

お買い上げいただいたときは「フツウ（普通）」に設定されています。

文字の大きさ



画質モードの選びかた

文字の大きさ



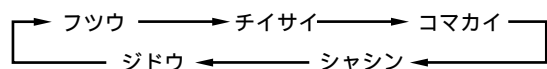
を押して選び



画質モード

ます。

ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。



原稿をセットしていない状態で [文字の大きさ] ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

画質モード

フツウ： **文字がこのくらいの大**
(普通)

チイサイ： **文字がこのくらいの大きさのとき**
(小さい)

コマカイ： **文字がこのくらいの大きさのとき**
(細かい)

シャシン： **写真のとき（64階調ハーフトーン）**
(写真)

ジドウ： **文字と写真が混在する原稿のとき**
(自動)
・ 原稿の内容を自動で感知して最適な画質モードが選択されます。
(写真部分は64階調ハーフトーン)



ご注意

「細かい」、「写真」、「自動」に設定すると、「普通」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。

色地の原稿を「細かい」、「写真」、「自動」で送ると、送信時間が極端に長くなる場合があります。色地の原稿を送るときは、「普通」または「小さい」に設定してください。

黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある

原稿では送信に時間がかかります。

「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。

「写真」、「自動」に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「うすく読み取る」または「よりうすく読み取る」に設定してください。(P.43)

こんなときは

写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーをするときは、「写真」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

写真と文字がいっしょになっている原稿を送信するときやコピーするときには、「自動」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

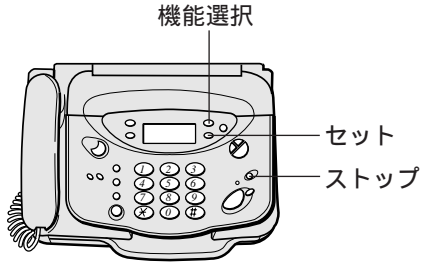
コピーのときは、「小さい」、「細かい」、「写真」、「自動」の中から選んでください。「普通」に設定しても「小さい」でコピーされます。

ハンドスキャナを使って送信するときやコピーをするときは、「普通」、「細かい」は選べません。「小さい」、「写真」、「自動」の中から選んでください。

色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき（読み取り濃度）

キャリアシート（別売 P.107）を使うときや用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。送信

やコピーの前に設定してください。お買い上げいただいたときは、「普通で読み取る」に設定されています。



1 機能選択 を押しま す。 キリウセンワ シテクダサイ

2 3 を押しま す。 セツイモト

3 セット を押しま す。 ヨミリ ノド |||||
読み取り濃度

4 1 または 3 を押して選びます。

- : よりうすく読み取る
(濃い原稿)
- : うすく読み取る
(色地原稿や新聞)
- : 普通で読み取る
(コピーや黒ペン書き原稿)
- : 濃く読み取る
(鉛筆書き原稿やキャリアシート使用時)
- : より濃く読み取る
(うすい原稿)

5 セット を押しま す。 カリヨウ

10/17 12:00 0

ご注意

設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通（ ）」に設定を戻してください。

こんなときは

読み取りの具合を確認したいときは、コピーをとって確認してください。

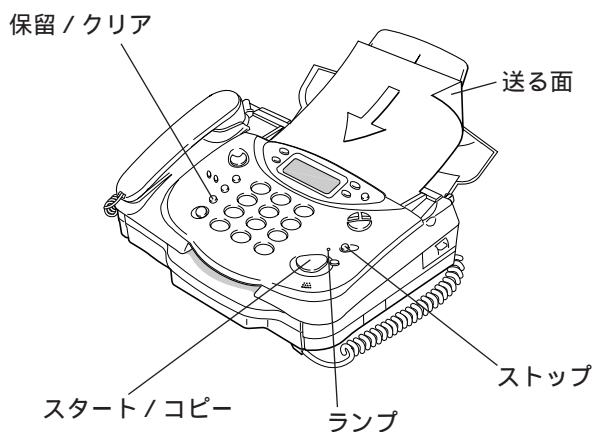
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

ファクスを送る

自動送信

相手が出る前に送信操作〔スタート/コピー〕ボタンを押す)を行うやりかたです。

相手機が A 4 サイズの記録紙を使用している場合、B 4 サイズの原稿を送ると、自動的に A 4 サイズに縮小して送信されます。



1 原稿をセットし

ます。(P.38)

写真や小さい文字の原稿、色のついた原稿などの場合は、画質モードや読み取り濃度を設定してください。(P.42、P.43)

2 相手先の番号を

ダイヤルしま

す。

受話器を置いたままダイヤルします。
リダイヤルも使えます。

3 を押し

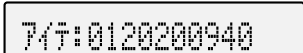
す。

送信中はランプが緑で点滅 / 点灯します。

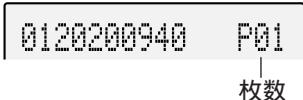
点滅：相手機と制御信号のやりとり中

点灯：原稿送信中
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

交互に表示











ご注意

原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
相手機種によっては、通信中にディスプレイに相手先の名前（電子電話帳に登録した名前）や電話番号

が表示されます。ディスプレイには 1 2 文字まで表示されます（ 1 3 文字以上あるときは後ろから 1 2 文字が表示されます）。

こんなときは

番号を間違えたときは、〔保留/クリア〕ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
途中で送信をやめるときは、〔ストップ〕ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラ

ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません）。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。

赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になってしまいます。

相手先が話し中のときは

ディスプレイに「サイハッコ マチ 1カイメ」(再発呼待ち1回目)と表示されたときは、相手先が話し中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。そのままお待ち

ください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートがプリントされます(下記)。送信をやめるときは[ストップ]ボタンを押して原稿を排出してください。

送信できなかったときは

自動的に不達レポートがプリントされます。

不達レポートのプリント例

フタツ レポ^oート

1997. 10.17 12:25

NEC

ツウシン カイシ ニチシ [*]	ツウシン シ [*] カン	アイ テ サ キ	モード	マイスウ	ツウシンケッカ
10.17 12:17		0120200940	G3	0	ハナシチュウ

- ハナシチュウ 次のいずれかの場合です。
 - ・ 相手先が話し中
 - ・ 回線が混み合っている
 - ヨビダシ 次のいずれかの場合です。
 - ・ 相手先から通話予約などで呼び出しを受けている
 - ・ 相手先の記録紙がなくなっているか、つまっている
 - ムオウトウ 次のいずれかの場合です。
 - ・ 相手先が受信できない状態になっている
 - ・ 相手先が電話に出ない
 - ・ 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線しているおそれがある
- × × (2桁の英数字) 「エラーコード表」(P.106)をご覧ください。

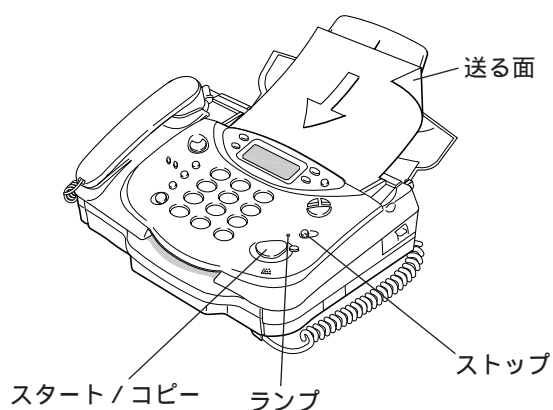
海外へ送るときは


海外へファクスを送る場合、「海外通信の設定」を行うと海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。(P.49)
 国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号(001、0061、0041 など)をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、話し中になり通信できないこと

があります。このようなときは、国際電話番号のあとに[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押し(約6秒のポーズが入ります)それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。
 例：001 - - 1 - - [相手先の番号]

手動送信

相手先と話をしてからファクスを送ることができます。



1 原稿をセットし  ます。(P.38)

2 電話をかけて話をします。
ワイワイトークでかけることもできます。

3 相手に受信の操作をしてもらいます。
相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

4  を押し、 

受話器を戻しま  す。

送信中はランプが
緑で点滅 / 点灯し
ます。

点滅：相手機と制
御信号のや
りとり中

点灯：原稿送信中
送信が終わると、
「ピーッ」という
音がします。

0120200940

0120200940 P01

ツウツウ シュウリョウ

10/17 12:00 0

ご注意

原稿は自動的に排出されます。一時的に止まること
がありますが、無理に引き抜かないでください。

こちらが先に [スタート / コピー] ボタンを押して
も、相手が受信の操作をすれば送信できます。

こんなときは

途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押
してください。原稿が排出されます。排出されない
ときは、もう一度 [ストップ] ボタンを押してくだ
さい。

ファクスを送ったあとも相手と話したいときは、
受話器を戻さないでください (相手も)

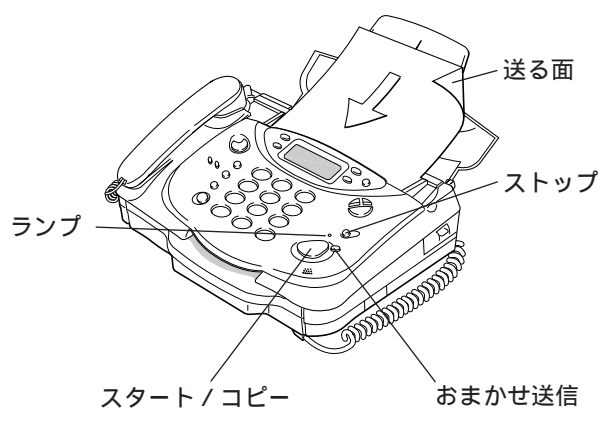
青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿

は鮮明に読み取れないことがあります (ブルーブラ
ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありませ
ん)。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も
鮮明に読み取れません。

赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤
色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になっ
てしまいます。

おまかせ送信 (メモリ送信)

セットした原稿を一旦読み取ってメモリに記憶してから送ることができます。メモリには、画質モード (P.42) が「普通」のとき A 4 判 (7 0 0 字程度) 原稿を約 2 0 枚記憶できます。



1 原稿をセットします。(P.38)

2 相手先の番号をダイヤルします。
受話器を置いたままダイヤルします。
おまかせ送信ではリダイヤルできません。

3 おまかせ送信 を押し

ます。
自動的に原稿が読み取られます。
読み取りが終了すると自動的に送信されます。
送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

テンコウメモリ P01

ダイヤル

ダイヤル

交互に表示

7/7:0120200940

0120200940

0120200940 P01

ツウツウ シュウリョウ

10/17 12:00 0

こんなときは

相手が話し中のときは、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。送信できないときは不達レポートがプリントされます。(P.45)
途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。
青色のボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は鮮明に読み取れないことがあります(ブルーブラ

ックのインクや紺色に近い青の場合は問題ありません)。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れません。
赤は黒と同様に鮮明に読み取ることができます。赤色の紙に黒で書かれた原稿の場合は、真っ黒になってしまいます。

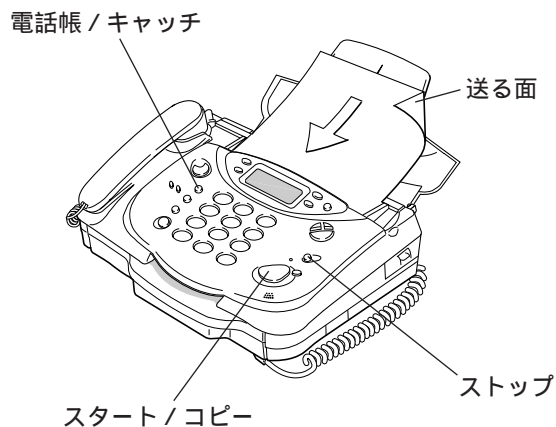
原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

- ① 「ピーピーピー...」という音がしてランプが赤点灯し、読み取り中のページが表示されます。
メモリ 70 P05
- ② 5秒後(または[ストップ] ボタンを押すと)読み取りが終わったページまでを送信する旨が表示されます。
04ページ リマインマス

- ③ 読み取りが終わったページまでを送信するときは、[スタート/コピー] ボタンを押してください。送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。
何もしないまま60秒経つと自動的に送信します。読み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったままです。原稿を排出するときは、送信が終了してから[ストップ] ボタンを押してください。

電子電話帳で送信

あらかじめ登録が必要です。(P.25)



1 原稿をセットします。(P.38)

ファク

2 ^{電話帳/キャッチ} を押します。

アイ:ニッポンテレ

最も若い短縮番号に登録してある相手先の名前が表示されます。名前を登録していないときは電話番号が表示されます。

3 ^{電話帳/キャッチ} を押して

アイ:トウキョウIT

相手先を選びます。

ここで直接相手先の短縮番号を押すこともできます(例:[0][5])。このときは、7秒後(または[スタート/コピー]ボタンを押すと)、自動的にダイヤルが始まります。

4 ^{スタート/コピー} を押します。

ダイヤル中

交互に表示

アイ:トウキョウIT

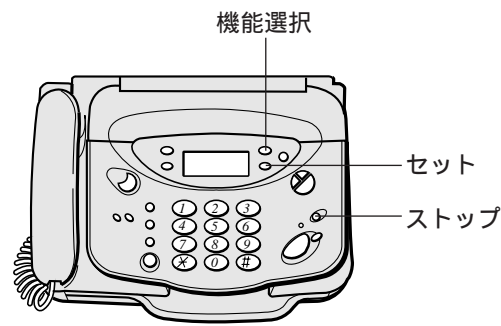
こんなときは

途中で送信をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

海外通信の設定

海外にファクスを送るときは、「海外通信する」に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。

お買い上げいただいたときは、「海外通信しない」に設定されています。



- 機能選択 を押します。 キリウケンタク シテクダサイ
- 3 を押します。 セツトイート
- セット を押します。 ヨミトリ ノウト
- 機能選択 を 3 回 押 します。 カキカイ ツウシヨウ OK
カーソル
- 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_x : 海外通信する
x : 海外通信しない
- セット を 押 しま す。 カリヨウ
10/17 12:00 0

ご注意
海外通信の設定は、ファクスを受信するときには関係ありません。 海外へ送信完了後は、「海外通信しない」に設定してください。

こんなときは
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

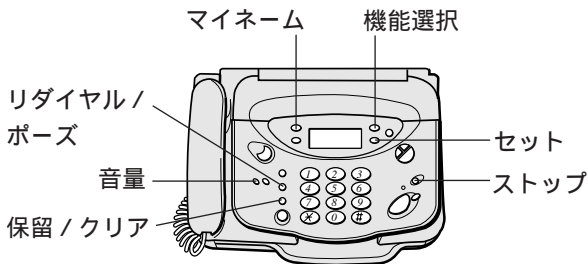
マイネームボタン（自分専用の発信元名を付けて送る）

よくファクスを送る相手先をマイネームボタンに登録すると、簡単な操作でファクスを送ることができます。また、マイネームボタンには自分専用の発信元名（マイネーム）を登録でき、相手の記録紙にはこのマイネームがプリントされます（P.36で登録した発信元ではありません）。
マイネームボタンに登録できるのは1カ所だけです。

相手の記録紙にマイネームをプリントさせるには、次のことを行います。

- ・ここでマイネームを登録する
- ・P.37で「発信元をプリントする」に設定する登録内容
- ・相手先の電話番号：最大32桁
- ・相手先名：最大12文字
- ・マイネーム：最大40文字

マイネームボタンの登録



- 1 機能選択 を押し
す。
キノウセンタク シテクダサイ
- 2 4 を押し
す。
トウゴク モード
- 3 セット を押し
す。
アテサキ トウゴク
- 4 マイネーム を押し
ます。
マイネ-4ボタンのトウゴク
- 5 セット を押し
す。
TEL: _

- 6 相手先の番号
を入力します。
TEL:0120200940_

- 7 セット を押し
ます。
マイネ:_

- 8 相手先の名前を入力します。
入力のしかたは、P.36をご覧ください。名前を入力しないときは、次の手順9へ進んでください。

- 9 セット を押し
ます。
マイネ-4:_

- 10 マイネームを入力します。
入力のしかたは、P.36をご覧ください。

- 11 セット を押し
ます。
アテサキ トウゴク

- 12 セット を押し
ます。
加リヨウ

10/17 12:00 0

こんなときは

手順6で番号を間違えたときは、[音量]ボタンでカーソルを移動するか（小：左移動、大：右移動）、[保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

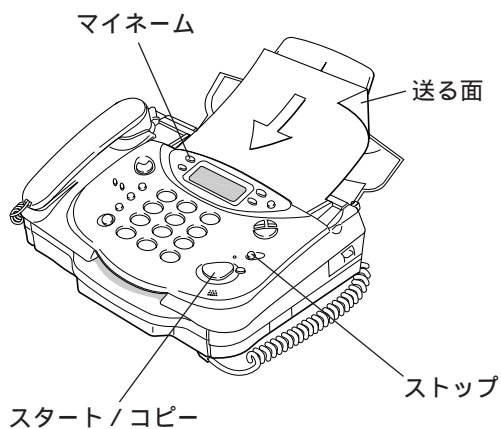
途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

国際電話を利用するとき

国際電話を利用するときは、手順6で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル/ポーズ]ボタンを2回押してから（表示は「- -」）、残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル/ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。

例：001 - - 1 - - [相手先の番号]

マイネームボタンを使って送る



1 原稿をセットします。(P.38)

ファク

2 マイネーム を押し
ます。

ダイヤル: 90707

3 ◇スタート
コピー を押し
ます。

ダイヤル: 90707

交互に表示

[スタート/コピー] ボタンを押さないときは、[マイネーム] ボタンを押してから7秒後に、自動的にダイヤルが始まります。

ダイヤル: 90707

こんなときは

途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電
話

ファクス

留守番

ハンドスキャナ

スーパーLCR

ダイヤルイン

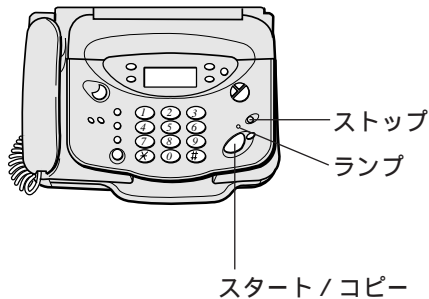
発信電話番号表示

困ったときは



ファクスを受ける

電話で話をしたあとに、そのまま電話を切らずにファクスを受信することができます。



話をしたあと受ける

1 通話中です。

ツウツツツ 0'35"

2 相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえます。FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあとメッセージが流れます。この場合は受話器を戻してください。相手機種によっては何も音が聞こえないことがあります。

3  を押し、
ジューンチュウ

受話器を戻します。

受信中はランプが緑で点滅/点灯します。

点滅：相手機と制御信号のやりとり中

点灯：原稿受信中

受信が終わると、「ピーッ」という音がします。

電話に出たら「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえるとき

相手がファクス送信しています。[スタート/コピー] ボタンを押して受話器を戻してください。

FAXかんたん受信の設定をしているときは、「ポー・ポー・ポー...」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。この場合は、受話器を戻してください。

ご注意

[ストップ] ボタンを押しても、途中で受信をやめることはできません。

受信した文書は記録紙スタックに10枚以上ためないでください。記録紙づまりの原因になります。

こんなときは

こちらが先に[スタート/コピー] ボタンを押しても、相手が送信の操作をすれば受信できます。ファクスを受信したあと相手と話したいときは、受話器を戻さないでください(相手も)。

FAXかんたん受信の設定については、P.58をご覧ください。

ファクスを受信中に記録紙がなくなったり、つまったりした時は、受信は中断され、次のファクスからメモリ代行受信になります。(P.53)



ファクス / 電話自動切替の設定

ファクス / 電話自動切替の仕組み

ファクスの場合は自動的に受信します。電話の場合はあらかじめ設定した回数だけベルが鳴ります。その間に電話に出ないと自動的に回線が切れます。

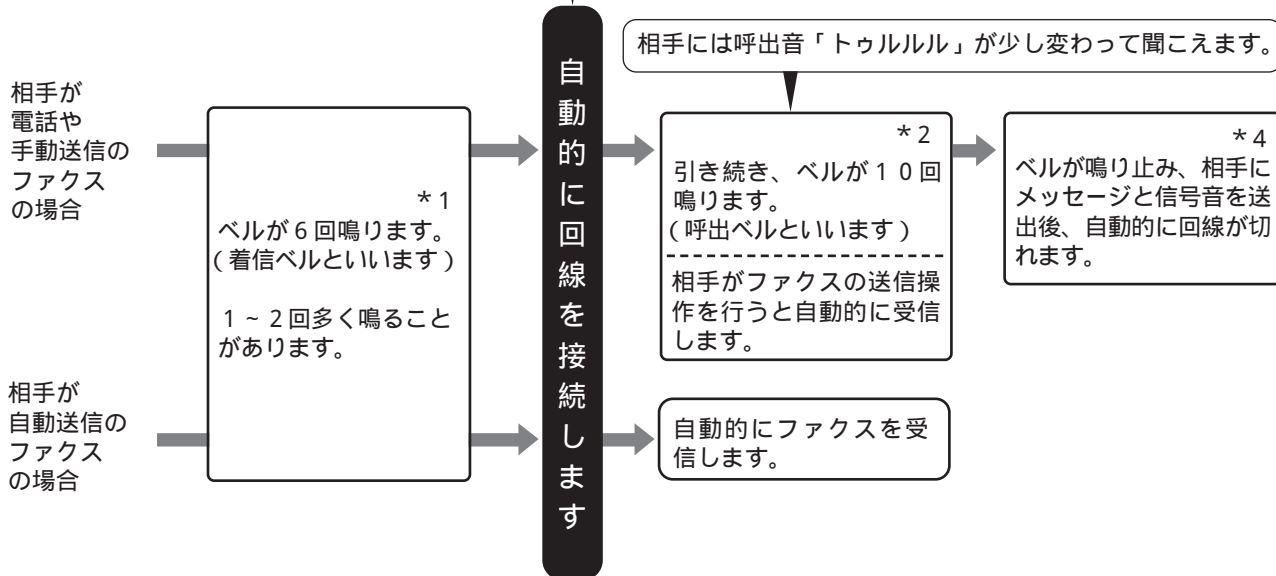
ご注意

相手が電話の場合、回線を接続したあとは、こちらが出なくても相手には通話料金がかかります。ご承知ください。

外付け電話機は回線が接続されたあとのベル（図の呼出ベル）は鳴りません。

お買い上げいただいたときは、ファクス / 電話自動切替をするに設定されています。自動切替にたくないときは、電話モードに設定してください。（ P.56 ）

ここで自動的に回線を接続して電話かファクスかの判別をします。相手にはここから通話料金がかかります。*3



- *1 着信ベルの回数は変更できます（1～19回）。（ P.54 ）
また、着信ベルの回数を0回、つまり、ベルを鳴らさずに回線を接続させることもできます（無鳴動着信の設定）。（ P.55 ）
- *2 呼出ベルの回数は変更できます（1～19回）。（ P.54 ）
- *3 ファクス / 電話自動切替したことを知らせるために、相手に音声メッセージを流すことができます。（ P.55 ）
- *4 相手には『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話のかたは恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください』というメッセージが流れます。メッセージのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を約30～40秒送出後、回線が切れます。この信号音の間に相手が送信操作を行うと自動的に受信します。また、メッセージの途中に受話器をとると電話に出ることができます。

記録紙がなくなったときは

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときにファクスを受信すると、メモリに蓄積され（メモリ代行受信）[スタート/コピー]ボタンの上のランプが赤く点滅します。最大10文書メモリできます（ただし、原稿の内容によっては少なくなります）。メモリの文書は、記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。

ファクスを受信中に記録紙がなくなったりした時は、受信は中断され、メモリ代行受信はできません。次のファクスからメモリ代行受信ができます。記録紙がなく、かつ、メモリがいっぱいのときは、着信ベルが鳴り続けます。

着信ベル回数の設定

ファクス/電話自動切替 (P.53) で、自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます (1 ~ 19 回)。電話モードにする設定もできます。お買い上げいただいたときは、「6回」に設定されています。

操作前のご注意

- ・ 10回以上の設定にすると、相手のファクスが自動送信の場合、自動的に受信できません。
- ・ 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください (P.55)。それから着信ベル回数を設定してください。
- ・ スーパーLCR (P.82) を利用する場合は、オンライン通信するために10回以下に設定してください。



1 **機能選択** を押しま キリウセンダウ シテクダサイ
す。

2 **2** を押しま ジユショウ セツタイ
す。

3 **セット** を押しま ムキイトウキウ キヤクショウ 0%
す。

4 **機能選択** を 2 回 押 キヤクショウ ベル 06カイ
します。

5 着信ベルの回数を入力します。
1 ~ 9 は頭に「0」を付けてください。
[*] を入力すると電話モードになります。

6 **セット** を押しま カクヨウ
す。

10/17 12:00 0

呼出ベル回数の設定

ファクス/電話自動切替 (P.53) で、自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます (1 ~ 19 回)。お買い上げいただいたときは「10回」に設定されています。

1 **機能選択** を押しま キリウセンダウ シテクダサイ
す。

2 **2** を押しま ジユショウ セツタイ
す。

3 **セット** を押しま ムキイトウキウ キヤクショウ 0%
す。

4 **機能選択** を 3 回 押 ヨヒダシ ベル 10カイ
します。

5 呼出ベルの回数を入力します。
1 ~ 9 は頭に「0」を付けてください。

6 **セット** を押しま カクヨウ
す。

10/17 12:00 0

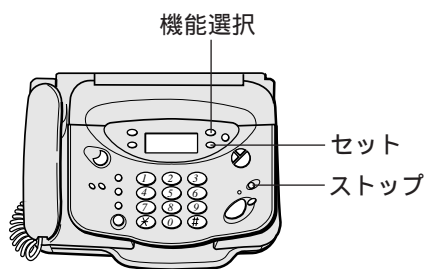
こんなときは

回数を間違えたときは、[保留 / クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

無鳴動着信の設定 (ファクス優先の設定)

ファクス / 電話自動切替 (P.53) で、着信ベルの回数を 0 回にできます。電話がかかってくると、すぐに回線が接続されます。0 回にするときは、ここで「無鳴動着信する」に設定します。なお、相手が電話の場合は、回線が接続されてから約 5 秒後に呼出ベルが鳴り始めます。お買い上げいただいたときは、「無鳴動着信しない」に設定されています。



- 1 機能選択 を押しま キリウセンタウ シテクダマシ
す。
- 2 2 を押しま ジユウロ セツテイ
す。
- 3 セット を押しま ムナクノウ キヤクシヨ 0%
す。 カーソル
- 4 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_ x : 無鳴動着信する
x : 無鳴動着信しない
- 5 セット を押しま カンリョウ
す。
10/17 12:00 0

音声メッセージの設定

ファクス / 電話自動切替 (P.53) で、自動的に回線を接続した時、相手に音声メッセージを流すことができます (相手が電話の場合) 。
『お呼び出したしますのでしばらくお待ちください』(これは変更できません)
お買い上げいただいたときは、「音声メッセージを流さない」に設定されています。

- 1 機能選択 を押しま キリウセンタウ シテクダマシ
す。
- 2 2 を押しま ジユウロ セツテイ
す。
- 3 セット を押しま ムナクノウ キヤクシヨ 0%
す。
- 4 機能選択 を押しま オンセイ メッセーヅ 0%
す。 カーソル
- 5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_ x : 音声メッセージを流す
x : 音声メッセージを流さない
- 6 セット を押しま カンリョウ
す。
10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。



電話モード

(主に電話を使う)

ファクス/電話自動切替 (P.53) をしたくない場合 (ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合) は、電話モードをご利用ください。電話モードにすると、普通の電話機と同じようになり、ファクスは手動で ([スタート / コピー] ボタンを押して) 受信できます。

お買い上げいただいたときは、ファクス/電話自動切替に設定されています。

設定のしかた

P.54の「着信ベル回数設定」で、着信ベル回数を [*] と入力します。

ご注意

電話モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信しません (ただし、「トールセイバしない」に設定しているときは自動受信できません) (P.68)



Fネットについて

(ファクシミリ通信網)

Fネットは、NTT (日本電信電話株式会社) が行っているファクシミリ専用の通信回線のことです。遠くの相手とひんぱんに通信を行う場合に経済的です。

Fネットには次のようなサービスがあります。詳しくは、お近くのNTT支店、営業所にお問い合わせください。

- ・ 一斉同報通信
- ・ 自動再送信
- ・ 無鳴動自動受信
- ・ 発信者電話番号などの自動記載
- ・ 再コール
- ・ 送達通知
- ・ 不達通知
- ・ ファクシミリ案内サービス
- ・ ファクシミリボックス
- ・ 短縮ダイヤル
- ・ 親展通信
- ・ 閉域接続
- ・ 着信課金

Fネットを利用する場合は、NTTとの契約が必要です。契約の際は、「G3サービス」、「1300Hz」、「無鳴動受信」と指定してください。

Fネットに加入してファクス送信すると、相手機にIDが表示されます。ID表示は自分の電話番号の前に「81」が付いたものになります。

例：電話番号が 03・1234・5678 のとき
表示「81 3 1234 5678」



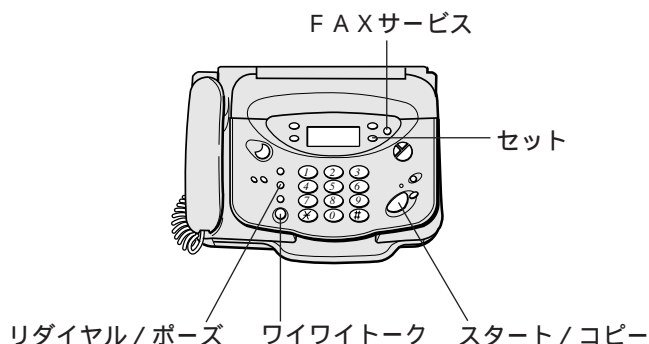
ファクス情報サービスの利用

FAXサービスボタンの使いかた

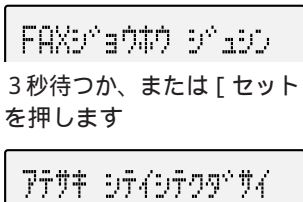
ポーリング方式のファクス情報サービスを利用するときは、[FAXサービス] ボタンを使用します。
ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

ポーリング受信について
あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら（受信側）から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

ポーリング方式のとき



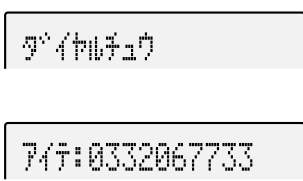
1 ^{FAXサービス} を押し
す。
3秒待つか、または[セット]を押し
す。



2 相手先の番号を
ダイヤルします。



3 ^{スタート/コピー} を押し
す。



こんなときは

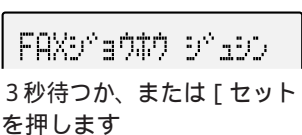
[リダイヤル/ポーズ] ボタンを押すと、前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルできます。ただし、受話器をとってダイヤルしたときは、最後にダイヤルした相手先へダイヤルされます。ご注意ください。
受話器をとってダイヤルしても受信できます。この場合、受話器から「ピー」という音が聞こえたら [スタート/コピー] ボタンを押してください。

ポーリング方式かどうかわからないとき / 電話のガイダンスに従って情報を取り出すとき

1 受話器をとりま
す。



2 ^{FAXサービス} を押し
す。



3 相手先の番号を
ダイヤルしま
す。



4 ガイダンスに従って操作します。
ガイダンス後の「ピー」という音のあとでコードを入力してください。
ガイダンスがない場合は次の手順5へ進んでください。

5 ^{スタート/コピー} を押し
す。



6 受話器を戻します。

こんなときは

ダイヤル回線をご使用の場合、コードをトーン（ブッシュ）信号で入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに [＊]（トーン）ボタンを押してください。以後のダイヤルはブッシュ信号が送出されます。受話器を置いたまま操作したいときは、手順1で [ワイワイトーク] ボタンを押してください。
ガイダンス方式のときは上記の手順2を省くことができます。



いろいろな使いかた

FAXかんたん受信の設定

電話に出た時、相手がファクスの場合、受話器を戻すだけで受信できるように設定できます。「FAXかんたん受信をする」に設定すると、次のようになります。

受話器をとって電話に出る

「ポー・ポー・ポー…」という音が数秒間聞こえる

『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れる

受話器を戻す（メッセージの途中で戻してもかまいません）

自動的に受信する

お買い上げいただいたときは、「かんたん受信をする」に設定されています。

ご注意

- ・コピー中や登録/設定中にファクスが入った時は、FAXかんたん受信はできません。このときは、コピーや登録/設定を中断すると受信できます。
- ・電話に出た時、周囲の騒音などによってはFAXかんたん受信ができず、メッセージが流れないことがあります。この場合は、[スタート/コピー]ボタンを押して受信してください。
- ・相手の電話の声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、「FAXかんたん受信をしない」に設定してください。
- ・いたずらファクスでお困りのときは、「FAXかんたん受信をしない」に設定してください。
- ・外付け電話機ではメッセージは流れません。「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたあと無音になります。それから受話器を戻してください。



1 機能選択 を押します。 キリウセンタク シテクダサイ

2 3 を押します。 セツテイモード

3 セット を押します。 ヨミトリ ノウト

4 機能選択 を4回押します。 かんたん 受信 OK
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_x : FAXかんたん受信をする
x : FAXかんたん受信をしない

6 セット を押します。 かんじョウ

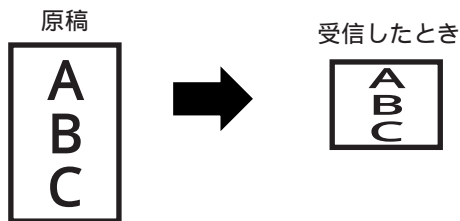
10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

ペーパーセーブ(記録紙を節約して受ける)

ファクスを受けるときに縦方向を半分に縮小してプリントできます。



相手先が「普通」の画質モードで送ってきたときだけペーパーセーブが働きます。「自動」、「小さい」、「細かい」、「写真」で送られてきたときはペーパーセーブできません。コピーのときはペーパーセーブできません。お買い上げいただいたときは、「ペーパーセーブしない」に設定されています。



- 機能選択 を押しま キリウセツク シテクダサイ
す。
- 3 を押しま ペーパーセーブ
す。
- セット を押しま ヨミリ ノド 0000
す。
- 機能選択 を押しま ペーパーセーブ 0%
す。 カーソル
- 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
 _x : ペーパーセーブする
 x : ペーパーセーブしない
- セット を押しま カンヨウ
す。
10/17 12:00 0

手動カットモードの設定

受信したファクスのページ間を自動的にカットする(自動カットモード)か、カットしない(手動カットモード)かを設定できます。「手動カットモード」では、ページ間と最後のページの終わりに破線がプリントされます。

お買い上げいただいたときは、「自動カットモード」に設定されています。

- 機能選択 を押しま キリウセツク シテクダサイ
す。
- 3 を押しま ペーパーセーブ
す。
- セット を押しま ヨミリ ノド 0000
す。
- 機能選択 を 5 回押 手動カットモード 0%
します。 カーソル
- 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
 _x : 手動カットモード
 x : 自動カットモード
- セット を押しま カンヨウ
す。
10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

手動カットのしかた

受信した文書がプリントされているときは、待機中(電話やファクスを使っていない状態)に[ストップ] ボタンを押すと記録紙がカットされます。

転送受信の設定（外付け電話機の場合）

外付け電話機で電話を受けた時、相手がファクスのときに、受信するための番号を変更することができます。なお、ここでの設定は

プッシュ回線の場合に有効です。お買い上げいただいたときは、「3*」に設定されています。



1 機能選択 を押しま キリウセツク シテクダサイ
す。

2 3 を押しま セツテイ モード
す。

3 セット を押しま ヨミリ ノウダ 0000
す。

4 機能選択 を 6 回押 テンノウ ジュウ 3*
します。 転送番号

5 1 または 3 を押して選びます。
選べる番号：2*、3*、5*、7*
転送受信をしないときは、「シナイ」を選んでください。

6 セット を押しま カンリョウ
す。

10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

留守設定での動作

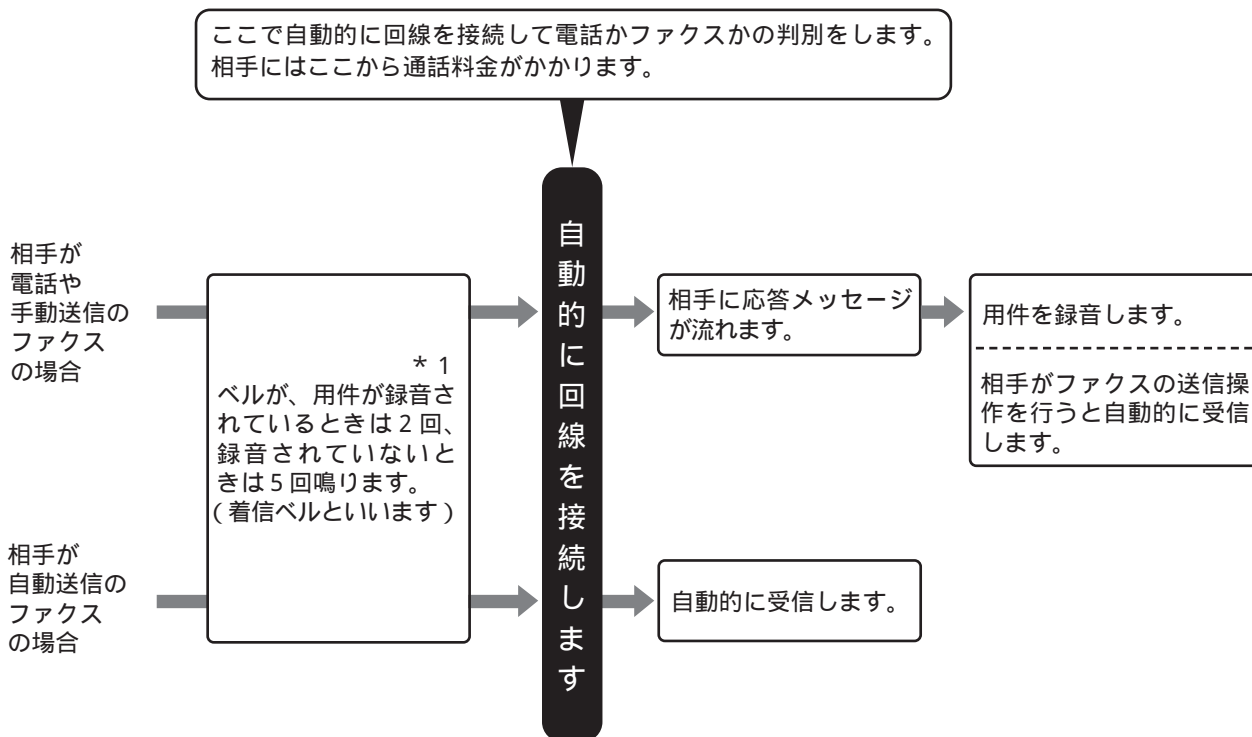
留守セット (P.64) すると、電話のときは用件を録音し、ファクスのときは自動的に受信します。

ご注意

- ・無鳴動着信を設定している場合でも、留守設

定時はベルが鳴ります。

- ・電話モードでお使いの場合、「トールセイバする」(P.68) に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守番機能が働きません (留守番電話が応答しません)。



*1 お買い上げいただいたときの設定です (「トールセイバする」)。(P.68)

なお、「トールセイバしない」に設定したときは、着信ベルの回数は、ファクス / 電話自動切替の着信ベル回数です。(P.53、P.54)

記録紙がなくなったときは

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときにファクスを受信すると、メモリに蓄積され (メモリ代行受信) [スタート / コピー] ボタンの上のランプが赤く点滅します。最大 10 文書メモリできます (ただし、原稿の内容によっては少なくなります)。

メモリの文書は、記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。ファクスを受信中に記録紙がなくなったりした時は、受信は中断され、メモリ代行受信はできません。次のファクスからメモリ代行受信ができます。

☎ 応答メッセージを録音する

留守設定時（ P.61 ）に相手に流す応答メッセージを自分で録音できます。2種類録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。

例 『はい 』です。ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとに、お名前とご用件をお話してください。ファクシミリ

の方は送信してください。』

自分で録音しない場合、本機の固定メッセージが流れます。（ P.65 ）

操作前のご注意

マイクは人間の声の音域に合わせた設定になっています。メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。



1 機能選択 を押しま キリウセリタク シテクダサイ
す。

2 5 を押しま ルステンキリウ
す。

3 セット を押しま ヨウケン ショウキョ
す。

4 機能選択 を押しま オウトルメッセージ ロウオン
す。

5 セット を押しま オウトルメッセージ 1
す。
応答メッセージ
(1と2があります)

6 ① または ③ を押して応答メッセージを選びます。

7 セット を押しま スタート ヲオテクダサイ
す。
メッセージが流れます。

8 スタート/コピー を押して ロウオンキョウ 20"
からメッセージをマイクに向かって吹き込みます。
残り時間

ほかの音を入れないようにして、マイクから20cm程度に近づいてお話しください。

録音の残り時間が“0”になると自動的に録音が止まります。この場合は、短いメッセージで録音しなおしてください。

9 終わったら オウトル ヲイセキョウ
ストップ を押しま 10/17 12:00 0
す。
「ピー」という音がして録音が止まり、録音したメッセージが再生されます。再生が終わると、もう一度「ピー」という音がします。

こんなときは

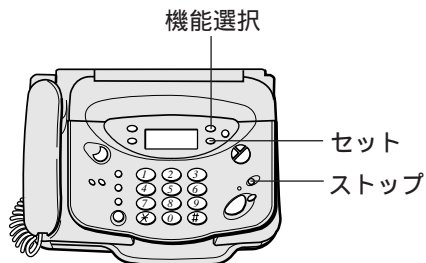
録音中に電話がかかってきたときは録音が中断されま
す。もう一度はじめてからやりなおしてください。
留守設定時でも応答メッセージを録音できます。

録音しなおすときはもう一度はじめてからやりなおして
ください。録音しなおすと、前に録音された応答メッ
セージは消去されます。

🏠 応答メッセージを消去する

自分で録音した応答メッセージを消去できます。2種類とも消去すると、留守設定時は本機の固定メッセージが流れます。

本機の固定メッセージを消去することはできません。



- 1 機能選択 を押します。
キリウセルタウ シテクダサイ
- 2 5 を押します。
ワステクセル
- 3 セット を押します。
ヨウケン ヨウキョウ
- 4 機能選択 を2回押します。
オウトルウメッセーヂ ヨウキョウ
- 5 セット を押します。
オウトルウメッセーヂ 1
- 6 1 または 3 を押して応答メッセージを選びます。
- 7 セット を押します。
『消去しました』というメッセージが流れます。

こんなときは

途中で消去をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

留守セット

お出かけのときなどに留守設定すると、用件を録音したりファクスを受信したりできます。(P.61)

録音できる時間は、1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます(自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます)。用件を録音中に3分になると、相手に「ピー」という音の流れ、電話が切れます。なお、1件の録音時間が少ないときは、合計が15

分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音(P.34)の時間と件数も含まれます。留守設定時でも、電話をかけたたり、受けたりすることができます。

留守設定時に電話がかかってくると相手の声はモニタスピーカから聞こえます。相手を確認してから電話に出ることもできます。(居留守モニタ)



留守設定のしかた

1  を押し
ます。

応答メッセージ 1

留守セット 0

応答メッセージが流れ、[留守]ボタンが点灯します。用件が残っているときは点滅します。

2種類の応答メッセージを録音している場合、[1]または[3]を押して応答メッセージを選びます。

留守解除のしかた

用件が録音されているときは、[留守]ボタンが点滅しています。用件がないときは点灯しています。

1  を押し
ます。

[留守]ボタンが
消灯します。

『用件は 件で
す』というメッ
セージが流れ、用
件が再生されます。
用件がないときは
『用件はありませ
ん』というメッ
セージが流れます。
1件再生されるこ

とに、用件が録音された月日と時間が流れます(この機能をタイムスタンプといいます)。

用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとに「*」が増えていきます。

用件が全部再生されると、自動的に止まります。再生を途中で止めたいときは、「ストップ」ボタンを押してください。

留守セット 5
用件件数

再生中の用件
1/5

5/5

***...

10/17 12:00 5

ご注意

モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。ご注意ください。[音量]ボタンを押してみてください。(P.31)

こんなときは

応答メッセージを本機の固定メッセージにしたいときは、自分で録音した応答メッセージを2種類とも消去してください。(P.63)

こんなときは

次の場合、留守設定をしようとした時、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れ、留守設定ができません。用件を消去してから留守設定をしてください。(P.67)

- ・すでに用件が30件入っているとき
- ・残りの録音時間が20秒以内のとき

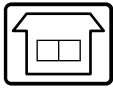
次の場合、留守設定をしようとした時、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れます。すぐに用件がいっぱいになってしまうので、用件を消去してから留守設定をしてください。(P.67)

- ・すでに用件が27件~29件入っているとき
- ・録音できる時間が21秒~2分のとき

応答メッセージは状態によって変わります

状 態	応答メッセージ(本機の固定メッセージ)
通常	ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方はそのまま送信してください。 注：自分で応答メッセージを録音した場合は、そのメッセージが流れます。
用件は録音できないが、ファクスは受信できる とき(用件がいっぱいのとき)*1	ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。
用件は録音できるが、ファクスは受信できない とき*1	ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。ファクシミリの方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。
用件の録音も、ファクスの受信もできないとき (メモリがいっぱいのとき)*1	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしてください。

*1 . 自分で応答メッセージを録音していても、これらの場合は本機の固定メッセージが流れます。

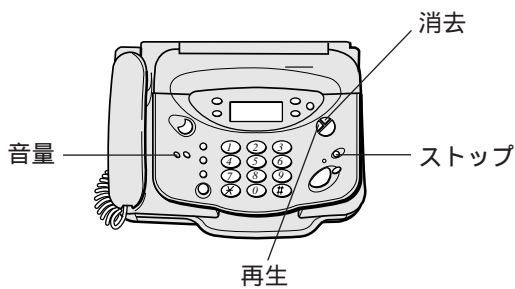


用件の再生と消去

用件の再生

録音された用件は何回でも聞くことができます。通話録音した内容があると、それも再生されます。

留守設定をしている場合でも再生できます。



1  を押し
ます。

『用件は 件で
す』というメッ
セージが流れ、用
件が再生されます。
用件が全部再生さ
れると、『用件は以
上です』というメッ
セージが流れます。
用件が全部再生さ
れると自動的に止まります。

カセイユウ 1 / 5

再生中の用件
用件件数

カセイユウユウ***...

10/17 12:00 5

ご注意






モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえ
ません。ご注意ください。[音量]ボタンを押してみ
てください。(P.31)

こんなときは

新しい用件から順に再生するように設定することも
できます。(P.68)

録音された用件を、通話中の相手に聞かせることが
できます。(P.35)

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。 続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
	1回押すと、次の用件を再生します。 続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
	再生を止めます。([ストップ]ボタンを押してから、もう一度[再生]ボタンを押すと1件目から再生します。)
	再生中の用件を消去します。 その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。

用件の消去

録音された用件は消去しない限り残っています。用件を残したままだと録音できる時間が

短くなるので、用済みになった用件は消去してください。



用件を聞いてから一度に消去する

- 1 用件を再生します。
『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとにディスプレイに「*」が増えていきます(6秒間)。

- 2 「*」が表示されている6秒以内に「消去」を押します。
『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れます。

特定の用件だけを消去する

- 1 消去したい用件を再生します。
- 2 「消去」を押します。
その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。続いて次の用件が再生されます。
- 3 「ストップ」を押します。

すべての用件を消去する(全用件消去)

- 1 「機能選択」を押します。
- 2 「5」を押します。
- 3 「セット」を押します。
- 4 もう一度「セット」を押します。
『消去しました』というメッセージが流れます。

ご注意

用件を聞いてから一度に消去する場合、早送りして一度も再生しなかった用件は消去されません。最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます。

全用件消去の場合、一度も再生していない用件もすべて消去されます。

こんなときは

途中で消去をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

☎ 用件の再生順序の設定

録音された用件の再生順序を変えることができます。

- ・ 録音された順
 - ・ 新しい順
- お買い上げいただいたときは「録音された順」に設定されています。



1 機能選択 を押します。 キウセンタウ シテクダサイ

2 5 を押します。 ワステンキノウ

3 セット を押します。 ヨウケン ショウキョウ

4 機能選択 を 3 回押します。 サイセイ OLD → NEW

5 1 または 3 を押して選びます。

OLD NEW : 録音された順

NEW OLD : 新しい順

6 セット を押します。 カノヨウ

10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

☎ トールセイバの設定

留守設定時 (P.61) に外出先で用件の有無を簡単に確かめることができます。トールセイバとは留守番電話が応答するまでのベル回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。したがって、用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切れば通話料金はかかりません。トールセイバはリモート取り出し (P.69) の文書がメモリされている場合も働きます。お買い上げいただいたときは、「トールセイバする」に設定されています。

ご注意

- ・ 一度聞いた用件でも残っていると (消去しない限り) トールセイバが働きます。
- ・ 電話モード (P.56) でお使いの場合で、留守番機能を使用するときは、「トールセイバする」に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守設定しても留守番機能が働きません (留守番電話が応答しません) 。

1 機能選択 を押します。 キウセンタウ シテクダサイ

2 5 を押します。 ワステンキノウ

3 セット を押します。 ヨウケン ショウキョウ

4 機能選択 を 4 回押します。 トールセイバ OK
カーソル

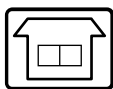
5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

— x : トールセイバする

x : トールセイバしない

6 セット を押します。 カノヨウ

10/17 12:00 0



外線リモート (外出先で留守番電話 / ファクスを操作する)

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電
話

ファ
クス

留
守
番

ハン
ドス
キャ
ナ

スー
パー
LCR

ダ
イ
ヤ
ル
イ
ン

発
信
電
話
番
号
表
示

困
っ
た
と
き
は

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録

留守設定中に録音された用件や受信した文書を、外出先で聞いたり、取り出したりできます。そのためには、あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。ファクスを取り出す (リモート取り出しする) に設定すると、留守設定中に入ったファクスはプリントされずにメモリに記憶されます。外出先で受信文書を取り出す操作を行うとメモリ内の文書が送信されます。送信されるとメモリ内の文書は消去されます。なお、外出先で取り出す操作をしなかった場合は、留守解除したときにプリントされます。

- リモート操作の設定
- ・用件を聞くだけ：「リモート操作する」
「リモート取り出しをしない」
 - ・用件を聞き、ファクスも取り出す：
「リモート操作する」
「リモート取り出しをする」
 - ・ファクスを取り出すだけ：設定できません
- リモートパスワードの登録
- ・4桁の数字
- お買い上げいただいたときは、「リモート操作しない」に設定されています。



1 機能選択 を押しま す。

2 4 を押しま す。

3 セット を押しま す。

4 機能選択 を4回押 します。

5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

- x：リモート操作する
 - x：リモート操作しない
- 「リモート操作しない」にしたときは手順10へ進んでください。

6 セット を押しま す。

7 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
—x：リモート取り出しをする
x：リモート取り出しをしない

8 セット を押しま す。

9 リモートパス ワード (4桁) を入力します。

10 セット を押しま す。

こんなときは

パスワードを間違えたときは、[保留/クリア] ボタンを押して入力しなおしてください。
すでにパスワードが登録されているときは、新しいパスワードを入力すると前のパスワードは消去されます。
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

外出先で留守番電話の用件を聞く / 受信文書を取り出す

あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(P.69)

プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機で操作してください。リモート取り出しのときはファクスで操作してください。

1 外出先から電話をかけます。

電話がつながると応答メッセージが流れます。

2 [#]を押します。

応答メッセージが流れている間か、メッセージのあと7秒以内に押してください。

応答メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[#]を押してください。

3 リモートパスワード(4桁)を入れ、最後に[#]を押します。

<用件があるとき>

『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4-1 用件を聞きます。

4-2 受話器を戻します。

<受信文書があるとき>

(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)

『パスワードが一致しました。受信文書は 件です』というメッセージが流れます。

こんなときは

手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたときは、[#]を押してパスワードを入れなおし、最後に[#]を押してください。3回間違えると電話が切れます。

([#]<パスワード>[#])

用件再生終了後何もしないで20秒経つと電話が自動的に切れます。

リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。(P.71)

4-1 [#][0][#]を押します。

『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

4-2 通信スタートボタンを押します。

4-3 受話器を戻します。

<用件と受信文書があるとき>

(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)

『パスワードが一致しました。用件は 件です。受信文書は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4-1 用件を聞きます。

用件の再生終了後、『用件は以上です』というメッセージが流れます。

4-2 用件を聞き終わったら、[#][0][#]

を押します。

『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

4-3 通信スタートボタンを押します。

4-4 受話器を戻します。

再生以外の操作をしたいときは、手順3でリモートパスワードと[#]を押したあと、2秒以内にリモート操作コードを押してください。(P.71)

(<パスワード>[#]<操作コード>)

留守設定をしないで外出したときは、電話をかけて呼出音の音色が高くなったら(ファクス/電話自動切替が働いて回線が接続されたら)[#]を押してパスワードを入れ、最後に[#]を押してください。留守設定になり、『留守設定をしました』というメッセージが流れます。電話モードに設定されているときは、外出先の電話機で留守設定にすることはできません。ダイヤルインをご利用の場合は、ファクス用の番号に電話をかけて[#][パスワード][#]を押してください。

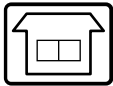
トールセイバについて

留守番電話が応答するまでのベル回数で用件の有無を確認できます。詳しくは、P.68をご覧ください。

リモート操作コード表

外出先で留守番電話やファクスを操作する時の操作コードです。(P.70、P.73)

項目	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	# 1 #	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。
用件再生	# 2 #	用件を再生します。 再生中に押すと高速で再生します。 高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
早送り	# 3 #	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	# 6 1 #	用件転送を設定します。『用件転送を設定しました。転送先は×××です』というメッセージが流れます。転送先が登録されていないときは、『用件転送は使用できません』というメッセージが流れます。
用件転送解除	# 6 2 #	用件転送を解除します。『用件転送を解除しました』というメッセージが流れます。
留守設定	# 7 #	留守設定をします。『留守設定をしました』というメッセージが流れます。
用件消去	# 8 #	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。 用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ」という音がしている間(約6秒間)に押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守設定解除	# 9 #	留守設定を解除します。『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。
リモート取り出し	# 0 #	<ul style="list-style-type: none"> ・「リモート取り出しをする」に設定しているとき 『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。通信スタートボタンを押すと送信されます。 ・「リモート取り出しをしない」に設定しているとき 「リモート取り出しをする」に設定されます。『リモート取り出しを設定しました』というメッセージが流れます。



用件転送 (留守番電話やファクスが入ったら外出先へ通知する)

留守設定中に用件を録音したりファクスを受信したら、あらかじめ登録した外出先の電話機やファクスなどへ通知することができます。

用件転送する場合、リモート操作の設定とリモートパスワードの登録を行ってください。(P.69)

用件転送先の登録

用件転送先は1カ所だけ登録できます。

プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機やファクスを用件転送先としてください。



- 1 機能選択 を押しま す。
- 2 4 を押しま す。
- 3 セット を押しま す。
- 4 機能選択 を5回押しま します。 カーソル

5 ① または ③ を押してカーソルを移動します。

— x : 用件転送する

x : 用件転送しない

「用件転送しない」にしたときは手順8へ進みます。

6 セット を押しま す。

7 用件転送先の電話番号を入力し ます。
最大40桁までです。

8 セット を押しま す。

ご注意

用件転送先にメッセージ付ポケベルの番号を登録するときは、P.74を参照してください。

用件転送先がPHSの場合、用件転送できないことがあります。

こんなときは

番号を間違えたときは、[音量]ボタンでカーソルを移動するか(小:左移動、大:右移動) [保留/クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。登録した電話番号を修正したいときは、同じ手順で


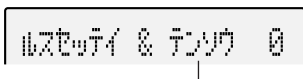
登録しなおしてください。

途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。



用件転送されたときの受けかた

ご注意
・ 録音した用件が6秒未満のときは、用件転送されません。
・ おやすみモードになっているときは、用件転送されません。

用件転送のセット

1  を押し
ます。


用件転送の解除

1  を押し
ます。


用件転送先での受けかた

- ベルが鳴ったら受話器をとります。
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが繰り返し流れます。(メッセージが途中から聞こえることがあります。)
- #** を押します。
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが流れている間か、メッセージのあと3秒以内に押してください。メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度**#**を押してください。
- リモートパスワード(4桁)を入れ、最後に**#**を押します。

こんなときは

手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたときは、**#**を押してパスワードを入れなおし、最後に**#**を押してください。3回間違えると電話が切れます。
(**#** <パスワード> **#**)
『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが5回流れてもパスワードが入らないと、自動的に電話が切れます。
再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。(P.71)
再生以外の操作をしたいときは、手順3でリモートパスワードと**#**を押したあと、2秒以内にリモート操作コードを押してください。(P.71)
(<パスワード> **#** <操作コード>)

<用件を録音したとき>
『パスワードが一致しました。用件は 件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4-1 用件を聞きます。

4-2 受話器を戻します。

<ファクスを受信したとき>
(「リモート取り出しをする」に設定しているとき)
『パスワードが一致しました。受信文書は 件です』というメッセージが流れます。

4-1 **# 0 #** を押します。
『送信します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

4-2 通信スタートボタンを押します。

4-3 受話器を戻します。

用件転送先が話し中のときやだれも電話にでなかったときは、1分間隔で5回、それでもつながらなければ、更に30分間隔で5回まで自動的にかけなおします。10回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送されません。
また、用件転送先が話し中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけかけなおします。
用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は、用件転送されません。
回線によっては、用件転送を受けたあとも繰り返し(最大10回まで)用件転送されることがあります。このような場合は、外線リモートの操作をしてください。(P.70)

ポケベル呼び出し

用件転送先（ P.72 ）としてメッセージ付ポケベルを登録することができます。ポケベルを呼び出すとき、ディスプレイにメッセージ

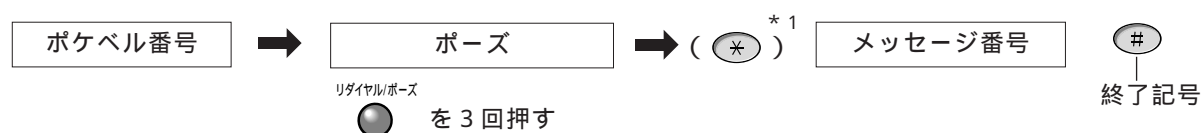
を表示させたいときは、以下のように入力してください。

P.72の手順7で次のように入力します。

例1： NTT DoCoMoの場合



例2： テレメッセージの場合



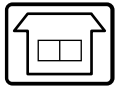
*1. ダイヤル回線をご使用の場合は [※] を押してください。以後がプッシュ信号に切り替わります。プッシュ回線をご使用の場合は [※] を押す必要はありません。

ご注意

ポーズ（待ち時間）は、ポケベルのサービス会社につながった時に流れる音声メッセージが終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声メッセージの長さは、お使いのポケベルのサービス会社へお問い合わせください。なお、[リダイヤル/ポーズ] ボタンを1回押すと約3秒間のポーズが入力できます。

メッセージ番号については、ポケベルの説明書をご覧ください。

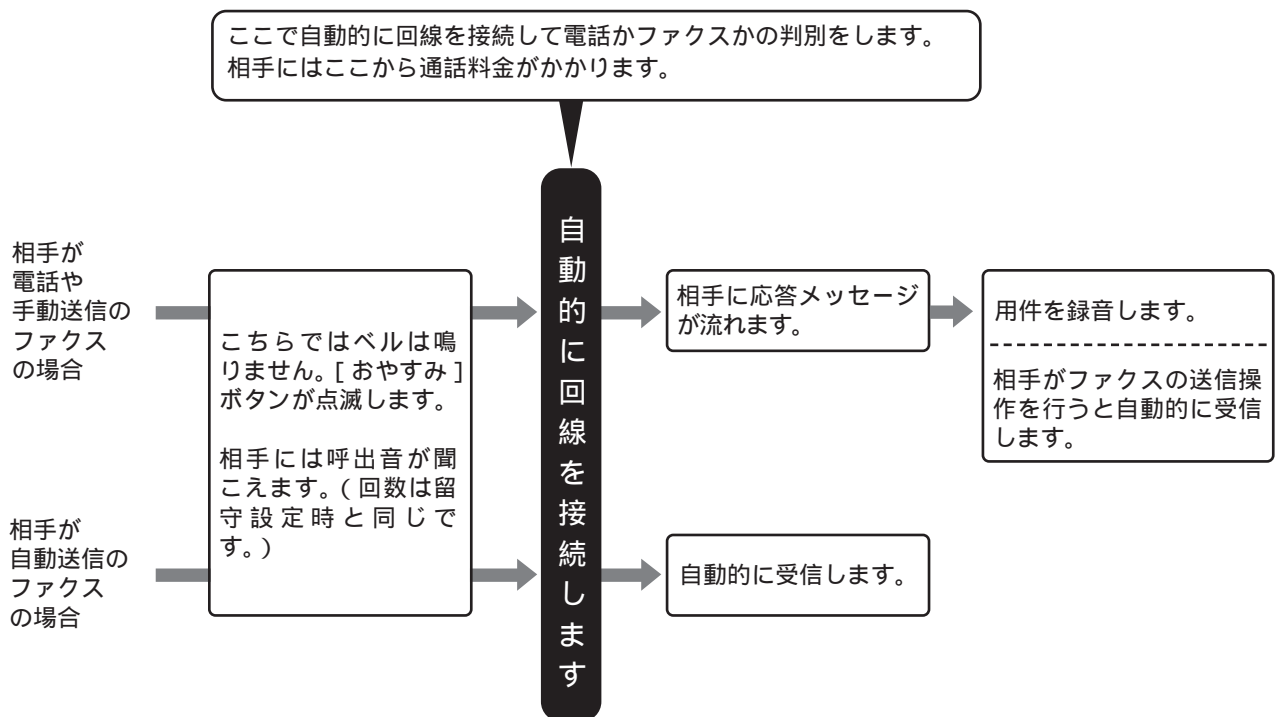
登録できる番号は、ポケベル番号、ポーズ、メッセージ番号の合計が40桁までです。なお、ポーズは[リダイヤル/ポーズ] ボタンを1回で1桁に数えます。



おやすみモード

電話やファクスが入った時のベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます(ただし、メモリがいっぱいになるとプリントされます)。

おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。ただし、ファクス受信時(メモリいっぱいプリント中)に記録紙がつまったときのアラーム音などは出ます。おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておく、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。(P.77)

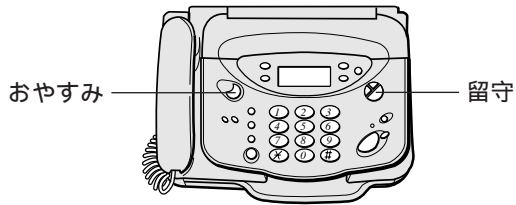


ご注意

メモリがいっぱいのときは、ファクスの受信文書はプリントされます。

メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。

おやすみモードセット



おやすみモードの設定のしかた

1  を押しま

ルズセツテイ	0
--------	---

す。
[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが点灯します。

おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときやファクスの受信文書があるときは、[留守] ボタンが点滅しています。

ルズセツテイ	5
--------	---

1  を押しま

サイセツユウ	1 / 5
--------	-------

す。
[おやすみ] ボタンと [留守] ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

こんなときは

留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたときは、おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守] ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。

次の場合、おやすみモードにしようとした時、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れ、おやすみモードにできません。用件を消去してからおやすみモードにしてください。(P.67)

- ・すでに用件が30件入っているとき
- ・残りの録音時間が20秒以内のとき

次の場合、おやすみモードにしようとした時、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れます。すぐに用件がいっぱいになってしまうので、用件を消去してからおやすみモードにしてください。(P.67)

- ・すでに用件が27件~29件入っているとき
- ・録音できる時間が21秒~2分のとき

おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておく
と、毎日自動的におやすみモードに切り替
えることができます。

おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に
設定できます。

- ・おやすみモードの開始時刻と終了時刻を設定
すると、自動的におやすみモードを設定 / 解
除します。
- ・おやすみモードの開始時刻だけ設定すると、
自動的におやすみモードを設定します。解除
は手動で行います。

- ・終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみ
モードを解除します。設定は手動で行います。
お買い上げいただいたときは、おやすみモー
ドのタイマ切替は設定されていません。

ご注意

次の場合は、おやすみモードを自動的に解除
した時、留守設定になります。

- ・留守設定してからおやすみモードにしたとき
- ・おやすみモード中に用件を録音したとき
- ・リモート取り出し (P.69) の文書をメモリ
に受信したとき

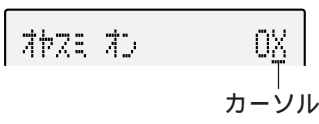


1 機能選択 を押しま キリウセンタク シテクダサイ
す。

2 4 を押しま トウゴク モード
す。

3 セット を押しま 7テサキ トウゴク
す。

4 機能選択 を 3 回押 おやすみモード タイマ切替
します。
3秒待つか、または [セット]
を押します



5 1 または 3 を押してカーソル
を移動します。

- x : 開始時刻を登録する
 - x : 開始時刻を登録しない
- 「開始時刻を登録しない」にしたときは手順 8
へ進みます。

6 セット を押しま おやすみ = 00:00
す。

7 開始時刻を入力 おやすみ = 22:00
します。
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてくだ
さい。

8 セット を押しま おやすみ OK
す。 カーソル

9 1 または 3 を押してカーソル
を移動します。
— x : 終了時刻を登録する
x : 終了時刻を登録しない
「終了時刻を登録しない」にしたときは手順
12へ進みます。

10 セット を押しま おやすみ = 00:00
す。

11 終了時刻を入力 おやすみ = 06:00
します。
24時間制。0~9は頭に「0」を付けてくだ
さい。

12 セット を押しま おやすみ
す。



こんなときは

時刻を間違えたときは、[保留/クリア] ボタンを押
して入力しなおしてください。
途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押
してください。



HANDSCYANAでの原稿の読み取りについて

本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、HANDSCYANAを使ってコピーしたり送信したりすることができます。また、拡大や縮小もできます。HANDSCYANAを使って原稿を読み取る時、メロディ音が流れます（流さないようにすることもできます）。（ P.81）

ご注意

- ・ HANDSCYANAを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。

- ・ 原稿読み取り部は汚さないでください。汚れたら清掃してください。（ P.97）
- ・ HANDSCYANAは、原稿読み取り部としても働きます。使用しないときはHANDSCYANAを必ず戻してください。戻すときは、HANDSCYANAのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。
- ・ コピーしてはいけないものがあります。P.41をご覧ください。

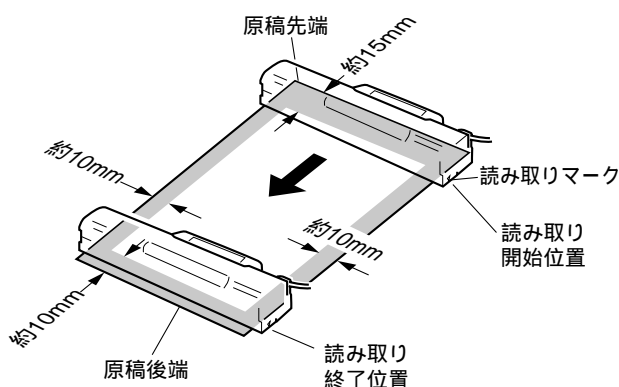
読み取り幅と読み取り長さ

	コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅	250 mm(B4 サイズ)	250 mm(B4 サイズ)
最大読み取り長さ	無制限(記録紙がなくなるまで)	370 mm*

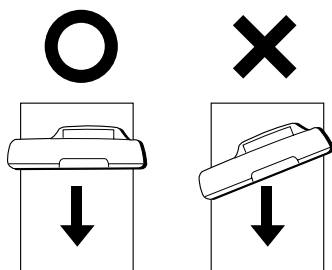
* 原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取り

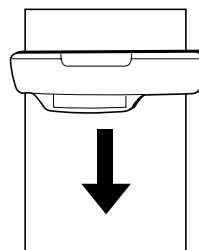
原稿の先端に合わせて読み取りをすると図の■部分は読み取れないことがあります。



HANDSCYANAは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めに動かすとうまく読み取れません。



HANDSCYANAを通常の読み取り方向と逆に動かすと、鏡に映したようになります。



ご注意

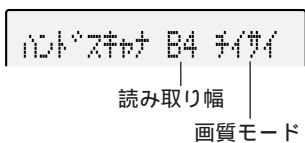
色のついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、HANDSCYANAを外す前に読み取り濃度を設定してください。（ P.43）

次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。

- ・ 表面に凹凸のある原稿
 - ・ コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
 - ・ 表面が汚れている原稿
 - ・ インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、別売のキャリアシート（ P.39、P.107）に入れてから読み取るようにしてください。

ハンズキャナでコピーする

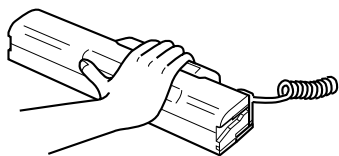
1 ハンズキャナを外して裏返します。



文字の大きさ 離れたところで使うときは、コードをひっかけから外してください



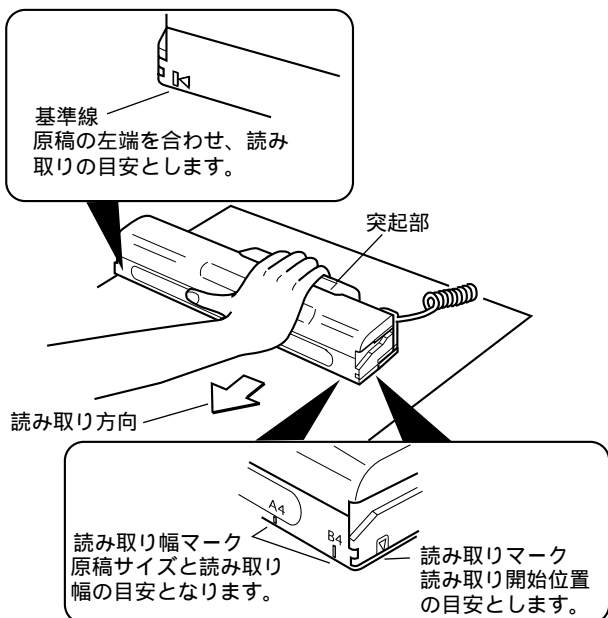
裏返して原稿読み取り部を下にします



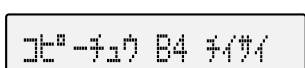
拡大 / 縮小するときは、P.81をご覧ください。
[文字の大きさ] ボタンで画質モードの設定ができます (ジドウ / チイサイ / シャシン)。

2 ハンズキャナを原稿の上に置きます。

原稿の左端にハンズキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。端から約 10 ~ 15 mm は読み取れないことがあります。その分外側に合わせてください。



3 を押します。



ハンズキャナの原稿読み取り部が点灯します。

4 ハンズキャナを矢印の方向に動かします。

ハンズキャナの上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。動かすと、メロディが流れます。

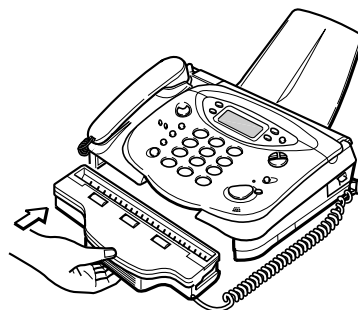
- ・ふつうの速さのメロディの時...正常に読みとれます。もっと速くハンズキャナを動かせます。
- ・速いメロディの時...正常に読み取れます。これ以上速くハンズキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- ・「ピッピッピッ...」という音の時...正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ることがあります。

5 読み取りが終わったら を押します。

プリントが終わるまでしばらくお待ちください。プリントが終わると、原稿読み取り部のランプが消灯します。

6 ハンズキャナ を戻します。

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。



ご注意

ブザーが鳴り、「メモリ フル」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。

ハンズキャナを 30 秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

[ストップ] ボタンを押さずにハンズキャナを戻すと、ハンズキャナのローラーが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。ハンズキャナ使用後は必ず戻してください。他の機能が使えない場合があります。

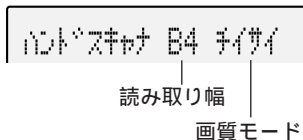
こんなときは

メロディを流したくないときは、P.81をご覧ください。

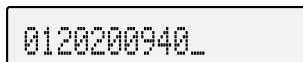


ハンドスキャナで送信する


1 ハンドスキャナを外して裏返します。(P.79)

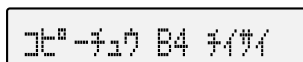


2 相手先の番号をダイヤルします。



3 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。(P.79)

4  を押します。



ハンドスキャナの原稿読み取り部が点灯します。


5 ハンドスキャナを矢印の方向に動かします。

ハンドスキャナの上側に表示されている矢印の方向に動かしてください。動かすと、メロディが流れます。

- ・ 普通の速さのメロディの時...正常に読みとれます。もっと速くハンドスキャナを動かさせます。
- ・ 速いメロディの時...正常に読み取れます。これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- ・ 「ピッピッピッ...」という音の時...正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ることがあります。

読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。

「ピー、ピー、ピー...」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

6 読み取りが終わったら  を押します。



プリントが終わるまでしばらくお待ちください。プリントが終わると、原稿読み取り部のランプが消灯します。

7 プリント内容を確認します。

もう一度読み取りなおしたいときは、[2] を押し、「データ ショウキョシマシタ」「ヨミトリマチ B4 チイサイ」と表示されたら、手順3からやりなおしてください。

送信をやめたいときは、[2] を押してから、[ストップ] ボタンを押してください。

8 ① を押し



す。交互に表示送信を開始します。



9 ハンドスキャナを戻します。(P.79)



原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

ご注意

ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。

送信が終わるとメモリの内容は消去されます。

ハンドスキャナで読み取った原稿を送るときは、原稿を読み取るごとに送信してください。続けて複数枚読み取って一度に送信することはできません。

ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。

送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。

相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送るとA4サイズには縮小されません。左寄せでA4分を切り出して送信されます。ハンドスキャナ使用後は必ず戻してください。他の機能が使えない場合があります。

こんなときは


メロディを流したくないときは、P.81をご覧ください。相手先が話し中のときは、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(オートリダイヤル)。5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。(P.45)

途中で送信をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

拡大 / 縮小の設定

ハンズキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント（記録）幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。

1 ハンズキャナを外します。
(P.79)

2  を押し
ます。

読み取り幅
記録幅

3 **1** または **3** を押して倍率を選
びます。

B4	B4 : 等倍	B5	B5 : 等倍
B4	A4 : 82%縮小	B5	A4 : 115%拡大
A4	A4 : 等倍	B5	B4 : 141%拡大
A4	B4 : 122%拡大		

4  を押し
ます。

5 ハンズキャナを戻します。(P.79)
戻さずに送信やコピーを行うこともできます。

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

記録幅と記録紙サイズによるプリントのしかた

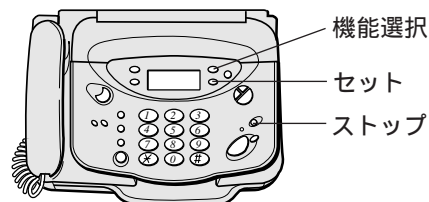
記録幅	本機の記録紙(コピー時)		相手先の記録紙(送信時)	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4幅	A4幅	A4幅	A4幅
B4	A4幅*1	B4幅	A4幅*1	A4/B4幅*2
B5	B5幅	B5幅	B5幅	B5幅

* 1 記録幅を B4 に設定したとき、A4 サイズの記録紙がセットされていると、はみ出す部分（原稿の右側）はプリントできません。

* 2 本機の記録紙が A4 のときは A4 幅、B4 のときは B4 幅でプリントされます。記録幅を B4 に設定したとき、相手先でのプリントは本機の記録紙サイズと同じです。本機でコピーとしてプリントされた内容が相手先にプリントされます。

メロディハンズキャナの設定

ハンズキャナを使って原稿を読み取る時、メロディ音を流すことができます。
お買い上げいただいたときは、「メロディ音を流す」に設定されています。



1 ハンズキャナを外します。
(P.79)

2  を 2 回押
します。

カーソル

3 **1** または **3** を押してカーソルを移動します。

—x : メロディ音を流す
—x : メロディ音を流さない

4  を押し
ます。

5 ハンズキャナを戻します。
(P.79)

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

LCR スーパー L C R の利用

スーパー L C R について

スーパー L C R とは、相手先の場所、曜日、時間帯を自動判定して、N T T の市外回線のほかに日本テレコム (J T) などの新電電の中から通話料金のおトクな市外回線を自動的に選ぶ機能です。
電話をかけるとき、電話番号以外に 0 0 8 8 などの新電電につなぐ番号を押す必要がなく、

N T T の電話回線を使って電話をかけるときと同じ操作でご利用できます。
スーパー L C R を利用するには、必ず日本テレコム (J T) への申し込みが必要です。すでに日本テレコムに加入済みの方も申し込みの手続きが必要です。



お問い合わせ先

日本テレコム株式会社 (J T) お問い合わせ先 : 0 0 8 8 - 8 2 (無料)
(日本テレコムお客様センター) 0 1 2 0 - 0 0 8 8 - 8 2 (無料)
第二電電株式会社 (D D I) お問い合わせ先 : 0 0 7 7 - 7 7 9 (無料)
0 1 2 0 - 2 2 - 0 0 7 7 (無料)
日本高速通信株式会社 (T W J) お問い合わせ先 : 0 1 2 0 - 0 3 - 0 0 7 0 東京 (無料)
0 1 2 0 - 0 6 - 0 0 7 0 大阪 (無料)

スーパー L C R 利用申し込みをした場合の料金について

ご利用にあたっての申し込み費用および月々の基本料金はかかりません。
また、ご自宅にうかがっての工事ありません。
日本テレコム (J T) を利用した通話については、日本テレコムから通話料金が請求されます。
他の新電電を利用した場合も同様にそれぞれの会社から通話料金が請求されます。
N T T からは、基本料金と N T T を利用した通話料金が請求されます。

ご注意

本機を構内交換機 (P B X) に接続してお使いになるときは、スーパー L C R は利用できません。必ず L C R 機能を解除してお使いください。P.84で「スーパー L C R を利用しない」に設定してください。
本機と他の電話機を並列に接続すると、日本テレコムからのデータが受けられない場合があります。また、本機と他の L C R 機能付き電話機を並列に接続すると、双方でデータが受けられなくなり、L C R 機能が動かなくなります。このような使いかたをされる場合は、日本テレコムお客様センターにご連絡ください。
I S D N 回線をご利用されている場合、ターミナルアダプタの種類によっては日本テレコムからのデータが受けられない場合があります。

スーパー L C R 以外の L C R 機能付き電話機を本機と取り替えられたとき、または新電電のアダプタをご利用の場合、以前の電話機で利用されていた新電電に L C R データのメンテナンスを停止していただくよう依頼してください。また、本機のデータも書き換える必要がありますので、日本テレコム以外の新電電にも加入していることを日本テレコムお客様センターにお知らせください。
現在、アダプタ「ルート 8 8」をご利用の場合は、日本テレコムお客様センターにお知らせください。
スーパー L C R は本機で電話をかける場合だけ利用できます。本機に接続した外付け電話機で電話をかけてもスーパー L C R は利用できません。外付け電話機では「0 0 8 8」などの新電電につなぐ番号を押してから相手の番号をダイヤルしてください。

スーパーLCRの申し込みかた

1 付属の「スーパーLCRファクシミリ申込書」に必要事項を記入し、ファクスします（通話料無料）。

すでに日本テレコムをご利用中の方も必ず、ファクスしてください。

2 「ご利用の準備」の操作をします。
 （ P.84 ）



1～2週間後、日本テレコム（JT）から電話回線を通じてLCRデータが送られてきます。（オンライン通信）



データが送られてくるとファクスの受信と同じように自動的に受けます。電話に出たときは「ピポピポ...」という音が聞こえたあと、無音が続きます。このときは、受話器を戻してください。（本機が自動的にデータを受け始めます。）

<データ受信中のディスプレイ表示>

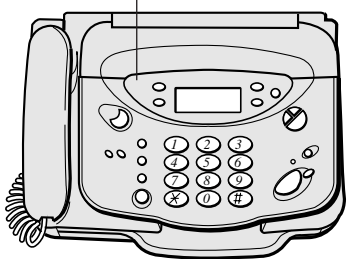


注意：ワイワイトークで出たときは自動的に受けられない場合があります。「ピポピポ...」という音が聞こえたら、受話器をとってください。そして、無音になったら受話器を戻してください。



LCRランプが緑点灯に変わり、スーパーLCRが利用できるようになります。

LCRランプ



LCRデータが記憶され、LCRランプが赤点灯から緑点灯に変わります。電話をかけたりファクスを送ったりする時、新電電が選ばれると、LCRランプが約10秒間点滅します。

郵送で申し込みもできます
 付属の「スーパーLCRご利用申込書」を使って、スーパーLCRを郵送で申し込むこともできます。お申し込みの際は、よくお読みの上、郵送してください。なお、「スーパーLCRご利用申込書」で申し込まれたあとも、手順2の「ご利用の準備」の操作を必ず行ってください。

ご注意

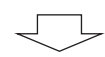
NTTのダイヤルインサービス（P.88）をご利用の場合は、「スーパーLCRファクシミリ申込書」（または「スーパーLCRご利用申込書」）の電話番号欄には主契約番号を記入してください。ダイヤルイン追加番号を記入された場合、スーパーLCRをご利用できません。主契約番号とダイヤルイン追加番号については、NTTにお問い合わせください。オンライン通信するためには、ファクス/電話自動切替で着信ベルの回数を10回以下に設定してください。（P.53、P.54）

日本テレコムと他の新電電を含めて利用したいとき

日本テレコムにスーパーLCRの利用申し込みをした上、他の新電電とご契約ください。

新たに他の新電電に加入される方は
 各新電電に申し込みをする
 各新電電から開通通知が送られてくる
 開通通知がきたことを日本テレコムお客様センターに連絡する

すでに他の新電電に加入されている方は
 スーパーLCRを利用するための手続きをする際に、あらかじめ日本テレコムお客様センターへ他の新電電を利用することをご連絡ください。



日本テレコムから、日本テレコムとNTTおよび他の新電電と比較するために必要なデータが送信可能となります。ただし、日本テレコムと他の新電電の料金体系が同一の場合は、日本テレコムを選択するデータとなります。

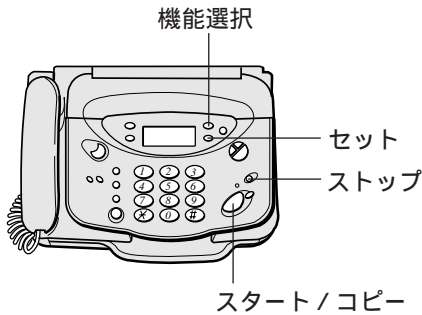
スーパーLCRの設定とご利用の準備操作

スーパーLCRを利用するには、LCRの設定と、日本テレコム(JT)へのご利用の準備操作を行います。なお、P.18でご利用の準備操作を行った場合は、ここで行う必要はありません。

自動発信(申し込み)の通話料は無料です。

ご注意

LCRランプが緑点灯の時にご利用の準備操作を行った場合、ランプが赤点灯になり、LCRが動かなくなります。



1 機能選択 を押しま す。
キリウセンタク シテクダサイ

2 6 を押しま す。
LCR キリウ

3 セット を押しま す。

4 機能選択 を押しま す。
LCRセツドウハッシンチュウ

5 セット を押しま す。
スタートヲオシテクダサイ

6 スタート/コピー を押しま す。
LCRジドウハッシンチュウ
30秒後

このお申し込み準備操作をされた場合も必ず申込書をファクスまたは郵送してください。この操作のみではお申し込みにはなりません。

オモウコシヨ FAXシテ
30秒後

10/17 12:00 0

こんなときは

途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。「LCRジドウハッシンチュウ」の表

示中は、[ストップ]ボタンを押してもやめることはできません。

スーパーLCRの利用を一時中止/再開したいとき

LCRランプが緑点灯の時(スーパーLCRが利用できる時)に、スーパーLCRの利用を一時中止したいときは、次の手順を行ってください。LCRランプが赤点灯になります。

1 機能選択 を押しま す。
キリウセンタク シテクダサイ

2 6 を押しま す。
LCR キリウ

3 セット を押しま す。
LCR OX
カーソル

4 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

x:一時中止するとき(利用しない)

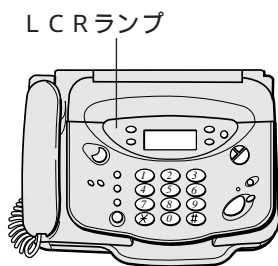
_x:再開するとき

xにした場合、料金表示はできなくなります。

5 セット を押しま す。
カリヨウ

10/17 12:00 0

スーパー L C R を利用する



- 1 受話器をとりま
す。
10/17 12:00 0
- 2 相手先の番号を
ダイヤルします。
新電電が選ばれると
LCRランプが約
10秒間点滅します。
JT: 日本テレコム
DDI: 第二電電
TWJ: 日本高速通信
NTT: 日本電信電話
TEL: フリーダイヤルなどの場合
TEL:0123456789_
JT :0123456789_
- 3 話をします。
03'16" 160円
料金表示をする設定にしておく、料金が表示
されます。
- 4 話が終わったら
受話器を戻しま
す。
10/17 12:00 0

ご注意

新電電各社の料金が同額の場合、スーパー L C R は日本テレコムを選択します。
緑点灯していた L C R ランプが赤点灯に変わったときは、日本テレコムお客様センターにご連絡ください（オンライン通信中は除く）
本機に間違った日付・時刻を登録したときや、登録した日付・時刻に誤差が生じた場合は、スーパー L

C R が正しく働かないことがあります（時間帯によりおトクな市外回線が異なります）。正しい時刻を登録してください。また、月に一回程度は時刻を確認してください。
外付け電話機では、スーパー L C R は利用できません。本機と並列に接続している電話機では、本機のスーパー L C R は利用できません。

こんなときは

市外の天気予報に電話をかけるときや、スーパー L C R の機能を働かせないで、その通話（またはファクス送信）に限り N T T の回線を選ぶときは、相手先の番号の前に [0][0] を押してください。なお、市内に電話をかけるときは押す必要がありません。
N T T や新電電各社の料金引きサービス等をご

利用の場合は、最もおトクな市外回線を選ばないことがあります。詳しくは日本テレコムお客様センターへお問い合わせください。
日本テレコム以外の新電電を使用したいときは、0077（第二電電）、0070（日本高速通信）を相手先の電話番号の前に押してください。

LCRランプの見かた

赤点灯スーパー L C R は利用できません。
・ L C R を利用しないに設定しているとき
・ データが書き込まれていないとき
・ データが壊れているとき
・ 停電によって時計が初期化されたとき

緑点灯スーパー L C R を利用できます。
緑点滅新電電を選択しました（約 10 秒間点滅します）。

料金表示の設定

スーパー L C Rを利用して電話をかけたり、ファクスを送ったときに通話料金を本機のディスプレイに表示させることができます。料金表示は、本機で通話したときだけ表示します。お買い上げいただいたときは、「料金表示をする」に設定されています。

操作前のご注意

料金表示の設定は、日本テレコムにスーパー L C Rの申し込みを行い、L C Rランプが緑点灯してから行ってください。データが送られてこないと料金表示はできません。



- 1 機能選択 を押します。 キノウセンタク シテクダサイ
 - 2 6 を押します。 LCR キノウ
 - 3 セット を押します。 LCR OX
 - 4 機能選択 を 2 回 押 します。 リョウケン ヒョウジ^{カーソル} OX
 - 5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
 _ x : 料金表示をする
 x : 料金表示をしない
 - 6 セット を押します。 カノウ
- 10/17 12:00 0

ご注意

通話料金は右のように表示されます。

21' 10" 500円

49,990円まで表示できます。50,000円以上になると、「*****円」と表示されます。ファクス送信のときは送信終了後に料金が表示されます。

外付け電話機で通話したときは、通話料金は表示されません。

通話料金の表示は目安です。各電話会社からの請求金額との差異等、表示内容に係わる異議が生じた場合、当社ではその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

次のような電話にかけたときは、通話料金は表示さ

れません。

- ・フリーダイヤル、携帯電話、PHS、国際電話、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、ナビダイヤル
 - ・117、177、104、110などの1から始まる3桁番号など
- ISDN回線をご利用されている場合、本機が接続されているターミナルアダプタが回線接続信号(極性反転)を通知する機能を持たない場合、料金表示はできません。
- 通話中に本機の時刻登録を行った場合は、通話時間は「0'00"」、通話料金は「*****円」となります。

スーパーLCRのデータメンテナンスについて

こんなときは日本テレコム（JT）へご連絡ください

転居などによって、住所、電話番号が変わったとき...日本テレコムからお客様の電話機に新しいデータを送る必要があります。ご利用の準備操作（P.84）を行った後、日本テレコムお客様センターへご連絡ください。

利用する新電電を変更したとき...データの書き換えが必要です。

停電が36時間以上続いた場合...停電復旧後LCRランプは赤点灯となり、スーパーLCRはご利用できなくなります。その場合は日本テレコムお客様センターへご連絡ください。

日本テレコムお客様センター

0088-82（無料）

0120-0088-82（無料）

受付時間 9:00~23:00（年中無休）

LCRデータの書き込みについて

データは日本テレコムのオンライン通信によって書き込まれます。オンライン通信は自動的に行われ、スーパーLCR申し込み後および料金改訂時など、必要に応じて最新のLCRデータが本機に送られてきます。

オンライン通信中（LCRランプが緑点灯から赤点灯に変わる）は、電話をかけた受けたりすることやファクスの送受信はできません。約3~4分お待ちください。LCRランプが緑に点灯し、ディスプレイから「オンラインツウシンチュウ」の表示が消えると、使用できます。

スーパーLCR機能に異常が生じたとき、本機が自動的に日本テレコムへ電話をかけることがあります。このときの電話料金はかかりません。

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電
話

フ
ァ
ク
ス

留
守
番

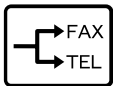
ハ
ン
ド
ス
キ
ャ
ナ

ス
ー
パ
ー
L
C
R

ダ
イ
ヤ
ル
イ
ン

発
信
電
話
番
号
表
示

困
っ
た
と
き
は

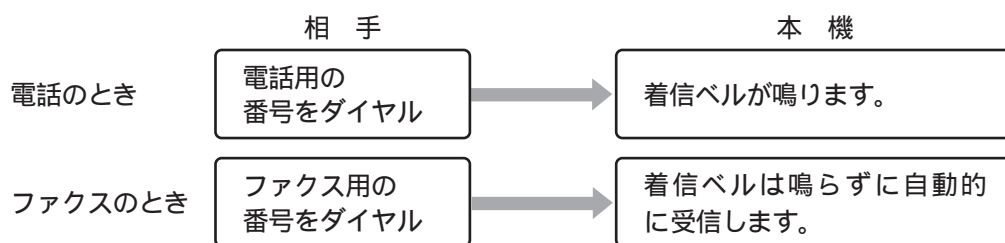


ダイヤルインサービスの利用

ダイヤルインサービスについて

ダイヤルインサービスはNTTが行っているサービスです。1本の電話回線で2つの電話番号を持たせることができます。したがって、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号を別々にすることができます。相手に、ファクスのときはファクス用の番号に、電話のときは電話用の番号にかけてもらうことにより、ファクスのときはベルを鳴らさずに自動的に受信し、電話のときは普通の電話機と同じようにベルが鳴ります。

外付け電話機に番号を持たせることはできません。ダイヤルインサービスを利用する場合、電話がかかってきても外付け電話機のベルは鳴りません。モデムダイヤルインの場合はベルが鳴ります。ダイヤルインサービスを利用するにはNTTとの契約が必要です（有料）。モデムダイヤルインの場合は、NTT「発信電話番号表示サービス」を利用するに設定してください。



ダイヤルインサービスを利用するには

利用契約を行います。

「電話番号（送出番号）は4桁」とご指定ください。また、サービスの開始日時をご確認ください。

サービスが開始されます。

ダイヤルインの登録を行います。（P.89）

登録はサービス開始後に行ってください。開始前に行うと電話が使えなくなります。

ご注意

ダイヤルインサービスをご契約によって今までお使いの電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスを利用できない場合があります。詳しくは、NTT窓口等へお問い合わせください。ダイヤルインサービスを契約した場合、次のNTTサービスは利用できません。

- ・ キャッチホン、トリオホン、転送電話、電話会議、トーカー案内
ランチ接続はしないでください。ダイヤルインが正しく動作しません。
ファクスと電話を同時に使用することはできません。
電話用の番号にファクスが送られた時（「ポー・

ポー・ポー...」という音が聞こえた時）は、[スタート/コピー]ボタンを押してください。

ファクス用の番号に電話がかかってきた場合は、着信ベルが鳴らず、自動的に受信動作を開始しますので通話できません。

留守設定時は、電話用の電話番号に電話がかかってきたときは留守番動作をします（用件録音、ファクス受信とも可）。ファクス用の電話番号に電話がかかってきたときは、留守設定時でもベルを鳴らさずに自動的に受信します（用件録音は不可）。

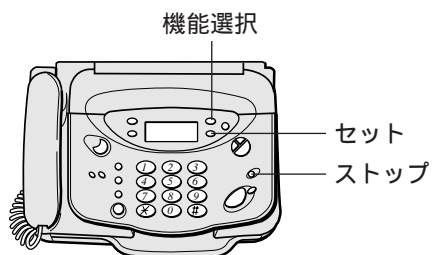
停電が起きたときは、電話もファクスも使用できません。

ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスを利用する場合、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をサービス開始後に行ってください。サービス開始前に登録を行うと(「ダイヤルインを利用する」に設定すると)、電話が繋がらなくなります。

ご注意

スーパーLCRをご利用の場合は、ファクス用の電話番号は契約番号を登録されることをおすすめします。オンライン通信ができます(P.83、P.87)。契約番号については、NTTにお問い合わせください。



1 機能選択 を押します。
キリウセンタク シテクダサイ

2 4 を押します。
トウク モード

3 セット を押します。
アテサキ トウク

4 機能選択 を6回押します。
ダイヤルイン OX
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。

— x : ダイヤルインを利用する

x : ダイヤルインを利用しない

「利用しない」にしたときは手順10へ進んでください。

6 セット を押します。
FAX = _ _ _

7 ファクス用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。
FAX = 1111

8 セット を押します。
TEL = _ _ _

9 電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。
TEL = 2222

10 セット を押します。
かんりょう

10/17 12:00 0

こんなときは

電話番号を変更したいときは、同じ手順で登録しなおしてください。

途中で登録をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。



NTT「発信電話番号表示サービス」の利用

NTT「発信電話番号表示サービス」について

本装置はNTT「発信電話番号表示サービス」を受けることができます。電話をかけた人の電話番号がディスプレイに表示されます。また、本装置はNTT「発信電話番号表示サービス」を使用したモデムダイヤルインに対応しています。

NTT「発信電話番号表示サービス」を利用するにはNTTとの契約が必要です。詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。

NTT「発信電話番号表示サービス」を利用した場合、電話をかけた人の電話番号がディスプレイに表示される他に、本装置特有の機能が

- ・電子電話帳に名前が登録されている相手からの場合

相手が一般電話からかけた場合

着信ベルが鳴ると同時に電話をかけた人の電話番号がディスプレイに表示されます。

一般電話からかけた相手が電子電話帳に名前が登録されている場合

着信ベルが鳴ると同時に相手の名前がディスプレイに表示されます。

ベル鳴動鳴り分けの設定をすると（ P.91）電子電話帳に登録された相手からの場合、名前の登録有無にかかわらず着信ベルが通常と異なった音になります。

はディスプレイに名前が表示されます。

- ・電子電話帳に登録した相手からの場合、着信ベルが通常と異なった音になります（ベル鳴動鳴り分け）。
- ・電子電話帳に登録した相手からの場合、おやすみモード時でもベルが鳴ります（おやすみベル鳴動）。おやすみモードに設定することで電子電話帳に登録していない相手からの着信ベルを鳴らさず、留守録で対応しますので、迷惑電話の防止にご利用になります。
- ・ベル鳴動鳴り分け、おやすみベル鳴動は「しない」に設定することができます。（ P.91）

相手が「全番号非通知」、または一般電話・公衆電話から「184」（イヤヨ）をつけてかけた場合

着信ベルが鳴ると同時に「P」：トクメイとディスプレイに表示されます。

相手が公衆電話からかけた場合

着信ベルが鳴ると同時に「C」：コウシュウデンワとディスプレイに表示されます。

相手がサービス地域以外の電話からかけた場合

着信ベルが鳴ると同時に「O」：ヒョウジケンガイとディスプレイに表示されます。

ご注意

NTT「発信電話番号表示サービス」は、NTTのサービス開始後にご利用になれます。本装置はNTT発行（1996年12月20日）調査用資料「電話網における情報通知系サービスのインタフェース」に準拠しています。方式が変更された場合は、お使いになれない場合があります。

NTT「発信電話番号表示サービス」全般の用語については、サービス開始時に変更される可能性があります。

発信側の網は番号を通知できる能力を有しているが、サービスの契約条件や網の動作条件によって発信電話番号を通知できない場合、「O」：ヒョウジケンガイが表示されます。

回線の状態が悪いなどの理由で正常なデータが受信できなかった場合、「ジュシンデータ ナシ」と表示されます。

NTT「発信電話番号表示サービス」を利用する場合

は、電子電話帳の登録は同一市内の場合でも必ず市外局番から登録してください。

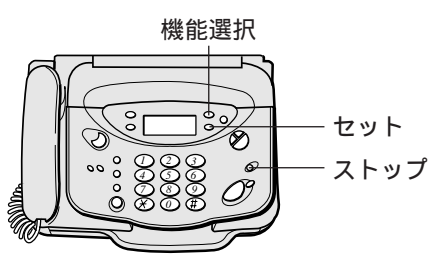
本機から「184」（イヤヨ）をつけてかける場合、スーパーLCRは機能しません。

受話器をとると「ザー」という音が聞こえることがあります。電話がかかってきていますので受話器を置いてお待ちください。この場合、電話のベルが鳴っても相手の電話番号はディスプレイに表示されません。

NTT「発信電話番号表示サービス」の設定

NTT「発信電話番号表示サービス」を利用する場合、あらかじめサービスを利用するための設定を行います。
ベル鳴動鳴り分け、おやすみベル鳴動についても設定します。(P.90参照)

お買い上げいただいたときは、NTT「発信電話番号表示サービス」を利用しないに設定されています。



1 機能選択 を押しま す。
キリウセンタウ シテクダサイ

2 4 を押しま す。
トウゴ モード

3 セット を押しま す。
アテサキ トウゴ

4 機能選択 を 7 回押しま す。
ハンシンTEL サービス OK
カーソル

5 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_ x : NTT「発信電話番号表示サービス」を利用する
x : NTT「発信電話番号表示サービス」を利用しない「利用しない」にしたときは手順10へ進んでください。

6 セット を押しま す。
ハンシンTEL サービス OK
カーソル

7 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_ x : ベル鳴動鳴り分けをする
x : ベル鳴動鳴り分けをしない

8 セット を押しま す。
オヤスミ ハンシンTEL サービス OK
カーソル

9 1 または 3 を押してカーソルを移動します。
_ x : おやすみモード時ベルを鳴らす
x : おやすみモード時ベルを鳴らさない

10 セット を押しま す。
カネリョウ

10/17 12:00 0

こんなときは

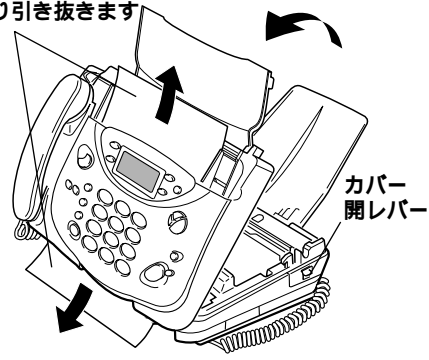
途中で設定をやめるときは、[ストップ]ボタンを押してください。

? 原稿が詰まったとき

ゲンゴウ 加コ の表示が出ます。

1 カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。

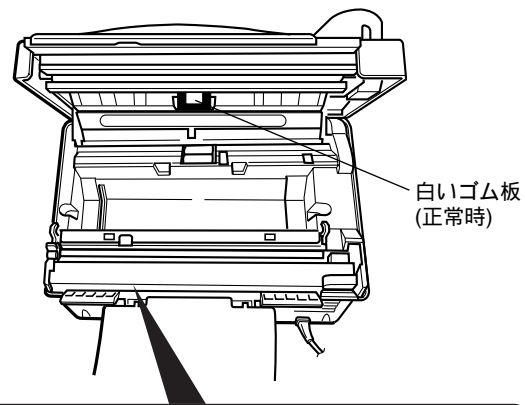
取りやすい方から
ゆっくり引き抜きます



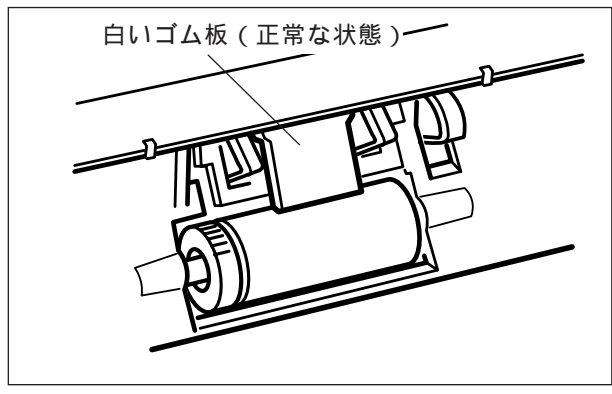
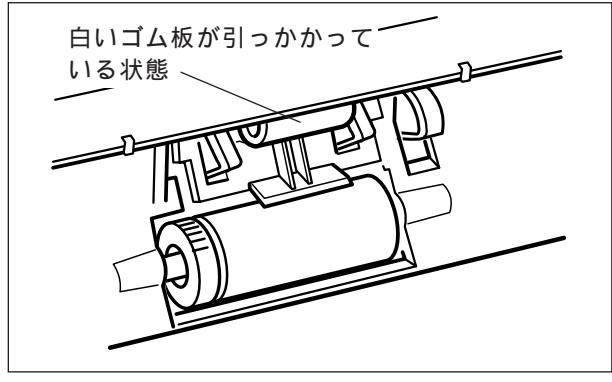
2 原稿を取り除きます。

3 原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部の白いゴム板の状態を確認します。

原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。

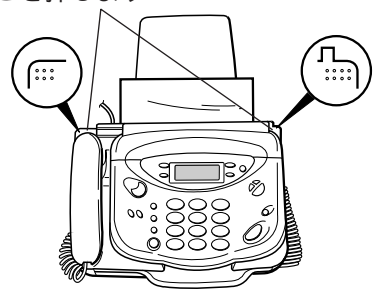


図のように引っかかっていたら、戻してください。



4 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

ここを押します



⚠注意

手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



5 セット を押します。

約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

キロクサイズ B4 ニンマツ

5秒後

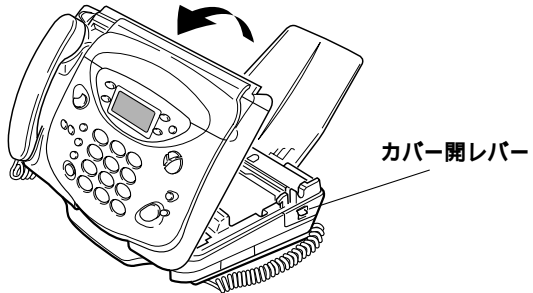
ニマツ オマツクツク

10/17 12:00 0

? 記録紙が詰まったとき

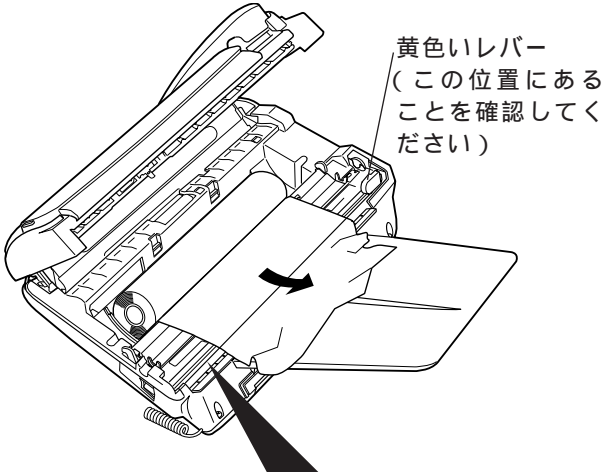
カバー開レバーの表示が出ます。

1 カバー開レバーを下に押し、カバーを開けます。



2 記録紙を引き出します。

記録紙のしわになった部分から、10cmくらい長く引き出します。



注意
手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

3 記録紙をはさむようにしてカバーを閉めます。



4 セットを押します。

約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

記録紙サイズ B4 コミタイプ

5秒後

シリアル オマキタイプ

10/17 12:00 0

ご注意

黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置に

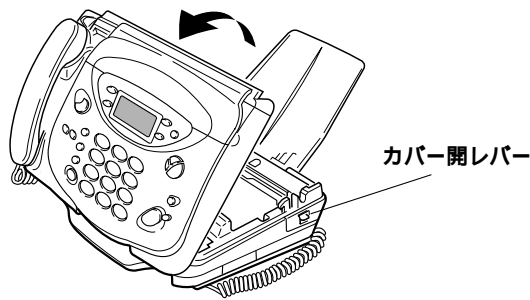
ない状態でカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となります。

? 記録紙の交換

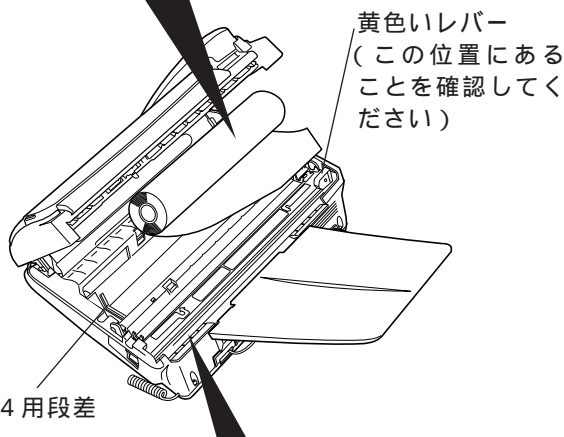
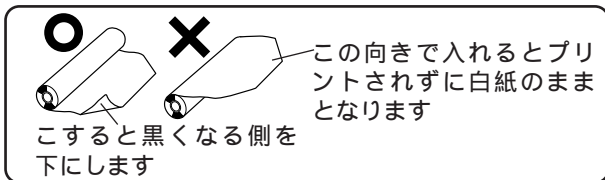
記録紙は巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。

カゴ-ノキロツ カゴニ の表示が出ます。

- 1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



- 2 古い記録紙の芯を取り出してから、新しい記録紙を入れます。
A4サイズのときは段差の中に入れてください。



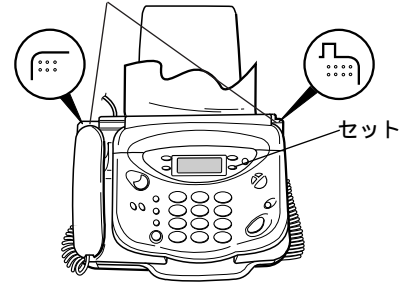
注意

手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。
サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。

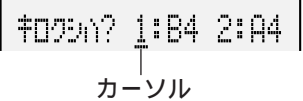


- 3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。

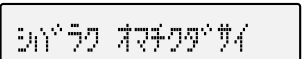
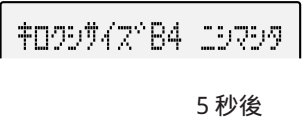
ここを押します



- 4 ① または ② を押して記録紙のサイズを選びます。



- 5 セット を押します。
約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。



ご注意

セットした記録紙サイズと設定値によって、受信した原稿は次のようにプリントされます。

記録紙サイズ	設定値	受信した原稿	
		A4	B4
A4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅*	A4幅原寸*
B4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅	B4幅原寸

* はみ出した部分はプリントされません。

記録紙の購入については、P.107をご覧ください。

? メモリ内の受信文書がプリント出力されないとき

メモリ内にB4サイズの受信文書が入っていて、B4サイズの記録紙からA4サイズの記録紙に交換した場合、記録紙を交換してもメモリ内の受信文書がプリントされません。このようなときは、B4の記録紙を入れてください。

B4の記録紙がないときは、次の手順でプリントできます。ただし、この場合、記録紙からはみ出した部分はプリントされません。

B4の記録紙が不足している状態の表示が出ます。

1 カバーを一旦開けて、閉めます。

カバーを開けて記録紙を引き出してからカバーを閉めます。

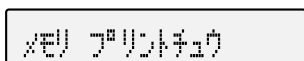
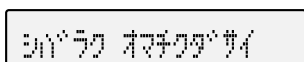
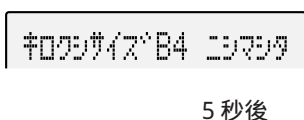
2 ① を押して

記録紙のサイズ
B4を選びます。



3 セット を押し

ます。
約5秒後、自動的に記録紙がカットされたあと、メモリ内の文書がプリントされます。

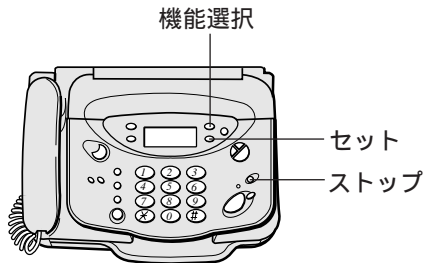


ご注意

メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉め、記録紙サイズを「A4」に設定しなおしてください。

？ 設定内容を確認するとき（システムリスト）

各種の設定状態をプリントして確認することができます。



1 機能選択 を押します。 キリウセンタク システムリスト

2 1 を押します。 リスト プリント

3 セット を押します。 データ リスト プリント

4 機能選択 を押します。 システム リスト プリント

手順3で[セット] ボタンを押したあと3秒以内に[機能選択] ボタンを押してください。

3秒待つか、または[セット] を押します

レポート システムリクエスト
10/17 12:00 0

こんなときは

手順3のあと何もしないで3秒経つと、電子電話帳に登録した電話番号リストがプリントされます。

途中でプリントをやめるときは、[ストップ] ボタンを押してください。

システムリストのプリント例

システム リスト	
1997.10.17 12:00	
NEC	
コウモク	ナイヨウ
キロクシ サイズ	B4
ムメイトウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ	ナガ サナイ
チャクシンベル カイスウ	6 カイ
ヨビ タシベル カイスウ	10 カイ
ヨミトリ ノウト	フツウ
ペーパースープ	シナイ
ハッシンモト キロク	スル
カイカ イツウシン モード	シナイ
カンタン シュン	スル
シュトウ カット	シナイ
テンソウ シュン	スル
	ダイヤル セッテイ = 3(*)
ホリウメロデイ	メロデイ 1
カイセン シュベツ	DP20
マイネーム	
デノウバノゴウ	1234567890
アイテサキ	カレ
マイネーム	ワタシ
デノウバノゴウ	0120200940
ハッシンモト	NEC
オヤスミ オン シヨク	23:00
オヤスミ オフ シヨク	7:00
リモート ソウサ	シナイ
リモート トリダシ	シナイ
	リモート バースワード = 0000
ヨウケン テンソウ	シナイ
テンソウサキ	03 1234 5678
ダイヤルイン	スル
	ナイセン シテイ バノゴウ(FAX) = 1234
	ナイセン シテイ バノゴウ(TEL) = 5678
ハッシンTEL サービス	スル
ヘルメイトウ ナリウケ	シナイ
オヤスミ ヘルメイトウ	シナイ
サイセイ シュンシヨ	OLD -- NEW
トールセイバ	スル
LCR セッテイ	アリ
リョウキン ヒョウシ	スル
ハンド スキャナ	
ヨミトリキロクハバ	B4 -- B4
メロデイハンド スキャナ	スル

? 日頃のお手入れ

本体の清掃

装置表面のホコリや汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。

ご注意

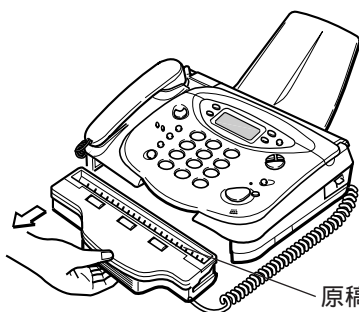
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

ハンズキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り部は、定期的に（月に1回程度）清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンズキャナを外します。

矢印の方向に引き抜きます。

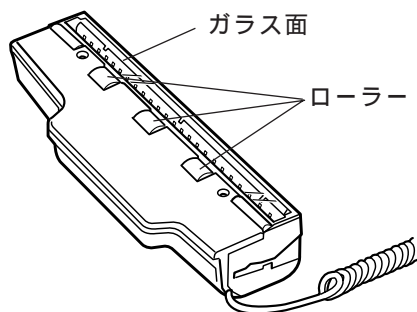


原稿読み取り部には手を触れないでください

2 ガラス面を柔らかい布で拭きます。

3 ローラーを拭きます。

水にひたした布を固く絞って拭いてください。



4 ハンズキャナを戻します。

原稿読み取り部を上に向けて本体に押し込みます。

ローラーの清掃

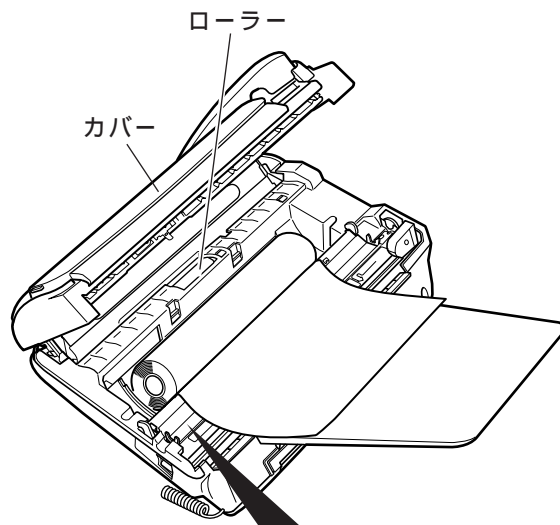
ローラーが汚れると原稿づまりの原因となります。ハンズキャナの清掃といっしょにローラーも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

2 カバー開レバーを下に押しカバーを開けます。（ P.94 ）

3 ローラーを拭きます。

水にひたした布を固く絞り、ローラーを手で回しながら、ローラーの表面全体を拭いてください。



△注意

手を触れないようにご注意ください。けがをすることがあります。サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをすることがあります。



4 電源プラグを差し込みます。

5 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。（ P.94 ）

6 セットを押します。

約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

？ こんなときは (Q & A)

	こんなときは	内 容	参照ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	P.14
	「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.93 P.94

	こんなときは	内 容	参照ページ
電 話	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？	P.14 P.16 P.14
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？	P.17
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.31 P.76
	ベルの音が小さい(大きい)	・ベルの音量を調整してください。	P.31
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。[スタート/コピー]ボタンを押してみてください。	P.28
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	P.31
	ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・装置の左側面のスピーカがふさがっていませんか？	P.31
	ワイワイトーク中に「ピー」、「キー」等の異常音(ハウリング音)が聞こえた	・P.30をご覧ください。	-
	[おやすみ]ボタンが点滅する	・電話がかかってくると、[おやすみ]ボタンは点滅します。故障ではありません。	P.28
	トーン(ブッシュ)信号の送出しがたは？	・P.32をご覧ください。	-
	着信ベル/呼出ベルの意味がわからない	・P.53をご覧ください。	-
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.53をご覧ください。	-
	電話をかけた時、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・表示されません。ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。 ・NTT「発信電話番号表示サービス」が導入されると表示できるようになります。詳細はNTTにお問い合わせください。	P.18
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルした時はつながるが、短縮ダイヤルではつながらない	・P.25をご覧ください。	-
	スーパーLCR付き電話機を、外付け電話機として使用しているが、本機のスーパーLCRはどうすればよいのか？	・本機を「スーパーLCRを利用する」に設定してご利用ください。 外付け電話機ではスーパーLCRは使用できません。	P.83

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(コピー)	コピーが白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> コピーする面を下に向けて原稿をセットしましたか？ 記録紙の向き(表裏)は正しくセットされていますか？ 	P.38 P.94
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	<ul style="list-style-type: none"> [ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 原稿がつかまっています。 記録紙がつかまったか、なくなっています。 	P.92 P.93
	コピーがかすれた コピーがうすい	<ul style="list-style-type: none"> 原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。 	P.43
	コピーが鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿読み取り部を清掃してください。 当社推奨の記録紙を使用してください。 	P.97 P.107

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(送信)	原稿をセットしたのに「ゲンコウ ガ アリマセン」の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 原稿が厚すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 原稿が薄すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 原稿が小さすぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) 装置カバーの内側にある白いゴム板が原稿セット台に引っかかっているか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 ローラーを清掃してください。 	P.38 P.39 P.92 P.97
	原稿が斜めに入った	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ローラーを清掃してください。 	P.92 P.38 P.97
	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「ゲンコウ カクニン」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 	P.92
	原稿が送られず、「アイテサキ ムオウトウ」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> 相手先の電話番号を確認してください。 相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。 	-
	原稿が送られず、「アイテサキ ハナシチュウ」と表示が出た	<ul style="list-style-type: none"> 相手先が話し中です。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 回線が混み合っています。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 	-
	何回送信しても「サイハッコ マチ」になる	<ul style="list-style-type: none"> 相手が話し中です。 電話がかけられるかを確認してください。 手動で送信してみてください。 (手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る/受ける操作をする方法です。) 	P.45 P.22 P.46
	通話はできるが、ファクスの送信/受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？ このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。 	P.16
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	<ul style="list-style-type: none"> 相手のファクスに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。 	-
	「ツウシン イジョウ xx」と表示が出た(XXは2桁の英数字)	<ul style="list-style-type: none"> エラーコード表を参照して対処してください。 	P.106
	送信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> 画質モードの設定が「コマカイ」、「シャシン」、「ジドウ」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 「ジドウ」にしたときは、原稿の内容により送信時間が長くなる場合があります。 原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかる場合があります。 	P.42
	海外への送信ができない	<ul style="list-style-type: none"> 海外へ送信する時は、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。(手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。) 短縮ダイヤルを使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。 	P.45 P.46 P.25 P.49

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファ クス (送 信)	送ったファクスが縮小された	<ul style="list-style-type: none"> ・相手機(受信側)がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。 ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のまま、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると、縮小して送信されます。 	P.44 P.38
	送受信でサイズが違う	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿 / 記録紙の送り誤差(原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み)があります。 ・1つ上の項目も参照してください。 	-
	送信した原稿が相手先で白紙になる	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか? 送る面を下に向けてセットして、もう一度送りなおしてください。 ・相手先の記録紙の向き(表裏)が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。 	P.38
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。 	P.43
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。 	P.40 P.97 P.42
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	<ul style="list-style-type: none"> ・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 	P.40 P.97

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファクス(受信)	「シバラク オマチクダサイ」と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	-
	「ツウシン イジョウ ××」と表示が出た(××は2桁の英数字)	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.106
	「カバー/キロクシ カクニン」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.93 P.94
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・コピー中や登録中のときは、[ストップ]ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。	P.53 P.54
	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。	-
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.93
	通話ができるが、ファクスの送信/受信ができない	・電話回線を背面の「電話機」端子に接続していませんか？このときは、装置の内部よりカチカチと異常音が発生します。	P.16
	受信した原稿が白紙になる	・記録紙の向き(表裏)が正しくセットされていますか？ ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	P.94
	受信した画像が鮮明でない	・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。	P.40
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。	P.40 P.108
	記録紙がひんぱんにつまる	・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.107
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか？ ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFFにしてテストしてください。	P.76
	相手先から正常にファクスを送ったと言われたが、受信していない	・おやすみモードでメモリに受信していませんか？	P.76
	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用の時は、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。	-
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送る時の機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	-
	コンビニエンスストアからのファクス受信ができない	・P.28をご覧ください。	-
	FAXかんたん受信ができない	・「FAXかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、FAXかんたん受信はできません。[スタート/コピー]ボタンを押してください。	P.58
	A4の原稿を受信しているが、半分に縮小されてしまう	・「ペーパーセーブする」に設定していませんか？ ・相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	P.59

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ファ ク ス (受 信)	ペーパーセーブに設定してもペーパーセーブにならない	・ P.59をご覧ください。	-
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	・ 次の受信からメモリ代行受信します。	P.53 P.61
	受信でもコピーでも左端が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記録紙は、正しく A 4 サイズの位置に合わせてセットしてください。 ・ A 4 の記録紙を使用していて、記録紙サイズを B 4 に設定していませんか？ ・ A 4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B 4 の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせて送信 / コピーをすると左側約 2 ~ 3 cm が欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。 	P.94 P.38
	時々、10cm位白紙が切られることがある	・ 本機の近くに1300Hzに近いノイズを出す製品(環境による)があることが考えられます。ファクシミリ通信網による受信と判断して、ファクス受信状態となるために起こります。一度、NEC サービスセンター、サービスステーションにご相談ください。	P.108
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・ P.57をご覧ください。	-

	こんなときは	内 容	参照 ページ
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.67
	『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』と聞こえた	・用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	P.67
	留守設定しているのに留守番電話が応答しない	・「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定すると、留守番電話が応答しません。「トールセイバする」に設定してください。	P.68
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバしない」に設定すると、「着信ベル回数の設定」で設定した回数だけベルが鳴ります。	P.61 P.68
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまう(用件件数は表示されている)	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.31
	留守設定時にも転送受信(外付け電話機でのファクス受信)と、FAXかんたん受信はできるか?	・転送受信もFAXかんたん受信もできます。	-
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を10回以下に設定してください。	P.54
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	・記録紙がなくなっていないか? ・おやすみモードになっていませんか? ・「リモート取り出しをする」に設定していませんか?	P.94 P.76 P.69
	外出先から操作(リモート操作)できない	・パスワードは登録しましたか? ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか? ・「リモート操作する」に設定してありますか?	P.69
	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか?	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	-
	おやすみモードがタイマ切替で解除されても、留守設定の状態となる	・おやすみモードの間に用件を録音または、リモート取り出しの文書をメモリに受信したときは、このことをお知らせするために[留守]ボタンを点滅させています。	P.77
おやすみモードのタイマ切替を使用したときに入ったメモリの内容と用件はいつプリントまたは再生されるのか?	・メモリされた受信文書は、留守設定を解除した時にプリントされます。録音された用件は、[再生]ボタンを押した時、または留守設定を解除した時に再生されます。	P.64 P.66	

	こんなときは	内 容	参照 ページ
ハ ン ド ス キ ャ ナ	「ハンドスキャナ カクニン」と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.79
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	P.40 P.78
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.79
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	P.79
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小コピーの設定を確認してください。	P.81

	こんなときは	内 容	参照 ページ
外 付 け 電 話 機	電話がかけれない	・回線種別の設定が合っていますか？外付け電話機の説明書をご覧ください。	-
	転送受信できない(ファクス受信)	・転送受信をするように設定されていますか？ ・こちらから電話をかけたときは、転送受信できません。本機の [スタート/コピー] ボタンを押して受信してください。	P.60
	電話がかかってきた時に、本機のベルは鳴っているのに外付け電話機のベルは途中で鳴りやむ	・ファクス/電話自動切替したあとは、外付け電話機のベルは鳴りません。	P.53
	ファクスを使用中に、外付け電話機を受話器を上げてしまったら、通信異常になった	・外付け電話機がブランチ接続(並列接続)になっていませんか？	P.13
	電話に出たら、「トゥルルル」という音が聞こえ、その後、『ファクシミリの方は...』というメッセージが流れ、話ができない	・ブランチ接続になっています。 ・ベルが鳴っている時に受話器をとってください。スピークスだけ鳴っている時は、スピークス側で出てください。	P.13
	「FAXかんたん受信をする」に設定しているが、外付け電話機ではできない	・外付け電話機ではメッセージは流れません。「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたあと無音になります。それから受話器を戻してください。	P.58
	構内交換機(PBX)に接続したときに、転送受信できない	・外付け電話機は、背面の「電話機」端子に接続されていますか？ ・ダイヤル回線の場合、外付け電話機で電話を受けた時、相手がファクスのとき(「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたとき)は、次の操作を行ってください。 [3]を押す 5秒ほど待ってから受話器を戻す トーン信号(プッシュ信号)送出機能があるとき トーンボタン(またはPB)を押す [3 *]を押す	P.17

	こんなときは	内 容	参照 ページ
いろいろなサービス	ポケベル呼び出しができない	・ 用件転送がセットされていますか？	P.73
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・ P.29をご覧ください。	-
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？ また、外付け電話機は使用できるか？	・ 使えません。 ・ 外付け電話機も使用できません。	P.5
	ダイヤルインで使用时、外付け電話機のベルが鳴らなくても、電話を受けたりかけたりできるか？	・ 外付け電話機のベルが鳴らなくても、本機のベルが鳴っている間に取れば、電話で話せます。また、こちらから電話をかけることもできます。	-
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・ 用件転送はできます。	-
	NTTのボイスワープ(転送サービス)に加入したが、電話への転送ができるか？	・ 無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ(転送)するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ(転送)するようにしなければなりません。 ・ ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.54 P.55

	こんなときは	内 容	参照 ページ
接続方法	ホームテレホンにファクスを接続する方法は？	・ P.110をご覧ください。	P.110
	ホームテレホンに接続して、ファクスのベルが鳴るがホームテレホンの電話機のベルが鳴らない	・ P.110をご覧ください。	-
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・ P.111をご覧ください。	-
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・ パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・ パソコン通信にファクスの転送受信番号(3と*)が含まれているため、ファクスが転送受信状態になっています。転送受信を「しない」に設定し、テストしてみてください。(3*以外に、2*、5*、7*に設定できます。) ・ パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	P.60 P.111

	こんなときは	内 容	参照 ページ
その他	回線種別の設定のしかたは？	・ P.17をご覧ください。	-
	発信元情報の入れ方は？	・ P.36をご覧ください。	-
	音量調整のしかたは？	・ P.31をご覧ください。	-
	短縮番号を変えたいがどうすれば消せるか？	・ P.25をご覧ください。	-
	「ゲンコウ カクニン」と表示されるが、原稿が取れない	・ カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.92
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・ 数字は文字表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P.36

? エラーコード表

ファクスの通信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「ツウシン イジョウ xx」と表示されたり、不達レポートに「xx」とプリントさ

れます。「xx」はエラーコードで、その内容と対処方法を示します。

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。	P.38
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.94
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.93
46	原稿がつまりました。セットしなおしてください。	P.92
47	カバーが開いています。カバーを閉めてください。	P.94
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	-
74、75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送りなおしてください。	-
77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	-
92、97、98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	-

70番以降のコードは、電話回線または相手機種関係の異常の場合です。再度送信してみてください。

上記以外のエラーコードについては、NECサービスセンターまたはサービスステーションにお問い合わせください。

(P.108)

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。



ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

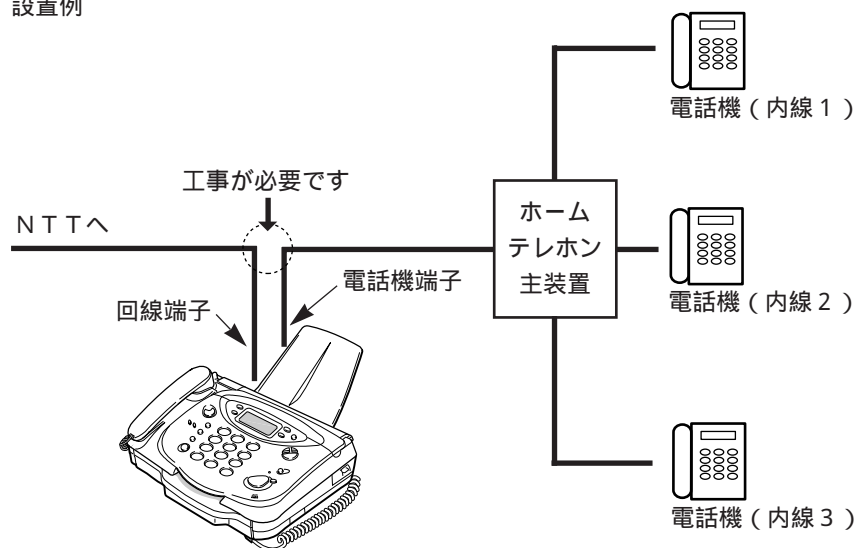
? いろいろな接続のしかた

ホームテレホン / ビジネスホンとの接続

交換機などの付加装置をご利用の場合は、接続工事が必要になることがあります。ホームテレホンやビジネスホンをお買い求めになっ

たお店またはホームテレホンなどのメーカーにご相談ください。

設置例



ご注意

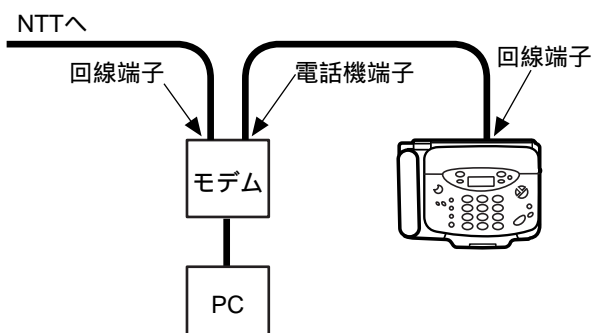
本機を使用中は、ホームテレホン / ビジネスホンは使用できません。

ファクス / 電話自動切替をしたあと（お買い上げいただいた状態では、ベルが6回鳴ったあと）は、ホームテレホンやビジネスホンのベルが鳴らなくな

ります。したがって、着信ベル回数を多くしたり（P.54）、電話モードを利用したり（P.56）できますが、着信ベル回数が10回以上の場合と、電話モードの場合、相手が自動送信のファクスのときは、自動的に受信できません。

パソコンやモデムとの接続

モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けようとするときは、モデムの電話機端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス/電話自動切替する（自動的に回線を接続する）前に着信するようにしてください。モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。

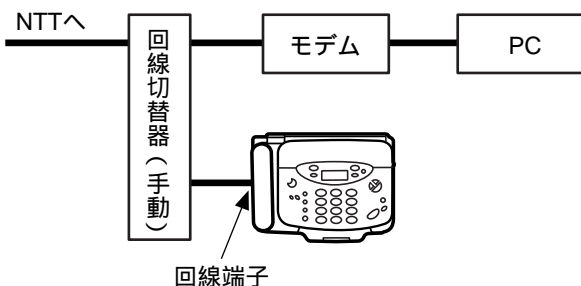


ご注意

モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、NTT回線種別は手動で設定してください。（P.17）
モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。

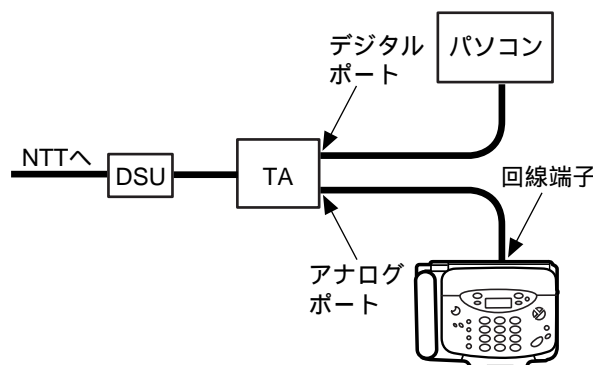
通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

参考：回線切替器を利用する場合



ISDNターミナルアダプタ(TA)との接続

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ（以下TA）を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへ申し込みが必要です。



ご注意

TAとNTT電話回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはTAの説明書をご覧ください。

TAには、デジタル信号で通信するためのデジタルポートと、アナログ信号で通信するためのアナログポートが装備されています。本機はアナログポートに接続します。

本機のダイヤル信号の種別はプッシュ信号（PB）に設定してください。（P.17）

? 仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257（幅）×1000（長さ）mm 最小：128（幅）×128（長さ）mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257mm×30mmまたは210mm×30mm （ロール紙：外径62mm以下、巻き芯内径1インチ）
有効読取幅	250mm（B4） 205mm（A4）
有効記録幅	252mm（B4） 208mm（A4）
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査または CCD内蔵ハンスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：15.4 line/mm（細かい） 7.7 line/mm（小さい） 3.85 line/mm（普通）
変調方式	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps
電送時間*1	G3約15秒、ECM約6秒
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線 ファクシミリ通信網(1300Hz)(G3サービス) ダイヤルイン回線 NCC回線
自動受信	有(ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電源	AC 100±10V 50/60Hz
消費電力	待機時：約7W 最大時：約120W 送信時：約20W（標準的原稿） 受信時：約33W（標準的原稿）
直流抵抗	261（20mA）
外形寸法	約330（横幅）×270（奥行き）×120（高さ）mm （突起部を除く）
重量	約3.8kg（記録紙を除く）
使用環境	温度：5～35 湿度：45～85%

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

*1 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85 line/mm）で高速モード（14400bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。

本機を設置する場所がNTTの支店・営業所（交換機）から遠距離の場合、お使いになれないことがありますのでNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

? 索引

[ア]

- アース接続・・・・・・・・・・・・・・・・ 3、14
- アース端子・・・・・・・・・・・・・・・・ 11、14
- ISDNターミナルアダプタとの接続・・・・・・・・ 111
- アフターサービスのご案内・・・・・・・・ 107
- 安全に正しくご使用いただくために・・・・・・・・ 2

[イ]

- 居留守モニタ・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
- 色がついた原稿や文字がうすい原稿を送るとき・・ 43
- インフォメーションサービス・・・・・・・・ 107

[ウ]

- 受ける
 - 電話を受ける・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
 - ファクスを受ける・・・・・・・・・・・・ 52

[エ]

- Fネットについて・・・・・・・・・・・・ 56
- エラーコード表・・・・・・・・・・・・ 106
- LCR
 - スーパーLCRの利用・・・・・・・・・・・・ 82

[オ]

- 応答メッセージ・・・・・・・・・・・・ 65
 - 応答メッセージを消去する・・・・・・・・ 63
 - 応答メッセージを録音する・・・・・・・・ 62
- オートリダイヤル・・・・・・・・・・・・ 45、47、80
- 同じ相手にもう一度かける・・・・・・・・ 23
- オプション品・消耗品のご案内・・・・・・・・ 107
- おまかせ送信・・・・・・・・・・・・ 47
- おやすみモード・・・・・・・・・・・・ 75
 - おやすみモードの解除のしかた・・・・・ 76
 - おやすみモードの設定のしかた・・・・・ 76
 - おやすみモードのタイマ切替・・・・・ 77
- 音声メッセージの設定・・・・・・・・・・・・ 55
- オンフックダイヤル・・・・・・・・・・・・ 22
- オンライン通信・・・・・・・・・・・・ 83、87
- 音量
 - 受話音量・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
 - ベル音量・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
 - モニタスピーカ音量・・・・・・・・・・・・ 31
 - ワイワイトーク音量・・・・・・・・・・・・ 31
- 音量調整・・・・・・・・・・・・ 31

[カ]

- 海外通信の設定・・・・・・・・・・・・ 49
- 海外へ送るときは・・・・・・・・・・・・ 45
- 外出先で留守番電話の用件を聞く /
 - 受信文書を取り出す・・・・・・・・・・・・ 70
- 外出先で留守番電話 / ファクスを操作する・・・・ 69

解除

- おやすみモードの解除のしかた・・・・・・・・ 76
- 用件転送の解除・・・・・・・・・・・・ 73
- 留守解除のしかた・・・・・・・・・・・・ 64

回線種別

- NTT回線種別の設定・・・・・・・・・・・・ 17
- 回線種別の自動選択・・・・・・・・・・・・ 18

回線端子

- 外線リモート・・・・・・・・・・・・ 69
- 拡大 / 縮小の設定・・・・・・・・・・・・ 81
- 各部の名称・・・・・・・・・・・・ 11
- 画質モード・・・・・・・・・・・・ 42

カット

- 自動カットモード・・・・・・・・・・・・ 59
- 手動カットのしかた・・・・・・・・・・・・ 59
- 手動カットモード・・・・・・・・・・・・ 59

かんたん受信

- FAXかんたん受信・・・・・・・・・・・・ 28、33、52
- FAXかんたん受信の設定・・・・・・・・・・・・ 58

感熱紙

- 普通紙みたいな感熱紙・・・・・・・・・・・・ 107

[キ]

- キャッチホンの利用・・・・・・・・・・・・ 29
- キャリアシート・・・・・・・・・・・・ 39、107
- Q & A・・・・・・・・・・・・ 98
- 記録紙・・・・・・・・・・・・ 10
 - 記録紙がつまったとき・・・・・・・・・・・・ 93
 - 記録紙がなくなったときは・・・・・・・・ 53、61
 - 記録紙の交換・・・・・・・・・・・・ 94
 - 記録紙のサイズ・・・・・・・・・・・・ 94
 - 記録紙のセット・・・・・・・・・・・・ 15
 - 記録紙の保管について・・・・・・・・・・・・ 107
 - 記録紙を節約して受ける・・・・・・・・ 59
 - 高感度感熱記録紙・・・・・・・・・・・・ 107
- 記録紙スタッカ・・・・・・・・・・・・ 10、11
 - 記録紙スタッカの取り付け・・・・・・・・ 14
- 記録紙排出口・・・・・・・・・・・・ 11

[ク]

- 組み立てかた・・・・・・・・・・・・ 13
- クリアレポート・・・・・・・・・・・・ 5

[ケ]

原稿

- 色がついた原稿や
 - 文字がうすい原稿を送るとき・・・・・ 43
- 送れない原稿・・・・・・・・・・・・ 39
- 原稿がつまったとき・・・・・・・・・・・・ 92
- 原稿のサイズおよび厚さ・・・・・・・・ 38

原稿のセットのしかた	3 8
原稿を取り除きたいときは	3 8
写真や小さい文字の原稿を送るとき	4 2
送信原稿の種類の設定	4 2
原稿セットガイド	1 1、3 8
原稿挿入口	1 1
原稿排出口	1 1
原稿読み取り部	9 7

[コ]

交換	
記録紙の交換	9 4
高感度感熱記録紙	1 0 7
国際ダイヤル通話	4 5
国際電話を利用するとき	2 5
固定メッセージ	6 5
コピー	
コピーしてはいけないもの	4 1
コピーのしかた	4 0
ハンドスキャナでコピーする	7 9
梱包品の確認	1 0

[サ]

サービスセンター /	
サービスステーション	1 0 7、1 0 8
再生	
再生中のボタン操作について	6 6
用件の再生	6 6
用件の再生順序の設定	6 8
再発呼待ち	4 5

[シ]

時刻セット	1 6
システムリスト	9 6
自動カットモード	5 9
自動送信	4 4
自分専用の発信元名を付けて送る	5 0
自分の電話番号を登録する	1 8
自分の名前を登録する	3 6
写真や小さい文字の原稿を送るとき	4 2
修理を依頼されるときは	1 0 7
縮小の設定	8 1
受信	
転送受信の設定	6 0
F A Xかんたん受信	2 8、3 3、5 2
F A Xかんたん受信の設定	5 8
ポーリング受信について	5 7
メモリ代行受信	5 2、5 3、6 1
受信文書	
受信文書を取り出す	7 0

メモリ内の受信文書が	
プリント出力されないとき	9 5
手動カットのしかた	5 9
手動カットモード	5 9
手動送信	4 6
受話音量	3 1
受話器	1 0、1 1
受話器の取り付け	1 4
仕様	1 1 2
消去	
応答メッセージを消去する	6 3
(自分の電話番号)	1 8
すべての用件を消去する	6 7
全用件消去	6 7
(電子電話帳)	2 5
特定の用件だけを消去する	6 7
用件の消去	6 7
用件を聞いてから一度に消去する	6 7
消耗品のご案内	1 0 7
初期状態について	2 0

[ス]

スーパー L C R	
スーパー L C Rの設定とご利用の準備操作	8 4
スーパー L C Rの利用	8 2
スタッカ	
記録紙スタッカ	1 0、1 1
記録紙スタッカの取り付け	1 4
スピーカ	
モニタスピーカ	1 1
モニタスピーカ音量	3 1

[セ]

清掃	
ハンドスキャナの清掃	9 7
本体の清掃	9 7
ローラーの清掃	9 7
接続	
アース接続	3、1 4
N T T電話回線の接続	1 6
外付け電話機の接続	1 7
電源の接続	1 4
設置	
設置スペース	1 3
設置についてのご注意	2
設定	
N T T回線種別の設定	1 7
N T T「発信電話番号表示サービス」の設定	9 1
おやすみモードの設定のしかた	7 6
音声メッセージの設定	5 5

海外通信の設定	4 9	回線端子	1 1
拡大 / 縮小の設定	8 1	電話機端子	1 1
スーパー L C R の設定	8 4	短縮ダイヤル	2 5
送信原稿の種類の設定	4 2	短縮番号	2 5
着信ベル回数	5 4		
転送受信の設定	6 0	[チ]	
トールセイバの設定	6 8	小さい文字の原稿を送るとき	4 2
発信元を相手の記録紙にプリントする設定	3 7	着信	
F A X かんたん受信の設定	5 8	無鳴動着信の設定	5 3、5 5
ファクス / 電話自動切替の設定	5 3		
ファクス優先の設定	5 5	[ツ]	
(ペーパーセーブ)	5 9	通話時間表示について	2 2
保留メロディの設定	3 2	通話録音	3 4
無鳴動着信の設定	5 3、5 5	通話録音した内容を相手に聞かせる	3 5
メロディハンドスキャナ	8 1	通話録音した内容を聞く	3 5
用件の再生順序の設定	6 8		
呼出ベル回数	5 4	[テ]	
料金表示の設定	8 6	ディスプレイ	1 2
リモート操作の設定	6 9	停電が復旧すると	5
留守設定のしかた	6 4	停電したとき	5
設定内容を確認するとき	9 6	手入れ	
		日頃のお手入れ	9 7
[ソ]		電源の接続	1 4
操作パネル	1 1、1 2	電子電話帳	2 5
送信		電子電話帳を使って電話をかける	2 6
おまかせ送信	4 7	電子電話帳の登録	2 5
自動送信	4 4	電子電話帳で送信	4 8
手動送信	4 6	転送	3 3
電子電話帳で送信	4 8	電話を外付け電話機から本機へ転送する	3 3
ハンドスキャナで送信する	8 0	電話を本機から外付け電話機へ転送する	3 3
メモリ送信	4 7	転送受信の設定	6 0
送信できなかったときは	4 5	電話回線	
相談窓口		N T T 電話回線の接続	1 6
お客様ご相談窓口	1 0 7	電話回線接続コード	1 0
外付け電話機		電話機端子	1 1
外付け電話機の接続	1 7	電話コンセント	1 3
外付け電話機の利用	3 3	電話番号リストのプリント	2 7
		電話番号を登録する	1 8
[タ]		電話モード	5 4、5 6
ターミナルアダプタとの接続	1 1 1	電話を受ける	2 8
代行受信		電話をかける	2 2
メモリ代行受信	5 2、5 3、6 1		
タイマ		[ト]	
おやすみモードのタイマ切替	7 7	登録	
ダイヤルイン		電子電話帳の登録	2 5
ダイヤルインサービスの利用	8 8	自分の電話番号を登録する	1 8
ダイヤルインの登録	8 9	自分の名前を登録する	3 6
ダイヤル回線	1 7	ダイヤルインの登録	8 9
ダストカバー	1 1	発信元登録	3 6
端子		マイネームボタンの登録	5 0
アース端子	1 1、1 4		

用件転送先の登録	7 2	F A Xかんたん受信	2 8、3 3、5 2
リモートパスワードの登録	6 9	F A Xかんたん受信の設定	5 8
ツールセイバ	6 1	F A Xサービスボタンの使いかた	5 7
ツールセイバの設定	6 8	ファクス情報サービス	1 0 7
トーン信号送出	3 2	ファクス情報サービスの利用	5 7
特長	8	不達レポート	4 5、4 7、8 0
取り付け		普通紙みたいな感熱紙	1 0 7
記録紙スタッカの取り付け	1 4	ブッシュ回線	1 7
受話器の取り付け	1 4	ブッシュ信号	3 2
[ナ]		ランチ接続	1 3
名前を登録する	3 6	プリント	
[ハ]		システムリストのプリント例	9 6
ハウリング音	3 0	電話番号リストのプリント	2 7
パスワード		[ヘ]	
リモートパスワードの登録	6 9	ペーパーセーブ	5 9
パソコンやモデムとの接続	1 1 1	ベル	
発信電話番号表示サービス		着信ベル	5 3、6 1
N T T「発信電話番号表示サービス」の設定	9 1	着信ベル回数の設定	5 4
N T T「発信電話番号表示サービス」の利用	9 0	ベル音量	3 1
発信元		呼出ベル	5 3
発信元記録	3 7	呼出ベル回数の設定	5 4
発信元登録	3 6	[ホ]	
発信元を相手の記録紙にプリントする設定	3 7	ホームテレホン/ビジネスホンとの接続	1 1 0
早わかりガイド		ポーリング受信について	5 7
操作早わかりガイド	1 1 8	ポケベル呼び出し	7 4
ハンズフリー通話	3 0	補修用性能部品について	1 0 7
ハンズキャナ	1 1	保証書	1 0、1 0 7
ハンズキャナでコピーする	7 9	保留	
ハンズキャナで送信する	8 0	保留する	2 4
ハンズキャナでの		保留メモディ	2 4
原稿の読み取りについて	7 8	保留メモディの設定	3 2
ハンズキャナの清掃	9 7	本書の見方	1
メモディハンズキャナの設定	8 1	本体の清掃	9 7
[ヒ]		[マ]	
ピクト表示一覧	1 2 0	マイネームボタン	5 0
ビジネスホンとの接続	1 1 0	マイネームボタンの登録	5 0
[フ]		マイネームボタンを使って送る	5 1
ファクシミリ通信網	5 6	[ム]	
ファクス		無鳴動着信の設定	5 3、5 5
外出先で留守番電話/ファクスを操作する	6 9	[メ]	
ファクス/電話自動切替の仕組み	5 3	メッセージ	
ファクス/電話自動切替の設定	5 3	応答メッセージを消去する	6 3
ファクス優先の設定	5 5	応答メッセージを録音する	6 2
ファクスを受ける	5 2	音声メッセージの設定	5 5
ファクスを送る	4 4	固定メッセージ	6 5
留守番電話やファクスが入ったら			
外出先へ通知する	7 2		

メモリ

- 原稿の読み取り中に
 - メモリがいっぱいになったとき 4 7
- メモリ送信 4 7
- メモリ代行受信 5 2、5 3、6 1
 - メモリ内の受信文書が
プリント出力されないとき 9 5
 - メモリフル 4 7
- メモリクリアレポート 5
- メロディ
 - 保留メロディ 2 4
 - 保留メロディの設定 3 2
 - メロディ音 2 4
- メロディハンドスキャナの設定 8 1

[モ]

- 文字がうすい原稿を送るとき 4 3
- モデムとの接続 1 1 1
- モニタ
 - 居留守モニタ 6 4
 - モニタスピーカ 1 1
 - モニタスピーカ音量 3 1

[ヨ]

用件

- 外出先で留守番電話の用件を聞く 7 0
- 用件の再生 6 6
- 用件の再生順序の設定 6 8
- 用件の再生と消去 6 6
- 用件の消去 6 7
- 留守番電話に録音された用件や
通話録音した内容を相手に聞かせる 3 5
- 用件転送 7 2
 - 用件転送先の登録 7 2
 - 用件転送されたときの受けかた 7 3
 - 用件転送の解除 7 3
 - 用件転送のセット 7 3

読み取り

- 原稿の読み取り 7 8
- 原稿の読み取り中に
 - メモリがいっぱいになったとき 4 7
- ハンドスキャナでの
 - 原稿の読み取りについて 7 8
- 読み取りできる範囲 3 8
- 読み取り濃度 4 3
- 読み取り幅と読み取り長さ 7 8

[ラ]

- ランプ 1 2、4 4
 - LCRランプ 1 2、8 5

[リ]

リスト

- システムリスト 9 6
- 電話番号リストのプリント 2 7
- リダイヤル 2 3
 - オートリダイヤル 4 5、4 7、8 0
- リモート
 - 外線リモート 6 9
 - リモート操作コード表 7 1
 - リモート操作の設定 6 9
 - リモート取り出し 6 9
 - リモートパスワードの登録 6 9
 - 料金表示の設定 8 6

[ル]

留守

- 留守解除のしかた 6 4
- 留守設定での動作 6 1
- 留守設定のしかた 6 4

留守番電話

- 外出先で留守番電話の用件を聞く 7 0
- 外出先で留守番電話 / ファクスを操作する 6 9
- 留守番電話に録音された用件や
通話録音した内容を相手に聞かせる 3 5
- 留守番電話やファクスが入ったら
外出先へ通知する 7 2

[レ]

レバー

- カバー開レバー 1 1
- 黄色いレバー 9 4

レポート

- 不達レポート 4 5、4 7、8 0
- メモリクリアレポート 5

[ロ]

ローラーの清掃 9 7

録音




- 応答メッセージを録音する 6 2
- 通話中の会話を録音する 3 4
- 通話録音 3 4
- 通話録音した内容を相手に聞かせる 3 5
- 通話録音した内容を聞く 3 5
- 録音できる時間 3 4、6 4



















































[ワ]

- ワイワイトーク 3 0
- ワイワイトーク音量 3 1

? 操作早わかりガイド

親機

 : 受話器をとる  : 受話器を戻す  : ボタンを押す

電話をかける		 → 相手先の番号 → 通話 →  <small>ワイワイトーク</small>  → 相手先の番号 →  → 通話 → 	
リダイヤル		 →  → 通話 →  <small>リダイヤルボース</small>	
保留する		通話中 →  <small>保留/クリア</small>	
もう一度話す		保留中 →  (または ) → 通話 <small>保留/クリア</small>	
電子電話帳を使って電話をかける		 →  相手先を選ぶ → セット <small>電話帳/キャッチ</small>  →  → 短縮番号 (01~20) <small>電話帳/キャッチ</small>	
電話を受ける		着信音 →  → 通話 → 	
キャッチホンの利用		通話中 → 「プルルル・プップッ」 →  → あとの人と通話 →  → はじめの人と通話 <small>電話帳/キャッチ</small> <small>電話帳/キャッチ</small>	
ワイワイトーク (ハンズフリー通話)		<small>ワイワイトーク</small>  → 相手先の番号 → 通話 →  <small>ワイワイトーク</small>	
電 話	音量調整	ベル音量	待機中 →  /  (音量)
		受話音量	受話器で通話中 →  /  (音量)
		ワイワイトーク音量	ワイワイトーク中 →  /  (音量)
		モニター	用件再生中 →  /  (音量)
		スピーカ音量	用件再生中 →  /  (音量)
トーン(プッシュ)信号送出		電話をかける →  (以後のダイヤルはトーン信号が送出される)	
通話録音 (通話中の会話を録音する)		受話器で通話中 →  → 録音 →  →  ストップ <small>留守</small>	
通話録音した内容を聞く		再生 →  → 再生 →  →  ストップ	
留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる		受話器で通話中 → 再生 →  → 再生 →  →  ストップ	
コ ピ ー	コピーのしかた	原稿セット →  スタートコピー 	
フ ァ ク ス	画質モード	<small>文字の大きさ</small>  [フツウ チイサイ コマカイ シャシン ジドウ]	
	自動送信	原稿セット → 相手先の番号 →  スタートコピー 	
	手動送信	原稿セット →  → 相手先の番号 → 通話 → 相手が受信操作 →  スタートコピー  → 	

ファクス	おまかせ送信 (メモリ送信)	原稿セット → 相手先の番号 → おまかせ送信
	電子電話帳で送信	原稿セット → 電話帳/キヤッチ → 相手先を選ぶ → スタートコピー
	マイネームボタンを使って送る	原稿セット → マイネーム → スタートコピー
	ファクスを受ける	通話中 → 相手が送信操作 → スタートコピー 電話 → 「ポー・ポー・ポー...」 → スタートコピー 電話 → 「ポー・ポー・ポー...」 → 『ファクシミリを受信します...』 →
留守番	FAXサービスボタンの 使いかた (ポーリング受信)	FAXサービス → 相手先の番号 → スタートコピー
	留守設定 / 解除のしかた	留守
	用件の再生	再生 → 再生 → ストップ
	特定の用件だけを 消去する	消去したい用件を再生中 → 消去
	用件を聞いてから一度に 消去する	用件を再生 → 『用件は以上です』 → 「***...」 → 消去
ハンズキャナ	おやすみモードの設定 / 解除のしかた	おやすみ
	ハンズキャナで コピーする	ハンズキャナを外す → 原稿の上に置く → スタートコピー → 原稿を読み取る → ストップ → ハンズキャナを戻す
	ハンズキャナで 送信する	ハンズキャナを外す → 相手先の番号 → 原稿の上に置く → スタートコピー → 原稿を読み取る → ストップ → 1 → ハンズキャナを戻す

(注) ファクス自動受信 P.53、原稿 / 記録紙がつまったとき P.92, P.93、記録紙の交換 P.94

外付け電話機

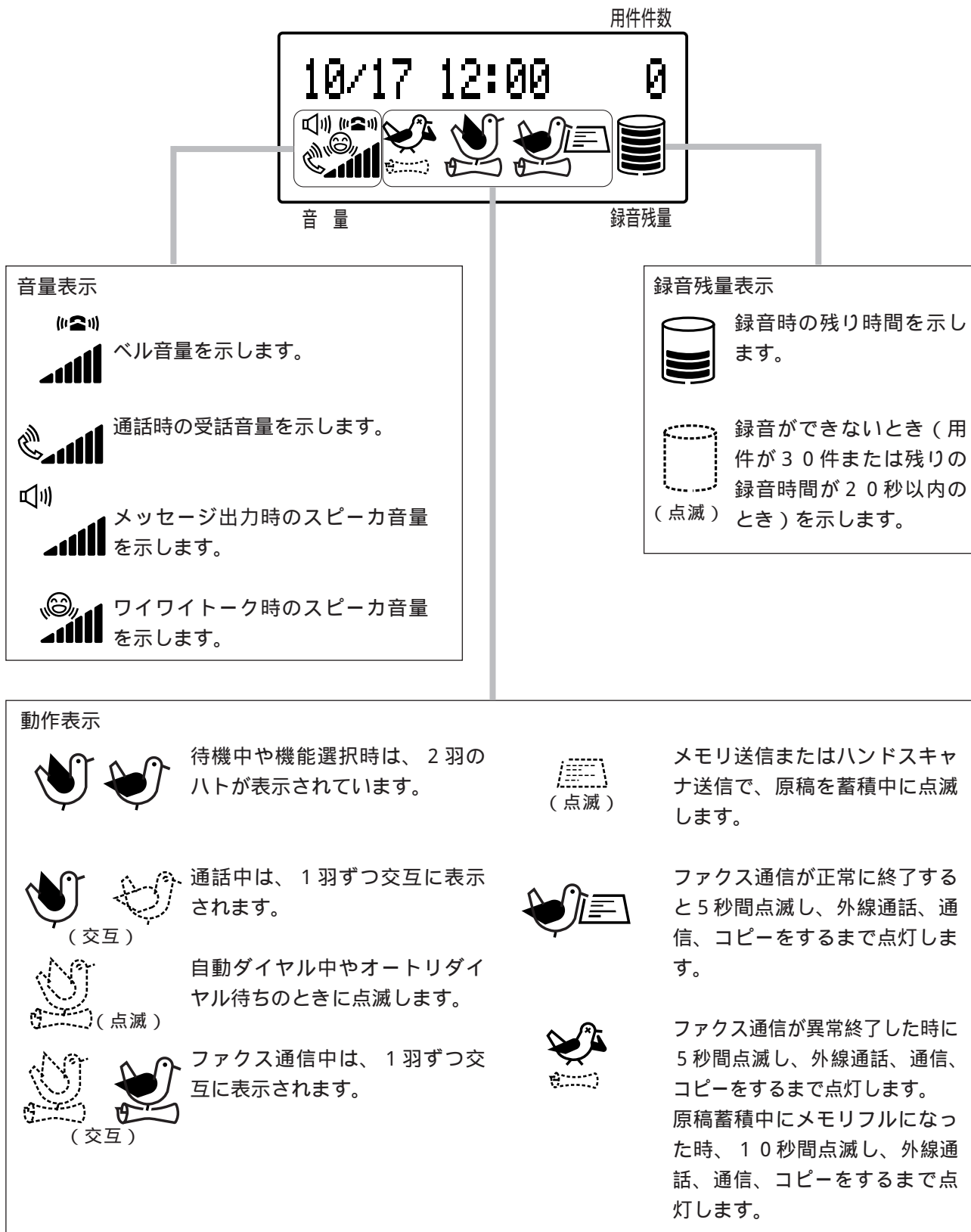
ファクスの受けかた	電話 → 「ポー・ポー・ポー...」の時 → ③ → 5秒待つ → (ダイヤル回線の場合) → ③ * (初期値) → (プッシュ回線の場合) → 無音 → (FAXかんたん受信の場合)
-----------	--

外線リモート (外出先の電話機)

電話をかける	#	パスワード	#	操作コード			
(プッシュ信号)							
巻き戻し	#	1	#	留守設定	#	7	#
用件再生	#	2	#	用件消去	#	8	#
早送り	#	3	#	留守設定解除	#	9	#
用件転送設定	#	6	1	リモート 取り出し	#	0	#
用件転送解除	#	6	2	#			

? ピクト表示一覧

ディスプレイの下段で動作状態をピクト表示します。



- バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
- バックライト消灯中に[セット]ボタンを押すとバックライトが3秒間点灯します。
- バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。

? 機能選択早見表

■ : お買い上げ時の状態です

	機 能	内 容	手 順	参照ページ
メニュー	電話番号リスト	電子電話帳のプリント	機能選択 ① セット	P.27
	システムリスト	各種設定内容のプリント	機能選択 ① セット 機能選択	P.96
受信設定	無鳴動着信	(する) × (しない)	機能選択 ② セット	P.55
	音声メッセージ	(流す) × (流さない)	機能選択 ② セット 機能選択	P.55
	着信ベル回数	1~19回、** (無制限) 6回	機能選択 ② セット 機能選択 × 2回	P.54
	呼出ベル回数	1~19回、10回	機能選択 ② セット 機能選択 × 3回	P.54
設定モード	読み取り濃度	~ 薄く読み取る 濃く読み取る	機能選択 ③ セット	P.43
	ペーパーセーブ	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択	P.59
	発信元記録	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 2回	P.37
	海外通信	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 3回	P.49
	FAXかんたん受信	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 4回	P.58
	手動カット	(する) × (しない)	機能選択 ③ セット 機能選択 × 5回	P.59
	転送受信	しない、2*、3*、5*、7*	機能選択 ③ セット 機能選択 × 6回	P.60
	保留メロディ	メロディ1、メロディ2	機能選択 ③ セット 機能選択 × 7回	P.32
	回線種別	20P、10P、PB	機能選択 ③ セット 機能選択 × 8回	P.17
登録モード	電子電話帳	相手先の番号と名前	機能選択 ④ セット 電話帳 / キャッチ	P.25
	マイネームボタン	相手先の番号・名前とマイネーム	機能選択 ④ セット マイネーム セット	P.50
	電話番号	自分の電話番号	機能選択 ④ セット 機能選択	P.18
	発信元	自分の名前	機能選択 ④ セット 機能選択 × 2回	P.36
	おやすみモードのタイマ切替	おやすみモードのオン / オフ時間	機能選択 ④ セット 機能選択 × 3回	P.77
	リモート操作	リモート操作 (する) × (しない) リモート取り出し (する) × (しない) リモートパスワード	機能選択 ④ セット 機能選択 × 4回	P.69
	用件転送	(する) × (しない) 転送先電話番号	機能選択 ④ セット 機能選択 × 5回	P.72
	ダイヤルイン	(する) × (しない) ファクス用と電話用の番号	機能選択 ④ セット 機能選択 × 6回	P.89
	NTT「発信電話番号表示サービス」	(する) × (しない) ベル鳴動鳴り分け (する) × (しない) おやすみベル鳴動 (する) × (しない)	機能選択 ④ セット 機能選択 × 7回	P.91
時刻	年月日、時刻	機能選択 ④ セット 機能選択 × 8回	P.16	
留守番電話	全用件消去	用件の全消去	機能選択 ⑤ セット	P.67
	応答メッセージ録音	応答メッセージの録音	機能選択 ⑤ セット 機能選択	P.62
	応答メッセージ消去	応答メッセージの消去	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 2回	P.63
	用件の再生順序	OLD NEW、NEW OLD	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 3回	P.68
	トールセイバ	(する) × (しない)	機能選択 ⑤ セット 機能選択 × 4回	P.68
LCR	スーパーLCRの利用	(する) × (しない)	機能選択 ⑥ セット	P.84
	料金表示	(する) × (しない)	機能選択 ⑥ セット 機能選択 × 2回	P.86
メモリー	倍率	82%、等倍、115%、122%、141%	ハンズスキャナを外す 機能選択	P.81
	メロディ	流す、流さない	ハンズスキャナを外す 機能選択 × 2回	P.81

本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S. Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

This equipment (including the softwares) has the specifications to be used only in Japan. Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.

品番	speax31 TA	年 月 日
お買い上げ店	TEL ()	

日本電気株式会社

〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号

EOI - 800345 - J.2

1997年10月 2版発行

© NEC Corporation 1997

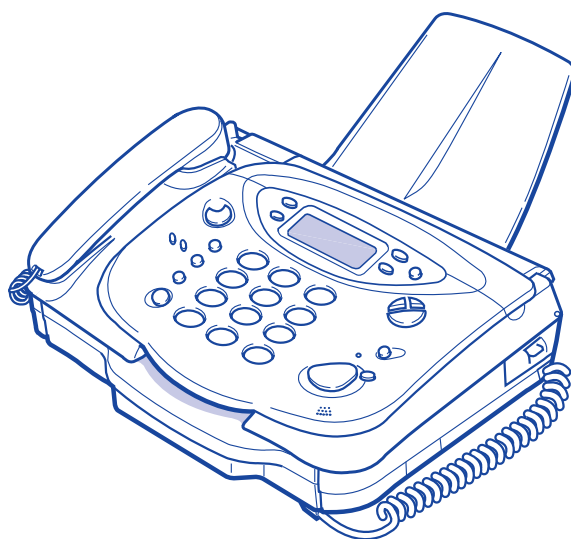
本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは禁止されています。
本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。

NECパーソナルファクシミリ

スピークス

speex31 TA

取扱説明書



注意 製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
注意 本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

ご使用前の
注意

設置と
初期状態

電
話

ファ
クス

留
守
番

ハン
ドス
キャ
ナ

スー
パー
L
C
R

ダイ
ヤル
イン

発信
電話
番号
表示

困
つ
た
と
き
は


はじめに


このたびは留守番電話付きファクシミリ「s p e a x (スピークス) 3 1 T A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

製品を安全に正しくお使いいただくための表示について

本書では製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

 **警告** : 人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は高温注意)が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災等によって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害(通信・録音等上に生じる機会損失等)に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品を改造しないでください。改造・回路変更等を行った場合、当社は一切責任を負いません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い

本品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番(無料)へお問い合わせください。